



埼玉県 臨床研修病院 ガイドブック2026

SAITAMA CLINICAL TRAINING HOSPITAL
GUIDE BOOK 2026



編集・発行

埼玉県保健医療部医療人材課 医師確保対策担当
〒330-8777 さいたま市中央区新都心1-2
県立小児医療センター南玄関8階

TEL:048-601-4600
E-mail: a3560-03@pref.saitama.lg.jp



ホームページ
「コバトンドットメド」

令和7年12月発行

New Field in SAITAMA!

Welcome to SAITAMA

埼玉県の 医師確保における現状

本県の75歳以上の高齢者人口は、急速に増加し、いわゆる団塊の世代の全てが75歳以上となる2025年以降も増え続けると推計されています。

こうした急速な高齢化の進展により、医療や介護の需要は大幅に増大することが見込まれ、医師の確保は県の最重要課題の一つになっています。

「埼玉県総合医局機構」が 医師をバックアップ

埼玉県では、埼玉県医師会、県内医療機関、大学などととも「埼玉県総合医局機構」を創設し、医師の確保・派遣と、キャリアステージに応じた医師支援に取り組んでいます。

また、さいたま新都心にある「埼玉県総合医局機構 地域医療教育センター」では、高規格のシミュレータ機器などを備えた高度な教育・研修環境を医療従事者の皆さまに提供するとともに、各種教育研修会を開催しています。

高度医療を提供する、 魅力ある医療機関

埼玉県内には、現在339の病院があります。
(令和7年4月1日現在)

このガイドブックで紹介する臨床研修病院をはじめ、各地域に、救命救急センター、周産期母子医療センター、地域医療支援病院、災害拠点病院など高度医療を提供する中核的な医療機関が整備されています。

埼玉県の臨床研修は 人気上昇中

「人口が多く経験できる症例数が豊富」「上級医の先生方の指導が手厚い」などの理由から、出身地を問わず「埼玉」はとても魅力的な県だということが全国に知られるようになっていきます。

平成16年度の臨床研修制度開始以降、埼玉県の臨床研修医は増加数、伸び率ともに全国1位であり、埼玉県の臨床研修は人気上昇中です。多くの先輩が選んでいる埼玉県で、医師としての第一歩を踏み出してみませんか。

INDEX

埼玉県臨床研修病院ガイドブック2026

埼玉県総合医局機構～KOBATON.med～	p01
INDEX	p02
臨床研修病院MAP・病院一覧	p03-04
埼玉県総合医局機構	p05-06
埼玉県臨床研修案内	p07
専門研修プログラム県内基幹施設一覧	p08
スペシャルインタビュー	p09-10
スペシャルインタビュー	p11-12
【南部保健医療圏】	
1 埼玉県済生会川口総合病院	p13-14
2 埼玉協同病院	p15-16
3 川口市立医療センター	p17-18
4 戸田中央総合病院	p19-20
【南西部保健医療圏】	
5 TMGあさか医療センター	p21-22
6 国立病院機構 埼玉病院	p23-24
7 新座志木中央総合病院	p25-26
【東部保健医療圏】	
8 春日部市立医療センター	p27-28
9 獨協医科大学埼玉医療センター	p29-30
10 みさと健和病院	p31-32
11 草加市立病院	p33-34
12 春日部中央総合病院	p35-36
13 秀和総合病院	p37-38
14 越谷市立病院	p39-40
15 三郷中央総合病院	p41-42
【さいたま保健医療圏】	
16 自治医科大学附属さいたま医療センター	p43-44
17 さいたま市立病院	p45-46
18 彩の国東大宮メディカルセンター	p47-48
19 さいたま赤十字病院	p49-50
20 さいたま市民医療センター	p51-52
21 埼玉メディカルセンター	p53-54
【県央保健医療圏】	
22 上尾中央総合病院	p55-56
23 北里大学メディカルセンター	p57-58
【川越比企保健医療圏】	
24 埼玉医科大学総合医療センター	p59-60
25 関越病院	p61-62
26 埼玉医科大学病院	p63-64
27 小川赤十字病院	p65-66
【西部保健医療圏】	
28 埼玉石心会病院	p67-68
29 埼玉医科大学国際医療センター	p69-70
30 国立病院機構 西埼玉中央病院	p71-72
【利根保健医療圏】	
31 羽生総合病院	p73-74
32 新久喜総合病院	p75-76
33 済生会加須病院	p77-78
34 行田総合病院	p79-80
【北部保健医療圏】	
35 熊谷総合病院	p81-82
36 深谷赤十字病院	p83-84

■防衛省訓令に基づく臨床研修病院

【西部保健医療圏】 防衛医科大学校病院

※このガイドブックは、主として医学生の方に埼玉県内の臨床研修病院(防衛医科大学校病院を除く。)を紹介するため、各病院から提供のあった情報を基に作成したものです。※このガイドブックの「病院の概要」にある指導医とは、厚生労働省「医師の臨床研修に係る指導医講習会の開催指針」に基づく講習会を修了した者です。※各病院ページの「卒後臨床研修評価機構認定病院」については、令和7年12月1日時点の認定状況を掲載しています。

南部保健医療圏		
01	埼玉県済生会川口総合病院	332-8558 川口市西川口5-11-5
02	埼玉協同病院	333-0831 川口市木曾呂1317
03	川口市立医療センター	333-0833 川口市西新井宿180
04	戸田中央総合病院	335-0023 戸田市本町1-19-3

南西部保健医療圏		
05	TMGあさか医療センター	351-0023 朝霞市溝沼1340-1
06	国立病院機構 埼玉病院	351-0102 和光市諏訪2-1
07	新座志木中央総合病院	352-0001 新座市東北1-7-2

東部保健医療圏		
08	春日部市立医療センター	344-8588 春日部市中央6-7-1
09	獨協医科大学埼玉医療センター	343-8555 越谷市南越谷2-1-50
10	みさと健和病院	341-8555 三郷市鷹野4-494-1
11	草加市立病院	340-8560 草加市草加2-21-1
12	春日部中央総合病院	344-0063 春日部市緑町5-9-4
13	秀和総合病院	344-0035 春日部市谷原新田1200
14	越谷市立病院	343-8577 越谷市東越谷10-32
15	三郷中央総合病院	341-8526 三郷市中央4-5-1

さいたま保健医療圏		
16	自治医科大学附属さいたま医療センター	330-8503 さいたま市大宮区天沼町1-847
17	さいたま市立病院	336-8522 さいたま市緑区三室2460
18	彩の国東大宮メディカルセンター	331-8577 さいたま市北区土呂町1522
19	さいたま赤十字病院	330-8553 さいたま市中央区新都心1-5
20	さいたま市民医療センター	331-0054 さいたま市西区島根299-1
21	埼玉メディカルセンター	330-0074 さいたま市浦和区北浦和4-9-3

県央保健医療圏		
22	上尾中央総合病院	362-8588 上尾市柏座1-10-10
23	北里大学メディカルセンター	364-8501 北本市荒井6-100

川越比企保健医療圏		
24	埼玉医科大学総合医療センター	350-8550 川越市鴨田1981
25	関越病院	350-2213 鶴ヶ島市脚折145-1
26	埼玉医科大学病院	350-0495 入間郡毛呂山町毛呂本郷38
27	小川赤十字病院	355-0397 比企郡小川町小川1525

西部保健医療圏		
28	埼玉石心会病院	350-1305 狭山市入間川2-37-20
29	埼玉医科大学国際医療センター	350-1298 日高市山根1397-1
30	国立病院機構 西埼玉中央病院	359-1151 所沢市若狭2-1671

利根保健医療圏		
31	羽生総合病院	348-8505 羽生市下岩瀬446
32	新久喜総合病院	346-8530 久喜市上早見418-1
33	済生会加須病院	347-0101 加須市上高柳1680
34	行田総合病院	361-0056 行田市持田376

北部保健医療圏		
35	熊谷総合病院	360-8567 熊谷市中西4-5-1
36	深谷赤十字病院	366-0052 深谷市上柴町西5-8-1

防衛医科大学校病院	359-8513	所沢市並木3-2
-----------	----------	----------



埼玉県臨床研修病院 36 病院MAP

Saitama Clinical Training Hospital Map



医師の現状



埼玉県では、埼玉県医師会、県内医療機関、大学などと協力して、平成25年に「埼玉県総合医局機構」(次項目参照)を創設し、医師の確保・派遣やキャリアステージに応じた医師支援を通じて、県内全域の医療水準の向上に取り組んでいます。

《これら取組の結果》

” 医師数は、
令和4年12月31日時点

13,244人

(全国7位)

” 医師の増加数は、
過去10年間
(平均24年から令和4年)で

2,536人

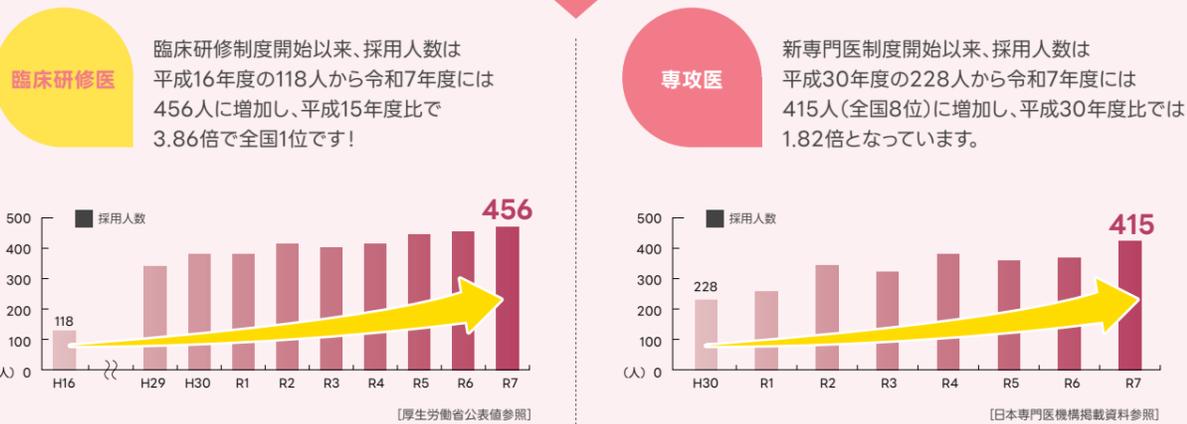
(全国5位)

” 医師の増加率は、
過去10年間
(平成24年から令和4年)で

23.7%増加

(全国1位)

となっており、中でも**臨床研修医・専攻医**は以下の通り**年々増加傾向**にあります。



埼玉県総合医局機構の

取組

【埼玉県総合医局機構とは?】

埼玉県総合医局機構は、医師の確保や地域偏在・診療科偏在の解消などに取り組むコントロールタワーとして、医師確保対策を一元的に実施しています。

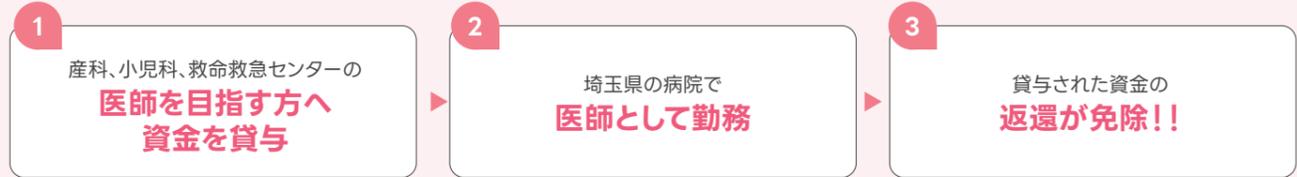


主な役割

医師不足 状況の把握・分析	医師確保に係る 総合的な企画	医師不足病院への 支援
医師のキャリア 形成支援	地域医療関係機関との 協力関係の構築	医師確保に関する情報発信と、 医師や医師を目指す方々からの 相談への対応

「臨床研修医・専攻医向け研修資金」貸与事業

～産科、小児科、救命救急センターの医師を目指す研修医の皆さんを支援!～



	臨床研修医向け	専攻医向け
対象者	埼玉県内の臨床研修病院の臨床研修医	埼玉県内の周産期母子医療センター又は救命救急センターにおいて、産科、小児科又は救急医療に係る専門研修を受講している専攻医
貸与金額	月額 10万円 以内	月額 20万円 以内
貸与期間	2年 以内	3年 以内
返還免除条件	埼玉県内の病院の産科、小児科又は救命救急センターで貸与期間の1.5倍勤務すること	

※選考あり

地域医療教育センター

～県内の医師のスキルアップをサポートします!～

地域医療教育センターは、県内医療機関に勤務されている医療従事者の方向けの教育・研修施設です。各種シミュレーターを用い、実際の病室を模した仮想病室や診察室で、実際の診療さながらの研修を行うことができます。また、センターでは県内医療従事者のスキルアップを目的として、各種研修会も開催しています。

<センターが開催する県内医療従事者向け研修会>

医療手技 ハンズオンセミナー

超音波検査、CV穿刺、気管挿管など様々な手技のハンズオンセミナーを定期的に開催しています。



日本救急医学会 / ICLS 日本内科学会 / JMECC

各学会認定ディレクターによるコースを定期的に開催しています。また、受講者だけでなく、指導者側(アシスタント)も募集しますので、インストラクター資格を目指す方にもおすすめです。



産科・小児科・救急科の 魅力を学ぶ研修

特に医師が不足している産科・小児科・救急科について、各分野の第一線で活躍している医師を講師に招き、各科の魅力を伝えていただきます。また、シミュレーターを利用して各科の患者対応の模擬体験を行います。



その他のセンター主催研修

- 1次救命処置研修(BLS)
- 小児2次救命処置研修(PALS)
- 医療安全研修(チームSTEPSS)
- ICLSワークショップ
- JMECC指導者講習会
- 脳卒中医を育てるセミナー



センター企画教育研修の開催予定



「中高生の医療体験」「医学生の臨床研修病院見学バスツアー」事業

～埼玉県内での病院勤務に関心のある学生はどなたでも参加できます！～

埼玉県では医師を志すきっかけとなるよう、中高生に向けた医療体験を実施しております。また、医学生の皆さんに県内病院の魅力をより深く実感していただくための病院見学会を実施しています。病院見学会では、研修医との座談会を実施し、県の医療現場の現状や県内で勤務することの魅力について意見交換をしております。

※いずれも定員あり



埼玉県では、県内の医療関係機関で専門研修を受講していただくことを具体的にイメージできるよう特設WEBサイトを令和5年12月末に開設しました。サイトでは、研修プログラムごとの詳細な情報や、研修施設では勤務されている専攻医へのインタビュー記事、専門研修基幹施設の動画など、豊富な情報を掲載しています。また、順次コンテンツも追加していきます。是非ご活用ください。



特設WEBサイト



研修医の皆さんを支援します！

埼玉県総合医局機構では、埼玉県で臨床研修を受ける医師の皆さんを支援する取組を行っています。県内の専門研修病院からの説明会や、フリートークサロンを開催し、研修病院とのマッチングを促しました。また、各分野の第一線で活躍する医師によるセンター主催の研修会の開催をはじめ、専門医へのキャリアアップの支援などの取組を通じ、研修医の皆さんをバックアップします。



詳しくはコチラ

お問い合わせ先 埼玉県総合医局機構(埼玉県医療人材課内)
TEL:048-601-4600 E-mail:a3560-03@pref.saitama.lg.jp



女性医師の支援

～埼玉県の女性医師を応援！～

埼玉県では、女性医師等が産休や育休から復職する際の相談等に対応しています。また、短時間勤務等のために代替医師の雇用等を行った病院に経費を助成しています。

相談窓口 埼玉県医師会/埼玉県さいたま市浦和区仲町3-5-1 県民健康センター 5F

TEL:048-815-7115 FAX:048-815-7175 E-mail:info@saitama-joi.jp 受付時間/平日9:00~17:00

令和8年度開始専門研修プログラム 県内基幹施設の指定状況

各診療科の基幹施設の指定状況は表のとおりとなっています。

二次医療圏	基幹施設名	臨床研修病院	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	麻酔科	病理	臨床検査	救急科	形成外科	リハビリ	総合診療科	合計
南部	埼玉県済生会川口総合病院	●	○	○				○							○							4
	埼玉協同病院	●	○																		○	2
	川口市立医療センター	●	○	○				○							○			○				5
	戸田中央総合病院	●	○					○							○	○						4
	さいわい診療所																				○	1
南西部	TMGあさか医療センター	●													○						○	2
	国立病院機構 埼玉病院	●	○	○						○					○			○		○	○	7
	イムス富士見総合病院			○																		1
	新座志木中央総合病院	●	○					○														2
東部	春日部市立医療センター	●	○																			1
	順天堂大学附属順天堂越谷病院	●					○															1
	南埼玉病院						○															1
	獨協医科大学埼玉医療センター	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18
	みさと健和病院	●	○																		○	2
	草加市立病院	●	○																			1
	春日部中央総合病院	●	○																			1
	秀和総合病院	●	○																			1
さいたま	北辰病院						○															1
	自治医科大学附属さいたま医療センター	●	○	○	○		○		○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	14
	さいたま市立病院	●	○	○				○							○				○			5
	彩の国東大宮メディカルセンター	●	○																			1
	さいたま赤十字病院	●	○	○				○		○					○				○			6
	浦和神経サナトリウム							○														1
	医療法人社団輔仁会 大宮厚生病院							○														1
	さいたま市民医療センター	●	○	○																		2
川越比企	埼玉県立小児医療センター			○																		1
	埼玉メディカルセンター	●	○					○												○		3
	上尾中央総合病院	●	○					○	○		○	○			○						○	7
	北里大学メディカルセンター	●	○					○			○											3
西部	埼玉県立精神医療センター						○															1
	埼玉県済生会鴻巣病院						○															1
	埼玉医科大学総合医療センター	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17
利根	関越病院	●																			○	1
	埼玉医科大学病院	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16
北部	社会医療法人財団石心会 埼玉石心会病院	●	○				○												○		○	4
	埼玉医科大学国際医療センター	●	○					○					○	○	○	○			○			7
	久喜すずき病院						○															1
	羽生総合病院	●						○													○	2
秩父	新久喜総合病院	●	○					○											○			3
	済生会加須病院	●	○					○	○											○		4
	深谷赤十字病院	●	○					○												○		4
秩父	医療生協さいたま生活協同組合 熊谷生協病院																				○	1
	秩父市立病院																				○	1
合計			27	11	5	11	12	11	5	5	5	6	3	3	13	6	3	13	4	4	15	162

SPECIAL INTERVIEW



さいたま赤十字病院
研修医1年目
長嶺 翠栄 先生
PROFILE
出身地:埼玉県
出身大学:自治医科大学(2025年卒)



🔍 埼玉県のイイところ!

東京にも近く、都市部の利便性もあり、かつ、自然も身近にある落ち着いた環境にあるため、「ちょうどいい暮らし」ができる場所です。病院が位置する「さいたま新都心」は、アクセスの利便性や暮らしやすさ、子育てのしやすさから人口が増加しているエリアです。商業施設もすぐ充実しており、車がなくても生活の不便さを感じることは一切ありません。一人暮らしの人でも、子育て中の方にも、安心、かつ楽しく生活できる環境です。



さいたま新都心

県内の臨床研修医に聞きました

幅広い能力をバランスよく獲得、多様なニーズにも応える医師に

埼玉県は人口が多く、どの研修病院であっても十分な症例数を経験できることが強み。当院でいうと、病床数638床の大規模病院ですが、研修医数は一学年定員15名であり、病院規模に対して研修医が多すぎないため、一人ひとりが経験できる症例数は多く、かつ、主要な診療科が一通り揃っているため、多彩な症例を経験できます。当直では、ER当直と称した2次救急の初療を研修医が担当します。2年目の先生と上級医との3人体制で、研修医もしっかりと診療に参加することができます。

超高齢化社会となり、医師は自分の専門とする特定領域だけではなく、複数疾患を抱えた高齢患者さんに対応するため総合的な診療能力も求められています。豊富で多彩な症例をバランスよく経験できる当院でなら、そうした医師になるための基盤をしっかり築くことができると感じています。たとえば、能力を六角形で表すチャートがあるとすれば、特定箇所だけが尖っているのではなく、全ての能力が秀でているような、丸に近い能力チャートをめざすことができる研修環境です。実際、当院には、総合力を有し、かつ、臨床スキルだけではなくコミュニケーション能力にも長けているなど、人間力にも優れ、全人的医療を実践できる先生が多くいらっしゃいます。

私は自治医科大学出身であるため、埼玉県の地域医療に貢献できる医師になることが当面の目標ですが、そのためには特定の診療科だけではなく、幅広い疾患にも対応することができ、かつ、患者さんに寄り添う共感性や信頼関係を築くためのコミュニケーション能力も必要となります。当院での研修なら、そうした医師になるための強い基盤をしっかりと養うことができます。



豊富な症例数、安心の指導・サポート体制、 利便性の高い住環境も埼玉県の魅力

豊富で多彩な症例。研修医も一戦力として活躍できる埼玉県

さいたま赤十字病院は、「さいたま新都心駅」から徒歩4分という立地環境の良さや、2017年に新築移転した綺麗な施設環境、さらに、診療科が一通り揃っていることや、高度救命救急センターが併設されており、救急対応をしっかりと学べるのが特徴。選択研修期間が40週ある研修プログラムも大きな魅力です。埼玉県は人口10万人あたりの医師数が全国下位ですが、逆に一人当たりが経験できる症例数は多く、確かな臨床力の獲得に優れた環境です。いろんな診療科にて豊富な症例経験ができることで、自分に本当に合った進路を見つけることができますし、幅広い診療経験は将来どの診療科に進むにしても大きな糧になるのではと思っています。

当院はタスク・シェアが推進されているため、研修医が雑用に忙殺され、「忙しいけど、この一か月で何を学んだんだろうか?」といった状況になることは一切ありません。日々の研修にしっかりと集中できる環境が整っており、勉強時間もしっかり確保できます。上の先生方もコメディカルのみ



オン・オフにメリハリがあり プライベートも大切にできる環境

私は自分や家庭が幸せであるからこそ、患者さんや周囲の人も幸せにできると考えています。心に余裕がなければ医師としての適切な判断も行動も難しくなります。その点においても、当院はオン・オフのメリハリも明確で、プライベートもしっかりと大切にできる環境です。「働きやすさ」という面でも非常に優れた病院です。

他県出身や県外大学の同期も多く、研修医

なさんも優しく、研修医だからということでカンファレンスやプレゼンの場で詰められたり、雑用を押し付けられたりすることは全くありません。チームの一員として治療方針の決定や処置に参加することができるなど、研修医も一人の医師として尊重していただけますし、いろんなことにチャレンジができる環境にあるため、主体的に取り組める人に最適な病院です。

研修医になったばかりの年度初めのころはできることがほとんどなく、不安も大きかったのですが、上の先生方やコメディカルのみなさんからの優しく丁寧な教えによって、安心して仕事を覚えることができました。頼まれ事をされたときは、どんな小さなことであっても「ありがとう」と笑顔で感謝していただけることもすごく嬉しかったです。できなかったことや失敗したことがあっても、傍にいる専攻医の先生から「大丈夫?」と声を掛けていただいたり、「ここはしっかりできていたから」とフォローしてもらったり、高いモチベーションを維持しながら研修に取り組むことができる環境です。医師として最初の一步を踏み出すのに最良の病院だと感じています。

同士とても仲が良いことも特徴です。研修医室も完備されており、学年関係なく席もバラバラで、近くの席の先輩と気軽に話したり、仕事帰りに一緒にご飯を食べたり、飲みに行ったりする機会もあり、楽しく充実した研修医生活を過ごしています。

病院見学は随時受け付けていますので、ぜひ気軽に見学に来てください。まだまだ伝えたい埼玉県の魅力がたくさんあります。私たち研修医と直接話すことで、埼玉県で研修生活を送る魅力をもっともっと知ってほしいと思います。

休日の過ごし方

基本的に土・日・祝日は休みです。当直明けも朝に帰ることができ、平日は診療科によって多少異なりますが概ね定時には帰ることができます。オフはジムで体を動かしたり、趣味のゴルフをしたり、大学時代や研修医の同期たちと旅行を楽しんでいます。病院周辺は商業施設も多く、映画を観たり、買い物をしたり、友達とご飯を食べに行ったりするのにすごく便利。オフもすごく充実しています。



さいたま赤十字病院



埼玉県南地域における中核病院として、第3次救急医療を担う高度救命救急センターとしてICU・CCUなどの施設を併設し高度診療機能を有するほか、災害拠点病院として地域に密着した医療を推進している。また、健診センターなどの施設も整備し、地域住民の健康管理に努めるとともに、ほかの医療機関との連携を図った急性期医療を展開し、地域に根ざした医療を提供している。

SPECIAL INTERVIEW



自治医科大学附属さいたま医療センター
研修医2年目
(一般研修プログラム 内科系コース)

吉岡 万希 先生

PROFILE
出身地:埼玉県
出身大学:自治医科大学(2024年卒)



自治医科大学附属さいたま医療センター
研修医2年目
(一般研修プログラム 総合医学オープンコース)

中野 翔太 先生

PROFILE
出身地:福岡県
出身大学:自治医科大学(2024年卒)



県内の臨床研修医に聞きました

進路が決まっている人にも、迷っている人にも最適な病院

吉岡先生／当院の初期研修プログラムは、【一般】・【産婦人科】・【小児科】の3課程があり、一般研修プログラムは「総合医学オープン」「内科」「救急」「外科専門医」「外科系専門診療科」の5コースから選択できることが特徴です。進路が決まっている人にも迷っている人にも最適だと思います。

中野先生／しかも、どの研修プログラムを選択しても、日常診療で頻繁に遭遇する疾患に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力をしっかり身に付けることができます。「総合医学オープン」コースでは、内科系全てが必修ローテーションとなり、加えて、自分が回りたい科を5か所ほど回ることもできます。多彩な診療科を経験できるため、進路が決まっていない人にも最適だと思いますね。

吉岡先生／自分が希望する研修ローテーションも組めますし、自由選択は内視鏡、透視、放射線科(読影)も選択できるなど選択バリエーションも多く、研修医の希望にも柔軟に対応していただけます。

中野先生／3年目は消化器外科に進もうと考えているのですが、たとえば、がん患

者さんは糖尿病や高血圧といった併存疾患を抱えている人も少なくはありません。がんの治療だけではなく、併存疾患や、起こりうるさまざまな問題にも幅広く対応できるなど、“患者さんに責任を持てる医師”を目指しています。当院での研修なら、そういった医師になるための確かな地盤を築くことができますよね。



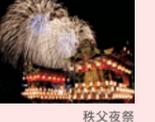
🔍 埼玉県のイイところ!

埼玉県は都会の利便性と自然の豊かさを同時に楽しむことができ、生活するのにとてもバランスのいい場所。都会のように、人が多くて混雑していることがないため生活にストレスを感じることはありません。川越など古い町並みも残っていて、落ち着いた暮らしを実現することができます。(吉岡先生)



川越市/菓子屋横丁

埼玉県は東京に近いなど、アクセスの利便性が高いことが魅力。日々の暮らしで不満なところは一切ありません。新しい生活を始める場所としても最適だと思います。(中野先生)



秩父夜祭

誰にとっても最適な研修環境で 医師人生のスタートは埼玉県で

埼玉県なら、主体的に安心して研修に臨むことができる

中野先生／救急研修では研修医にも裁量権が与えられており、患者さんにファーストタッチをして、問診、身体診察を行い、必要な検査や初期対応を自分で考えながら行うことができます。

吉岡先生／研修医が主体的に診療に関わることができるので、経験した疾患の知識を確実に自分のものにできたり、上級医の先生から手技を教わったり技術を盗んだりできると思います。

中野先生／二次救急の患者さんに関しては、ほぼ研修医が初期対応から検査まで全て終わってから、上の先生にアセスメントをしています。

吉岡先生／上の先生方のフォローもしっかりあるので安心して救急や当直に臨むことができますよね。

中野先生／三次救急に関しては必要に応じて救急科の先生にサ

ポートしていただきながら診療していますし、当直は救急科の先生が1名と、専攻医の先生が2名、そして研修医2年目2名、1年目2名という体制を敷いており、3次救急が立て込んだ際は病棟にいる救急科の先生もサポートしていただけます。安心の当直体制ですし、年齢が近い先生と一緒に相談や質問もしやすく、また、2年目の研修医が1年目の先生に教える機会も多々あり、教えることでより大きく成長できる場となっています。

吉岡先生／上の先生方は優しく、とても教育熱心で、分からないことがあったら直ぐに聞くこともできます。質問することに躊躇してしまうような雰囲気は一切ありません。なにかと不安の多い研修医にとってすごく嬉しい環境ですよ。

“チャレンジできる風土”や“自由闊達さ”も埼玉県の特徴

中野先生／これまでドクターカーを経験したことがなかったので、ドクターカーの担当の先生に乗りた

いと伝えると、「じゃあ、一緒に乗ろう!」と乗車機会を与えてくださるなど、当院には研修医の希望や意欲に応えてくれる環境があります。主体的に動けば動くほどたくさんの学びを得られますし、いろんなことにチャレンジできる機会も多いですよ。

吉岡先生／人間的にも尊敬できるロールモデルとなる先輩医師がたくさんいるという環境も当院の魅力だと思います。消化器内科を回った際、手技が早くて正確な先生をみて感銘を受けたのですが、やはり陰でものすごく努力をされている。そ

ういう姿がすごくかっこいいと思いましたし、自分もそんな先生になりたいと思いました。

中野先生／それと、当院は大学病院としての充実した教育・研修体制やアカデミックな医療環境に加え、市中病院の特徴であるコンディーズを数多く経験することもできるなど、大学病院と市中病院の“良いとこ取り”の研修ができることも大きな魅力ですよ。

吉岡先生／大学病院が市中病院から迷っている人にも、将来の診療科が決まっている人も迷っている人にも、誰にとっても最適な研修環境にある病院です。自治医科大学の附属病院ですので、同期は全国さまざまな大学から集まっており、派閥は一切ありませんし、みな和気あいあいとしており、自由闊達な雰囲気も魅力。こうした雰囲気の良さは埼玉県の全ての研修病院にも言えることだと思います。埼玉県なら安心して医師人生をスタートすることができるはず。ぜひ見学に来ていただき、雰囲気の良さを実際に肌で感じてほしいですね。みなさんと、たくさんお話ができることを楽しみに待っています。

休日の過ごし方

オフの日は家事をしたり、友達と遊んだりしています。「医師の働き方改革」もスタートし、ほぼ定時に仕事を終えることができますし、オン・オフがとても明確で、オフの日は仕事と切り分けてリラックスして過ごせるのが嬉しいです。(吉岡先生)



趣味の筋トレをしたり、友達と飲みに行ったりと、オフは心身共にしっかりとリフレッシュすることを心掛けています。オフも充実しているため、健康体で仕事や研修に取り組むことができますなど、いい循環ができています。(中野先生)



自治医科大学附属さいたま医療センター



「患者にとって最善の医療をめざす総合医療」と「高度先進医療をめざす専門医療」の一体化とその実践。地域における医療への貢献とへき地などの地域医療に従事する医師に対する生涯教育の確立を目的に設立された。循環器病を主体とする高度医療に対応できるよう、医師をはじめとする医療スタッフは優秀な人材を確保し、最新の施設、設備、医療機器を取り入れている。

01

社会福祉法人
恩賜財団済生会支部

埼玉県済生会川口総合病院

332-8558 川口市西川口5-11-5

TEL 0570-08-1551(代表) FAX 048-256-5703

URL <https://www.saiseikai.gr.jp/>



病院データ

※2024年4月～2025年3月の計数

病床数	414床	医師数	128人	指導医数	55人	外来患者数 (1日平均)	1,101人
入院患者数 (1日平均)	328人	救急外来 患者数 (1日平均)	17人	救急車搬送 患者数 (1日平均)	16人	心肺停止状態 搬送患者数 (1日平均)	0.1人

診療科目 内科／循環器内科／消化器内科／呼吸器内科／腎臓内科／糖尿病・内分泌内科／神経内科／腫瘍内科／放射線科／外科／整形外科／脳神経外科／泌尿器科／産婦人科／血管外科／呼吸器外科／眼科／耳鼻咽喉科／皮膚科／麻酔科／小児科／精神科／リハビリテーション科／病理診断科／臨床検査科／心臓外科

※上記は標榜科であり研修科とは異なります。

病院の特徴

質の高い医療の提供により、地域・社会に貢献します

当院は、現在414床の病床と専門学会から指導施設としての認定を受けている25の標榜診療科を有する総合病院で、職員数は常勤医師、看護師、派遣、業務委託をあわせて約1,400名を抱える病院です。手術室は7室、ICU14床、NICU6床、GCU6床に加え放射線部門ではPET・CT・MRI・DSA・RI・IMRT、診療部門ではda Vinci(ダビンチ)などの最新の医療機器を導入し、救急車搬送数は年に6,000台、手術は年に4,500件をおこない、臨床研修病院・救急指定医療機関・災害拠点病院・地域がん診療連携拠点病院・地域周産期母子医療センター・地域医療支援病院などの認定を受ける、まさに人口60万の川口市、隣接する戸田・蕨を含めて80万人の地域の医療を担う急性期型の中核病院です。

支援制度

見学補助／なし

住宅補助／あり

宿舎／あり

産休・育休
(研修医の取得実績)／あり

メッセージ



～基本的診療能力と医師としてのプロ意識を培う～

プログラム責任者／救急・総合内科部長
岩崎 歩世
出身大学：福井大学

当院は、荒川をはさんで東京都と接する川口市に位置する地域中核型の急性期病院です。医療の質向上への終わりなき挑戦を日々続け、次世代に継承しうる病院創りを確実に進めています。本館の改築とICU14床の開設により、救急と周産期部門が充実しました。また、東館のオープンにより、健診、透析、リハビリ部門が拡充されました。常勤医144名中54名が厚生労働省の指針による講習会を受講した指導医で、十分な指導体制が確保され医療人育成強化を推進しています。当院での患者中心の医療を経験することにより、優れた技術、メディカルスタッフとのチーム医療、患者との信頼関係、プロ意識等を体験し、臨床研修の2年間で、プライマリ・ケアを中心とした医師として最低限必要な態度、知識、技術を体得できるよう研鑽を積んでください。研修医個々人の立てた目標に向けた取り組みを継続的に支援し、できる限りの協力をおしません。



主体的に学びたい方におすすめです!!

先輩研修医
修了者からのメッセージ

- ・主体的に学びたい方におすすめです
- ・研修医は都内、地方出身者と色々
- ・小児科はNICU有(小児・産婦志望ならお薦め)
- ・自身が望めば色々やらせてもらえる
- ・手技が取り合いにならない
- ・指導医が充実
- ・先輩研修医が優しい
- ・先生、看護師、事務スタッフ、医療技術職の方々まで皆さん温かく、充実した研修生活をおくることができた
- ・個性豊かな同期や上級医の先生方とともにのびのび充実した2年間を過ごせました
- ①経験できる症例数や手技が豊富である事②上級医の先生からのご指導が手厚い事
- ③雰囲気がよく活気がある事に惹かれたため研修先として選びました。どの科の先生方もとても優しく、研修医に対して熱心に指導して下さいます。また、自分が希望すれば多くの手技も経験させてもらえます。内科を中心に自分でローテーションを調整できる点もよかったです。そして日々助け合える同期が12人いるので、とても心強いです。

研修データ

初期研修医数 (1年目)	11人	初期研修医数 (2年目)	11人	昨年度 マッチング 受験者数	12人	募集人数	12人
当直日数 (月平均)	4日	当直 開始時期	1年目6月から準夜 2年目から当直	当直時の 勤務体制*	2人	※研修医以外の当直人数	

主な出身大学 愛知医科大学／秋田大学／旭川医科大学／岩手医科大学／岡山大学／鹿児島大学／金沢医科大学／金沢大学／北里大学／岐阜大学／九州大学／杏林大学／群馬大学／高知大学／埼玉医科大学／佐賀大学／札幌医科大学／産業医科大学／滋賀医科大学／島根大学／順天堂大学／昭和大学(現・昭和医科大学)／信州大学／聖マリアンナ医科大学／千葉大学／筑波大学／帝京大学／東海大学／東京医科歯科大学(現・東京科学大学)／東京医科大学／東京慈恵会医科大学／東京女子医科大学／東邦大学／東北大学／獨協医科大学／鳥取大学／名古屋立大学／名古屋大学／新潟大学／日本医科大学／日本大学／浜松医科大学／弘前大学／広島大学／福井大学／福島県立医科大学／北海道大学／三重大学／宮崎大学／山形大学／山梨大学／琉球大学(五十音順)

研修プログラムの特色

当院は414床の総合病院で、救急車受入台数は約6,000台となっています。当直においては内科系・外科系・循環器内科・ICU・小児科・産婦人科の6科体制となっています。救急外来でのファーストタッチは研修医が行うので、様々な症例(特に脳神経領域)を経験する事が可能です。また、地域医療研修に関しては救急車同乗研修や岩手県にある済生会岩泉病院での研修もできます。選択科は36週設定されており、年度内での選択科変更も可能となっています。1学年12名という過不足ない人数且つ、指導医数50余名の中で時間に追われる事なく豊富な症例経験が可能です。

研修スケジュール(年間研修予定(例))							
	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月						
1年次	内科(必須24週) (消化器内科・循環器内科各8週のほか、胃腸内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科から8週選択)	外科(必須8週)	麻酔科(病院必修8週)	産婦人科(必須4週)	救急科※(必須4週)		
2年次	小児科(必須8週)	救急科(必須4週)	地域医療(必須4週)	精神科(必須4週)	選択科※(36週)／一般外来(必須4週)		

※救急8週(救急外来での8週の研修の他に、日当直業務および各診療科ローテーション時の救急当番での研修を加えて、合計12週の研修とします。)※選択科目36週:上記の診療科目のほか、保健・医療行政から選択。ただし、精神科を選択した場合は、協力病院である順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院若しくは埼玉県済生会鴻巣病院での研修となります。

専門研修プログラム (基幹施設)	内科	外科	小児科	産婦人科	精神科	皮膚科	眼科
	耳鼻咽喉科	泌尿器科	整形外科	脳神経外科	形成外科	救急科	麻酔科
	放射線科	リハビリテーション科	病理	臨床検査	総合診療科		

研修医の処遇

- 給与 / 1年目:360,000円/月、2年目:400,000円/月
- 諸手当 / 就業規則に準ずる(準)夜勤手当、住宅手当、通勤手当等
- 勤務時間 / ・8:45～17:00(平日日勤)・9:00～17:00(土日祝日直)・14:45～23:00(準夜)・16:45～翌8:45(夜勤)※上述時間については原則であり状況等によって前後します。また、休日を含めた研修時間等は研修科によって異なり、状況等によっては休日研修も生じます。

- 保険 / 組合健保、厚生年金保険、雇用保険、労災保険、医師賠償責任保険(病院において加入)
- 休暇 / 2日/週、有給休暇(1年次:14日、2年次:15日)
- その他 / ・賞与1年目:100,000円/年、2年目:200,000円/年・健康診断2回/年・ワクチン接種等



応募連絡先

埼玉県済生会川口総合病院、臨床研修室:担当 TEL 0570-08-1551(代表)

FAX 048-256-5703 Mail kensyu@saiseikai.gr.jp



南部保健医療圏
南保健医療圏
東部保健医療圏
さいたま保健医療圏
県央保健医療圏
川越比企保健医療圏
西部保健医療圏
利根保健医療圏
北部保健医療圏

TEL 048-296-5822 FAX 048-296-8247

URL <https://kyoudou-hp.com/skymet/>

病院データ

※2024年4月～2025年3月の計数

病床数	377床	医師数	84人	指導医数	45人	外来患者数 (1日平均)	376人
入院患者数 (1日平均)	305人	救急外来 患者数 (1日平均)	6人	救急車搬送 患者数 (1日平均)	12人	心肺停止状態 搬送患者数 (1日平均)	0.1人

診療科目 内科／循環器内科／呼吸器内科／消化器内科／緩和ケア内科／神経内科／小児科／外科／呼吸器外科／消化器外科／乳腺外科／整形外科／脳神経外科／産婦人科／泌尿器科／皮膚科／眼科／耳鼻咽喉科／精神科／放射線科／麻酔科／リハビリテーション科／病理診断科／リウマチ科／臨床検査科／腎臓内科／血液内科／糖尿病内科／救急科／泌尿器科(人工透析)／緩和ケア外科

病院の特徴

保健予防、救急医療、慢性疾患管理、在宅医療まで一貫した総合医療を実践する2次救急病院

当院は地域住民からの出資により成り立つ医療福祉生協として1978年の開院以来、埼玉県の地域医療を支える医師を育成してきました。医療生協は保健予防活動に力を入れており、医師をはじめとした職員が参加しています。1日10台以上、年間約4,000台の救急車受け入れを行っており、地域の救急医療を支えています。内科病棟で受け持つ症例は複数の慢性疾患を抱える高齢者が、急性期疾患で入院するケースが多いので急性期疾患にだけ着目するのではなく総合的な診療を提供します。単に病気を診るだけでなく、その病気を抱えた患者さんを生活背景(経済状況・住居・家族関係等)や労働環境(労働による疾病への影響)からも理解し、診療を行うことを医師を始め多職種がチームとなって行っていることです。民医連加盟病院として無保険・路上生活者など治療を受けることができない患者さんに対しても無差別平等の医療を実践し、社会復帰への支援につなげています。

支援制度

見学補助／なし

住宅補助／あり

宿舎／なし

産休・育休
(研修医の取得実績)／あり

メッセージ



社会的に困難を抱えた患者さんに対する「なぜ？」を大切に

副院長
後藤 慶太郎
出身大学:高知医科大学(現・高知大学)

当院は地域住民の出資から成り立つ医療生協の病院として、地域住民の健康を支える医師を育てるという視点で1978年の開院以来一貫して医師の育成を行ってきました。当院の研修は研修医が主体的に手技や鑑別、治療方針の決定に関わることで総合性と専門性を両立する形で学び、経験することができます。その研修を支えるのは指導医だけではなく、看護師をはじめとする多職種です。また、当院は経済的に医療にかかれぬ方や、社会生活に困難を抱えこれまで医療に繋がれなかった患者さんも多く来院されます。そういった患者さんに対応する時に生活面や経済面で困難に対して「なぜ？」と思う瞬間があります。その「なぜ？」を大切に指導医をはじめ、多職種が一丸となって支援することを経験することで地域社会に目をむけることができる医師として成長できるものと思います。皆さんのお越しを心待ちにしております。



総合内科から始まる研修で着実なステップアップを

研修医2年目
匿名希望
出身大学:国立大学(2024年卒)

当院の初期研修は、総合内科病棟から始まります。何もわからない状態からのスタートですが、指導医の先生を始め、スタッフの皆様が優しく熱心に指導して下さい、安心して研修が行えます。研修医として医学的な管理を学ぶことはもちろんですが、患者様はそれぞれ多様な背景を抱えられています。お一人お一人の問題を解決するために、医師として何が出来るか考えさせられる毎日です。患者様の抱える問題の解決策を模索する、多職種によるチーム医療に自身も参加することで、より広い視野での診療が行えるようになるのではないかと思います。保健予防、救急医療、慢性疾患管理、在宅医療まで一貫した総合医療を実践することができる2次救急病院に興味のある方はぜひ一度病院見学にお越しください。

研修データ

初期研修医数 (1年目)	7人	初期研修医数 (2年目)	8人	昨年度 マッチング 受験者数	40人	募集人数	8人
当直日数 (月平均)	4日	当直 開始時期	1年目9月	当直時の 勤務体制※ ※研修医以外の当直人数	2人		

主な出身大学 関西医科大学／群馬大学／国際医療福祉大学／筑波大学／東京大学／東京慈恵会医科大学／東京女子医科大学／獨協医科大学／日本大学／日本医科大学／琉球大学

研修プログラムの特色

当院の研修の特徴は2年間でその後の医師人生の土台となる一般診療能力を身につけられることです。内科を中心として救急、小児科、麻酔科、外科、産婦人科、精神科、地域医療、選択科をローテーション研修します。ローテート内容は自由度があり、3年目の専攻を見据えて選択科やローテート順などの希望に柔軟に対応します。研修を開始した最初の16週間は内科病棟で一貫した指導を受け入院してから退院するまでの基本的な診療を主体的に行うことで覚えます。2年間の研修でどの科を回っていても看護師、医療相談員、薬剤師、セラピストなどのメディカルスタッフとともにカンファレンスを行うことで患者さんに寄り添ったチーム医療を行う姿勢を身につけます。一般診療能力に必要な初期診療対応はどの科をローテート中でも救急当直に入ること学ぶことができます。地域医療研修は同法人の中小規模病院または診療所で行いますので、一貫した研修として地域包括ケアを学び実践できます。

研修スケジュール(年間研修予定(例))

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科(総合診療科)				救急科	麻酔科	外科	産婦人科	内科			
2年次	地域医療	小児科	精神科	選択科								

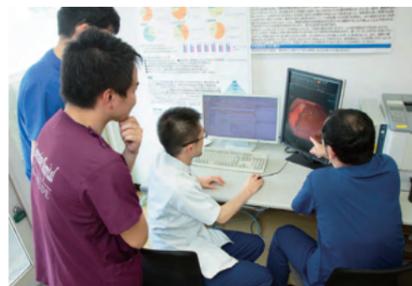
専門研修
プログラム
(基幹施設)

内科	外科	小児科	産婦人科	精神科	皮膚科	眼科
耳鼻咽喉科	泌尿器科	整形外科	脳神経外科	形成外科	救急科	麻酔科
放射線科	リハビリテーション科	病理	臨床検査	総合診療科		

研修医の処遇

- 給与 / 1年目:358,000円/月、2年目:398,000円/月
- 諸手当 / 時間外手当、宿日直手当、住宅手当
- 勤務時間 / 8:30~17:00

- 保険 / 全国健康保険協会組合、雇用保険、労働災害保険、医師賠償保険
- 休暇 / 年次有給休暇:1年次/10日、2年次/12日、年末年始、リフレッシュ休暇、その他特別休暇(忌引き等)あり
- その他 / 一時金(ボーナス)あり。
BLS、ACLSの受講時の受講料・交通費を病院が負担。
医師の学会等出張規程により、参加費等は実費支給あり。



応募連絡先

医学生担当事務:千葉 翔太 TEL 048-296-5822

FAX 048-296-8247

Mail skymet@mcp-saitama.or.jp

03 川口市立医療センター

333-0833 川口市西新井宿180

TEL 048-287-2525 FAX 048-280-1566
URL <https://kawaguchi-mmc.org/>



病院データ

※2024年4月～2025年3月の計数

病床数	510床	医師数	153人	指導医数	62人	外来患者数 (1日平均)	990人
入院患者数 (1日平均)	389人	救急外来 患者数 (1日平均)	11人	救急車搬送 患者数 (1日平均)	23人	心肺停止状態 搬送患者数 (1日平均)	1.2人

診療科目 内科/消化器内科/血液内科/脳神経内科/呼吸器内科/腎臓内科/糖尿病内分泌内科/循環器科/小児科/精神科/外科/消化器外科/乳腺外科/呼吸器外科/小児外科/脳神経外科/整形外科/形成外科/心臓血管外科/産婦人科/眼科/耳鼻咽喉科/皮膚科/泌尿器科/放射線科/麻酔科/歯科口腔外科/リハビリテーション科/病理診断科/緩和ケア科

病院の特徴

プライマリ・ケアから高度専門医療まで!

当センターは昭和22年に開設され、平成6年5月に川口駅前から現在の場所に移転し、その名称も川口市市民病院から川口市立医療センターに変更されました。同時に救命救急、周産期および画像診断の各センターを設置し、専門医が中心となり各医療スタッフが丸になって高度医療の充実に寄与しています。診療科数30科510床を有し、平成30年4月から地域医療支援病院となるなど、地域の基幹病院としてプライマリ・ケアから高度専門医療まで広範な医療を展開しています。日本医療評価機構の認定施設であり、さらにエイズ診療協力医療機関及び基幹災害医療センターにも県より指定されています。

支援制度

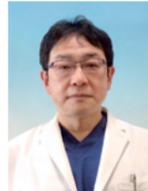
見学補助/なし

住宅補助/なし

宿舎/あり

産休・育休
(研修医の取得実績) /あり

メッセージ



救命の現場と手技の経験が、医師としての強さを育てる

副院長
長峰 守
出身大学:東京慈恵会医科大学

当院は、緑豊かで落ち着いた環境にあり、安心して臨床経験を重ねられる病院です。幅広い症例に触れることで、医師として大きく成長できる体制が整っています。特に救命救急センターでは、重症患者の初期対応を経験でき、迅速な判断力や実践的な処置能力を養うことが可能です。さらに他の診療科でも、中心静脈カテーテル挿入や気管内挿管、内視鏡などの手技を実際に経験する機会が多く、研修医が主体的に学べる環境が整っています。加えて、上級医の丁寧な指導を受けながら、研修医同士で切磋琢磨することで、知識と技術の両面を着実に伸ばすことができます。この2年間は、臨床能力を磨くだけでなく、人間性を育む大切な時期でもあり、将来の医師としての土台を築く貴重な時間となります。挑戦を楽しみながら成長したい方にとって、当院は理想的な初期研修病院です。



支えられ、支え合い、成長していく研修環境

研修医2年目
平澤 丈
出身大学:東京慈恵会医科大学(2024年卒)

当院ではcommon diseaseから三次救急まで幅広い症例を経験でき、日々多くの学びを深めることができます。研修医が主体的に診療に関わる機会が多く、手技も経験しながら、自分のペースで着実に臨床力を伸ばしていただけます。指導医の先生方によるレクチャーに加え、研修医同士での勉強会も定期的に行われており、学びを共有しながら成長できる環境です。また、学会発表の機会も多く、日々の経験を整理し言語化することで、理解がより深まると感じています。大変なこともあります。困ったときに気兼ねなく相談できる先輩や同期の存在がとて心強いです。学ぶ時間と自分の時間のバランスも取りやすく、無理なく研修生活を送ることができます。興味を持っていただけた方は、ぜひ見学にお越しください。当院の雰囲気を感じていただければと思います。

研修データ

初期研修医数 (1年目)	12人	初期研修医数 (2年目)	12人	昨年度 マッチング 受験者数	99人	募集人数	12人
当直日数 (月平均)	4日	当直 開始時期	1年目5月	当直時の 勤務体制*	10人		

主な出身大学 日本大学/東京慈恵会医科大学/日本医科大学/筑波大学/福島県立医科大学/山形大学/国際医療福祉大学/順天堂大学/東北大学/群馬大学/千葉大学/昭和大学(現・昭和医科大学)/鳥取大学/新潟大学/東京女子医科大学/長崎大学/杏林大学

研修プログラムの特色

- 各科・各部門にわたる医師として必要な基本的姿勢・態度及び救急処置の初期治療等プライマリ・ケアを中心とした、医療知識・技能を習得するための内容で構成されています。
- 地域医療は同じ埼玉秩父の国保町立小鹿野中央病院にて医療・保健・福祉が一体となった地域包括ケアの実践を学ぶことができます。
- 精神科研修は同じ埼玉南部の北辰病院または戸田病院での研修となります。

研修スケジュール(年間研修予定(例))

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急	外科	産婦人科	小児科		
2年次	救急	精神科	地域医療	内科(外来)	内科系選択							

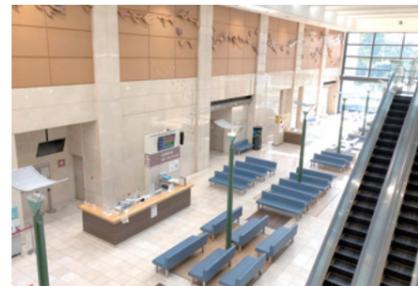
※研修1年目に救急部門8週、2年目に救急部門4週、精神科4週、地域医療4週、内科外来4週を行います。

専門研修プログラム (基幹施設)	内科	外科	小児科	産婦人科	精神科	皮膚科	眼科
	耳鼻咽喉科	泌尿器科	整形外科	脳神経外科	形成外科	救急科	麻酔科
	放射線科	リハビリテーション科	病理	臨床検査	総合診療科		

研修医の処遇

- 給与 / 1年目:420,616円/月、2年目:434,188円/月
- 諸手当 / 通勤手当、時間外勤務手当、夜間勤務手当、期末手当、勤勉手当
- 勤務時間 / 8:30~17:15

- 保険 / 健康保険(埼玉県市町村職員共済組合)、厚生年金保険(1年目:日本年金機構、2年目:埼玉県市町村職員共済組合)、雇用保険、労災保険
- 休暇 / 2日/週、有給休暇(20日)、夏季休暇(7日)
- その他 / 川口市職員互助会、福利厚生サービス(ベネフィットステーション)



応募連絡先

病院総務課 職員係:玉木 TEL 048-287-2525(内線2215)

FAX 048-280-1566

Mail 170.01005@city.kawaguchi.saitama.jp



TEL 048-442-1111(代表) FAX 048-433-4076

URL <https://www.chuobyoin.or.jp/>

病院データ

※2024年4月～2025年3月の計数



診療科目 内科(糖尿病・内分泌)／呼吸器内科／消化器内科／循環器内科／脳神経内科／腎臓内科／アレルギー科／リウマチ科／小児科／外科・消化器外科／呼吸器外科／心臓血管外科／乳腺外科／脳神経外科／整形外科／形成外科／泌尿器科／移植外科／眼科／耳鼻咽喉科／皮膚科／麻酔科／救急科／放射線科／緩和医療科(緩和ケア内科)／病理診断科／メンタルヘルス科／リハビリテーション科／婦人科

病院の特徴

戸田中央総合病院の初期研修とは・・・

救急ベッド、ICU、CCUを有し24時間体制で救急疾患に対応するだけでなく、地域がん診療連携拠点病院として、がん診療にも積極的に取り組んでおり、緩和ケア病棟も有しています。救急件数も約18.4件/日、約560件/月で大変忙しい病院ですが、Common Diseaseも非常に多く、初期研修には大変適した病院です。また、当院では研修医も「一人の医師」として扱います。その為、「研修医だから・・・」という制限を設けず、やる気と知識さえあれば、責任者許可の下、治療計画や手術、検査なども実践できます。更に、腎移植をはじめ県内初のド・ヴィンチ導入など最先端医療を積極的に取り入れているところも魅力のひとつです。その他、月1回開催する「研修医近況報告会」ではその月に開催された臨床研修委員会が出た各研修医評価のフィードバック、研修医からの意見の収集とその結果報告や研修医が希望した内容の勉強会等を行い研修医との意見交換の場、勉強の場を設けています。当院は1学年8名で全国より研修医が集まっていますが、初日から友人だったかのように打解け、指導医や上級医も研修医に気さくに接し、とてもフレンドリーな職場となっています。

支援制度

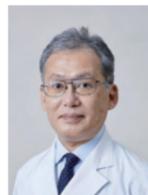
見学補助／なし

住宅補助／なし

宿舎／あり

産休・育休
(研修医の取得実績)／あり

メッセージ



“少年易老学難成”

副院長／院長補佐
田中 彰彦
出身大学：東京医科大学

鉄は熱いうちに打てといいますが、初期臨床研修に臨む医師は、多くの希望と不安を抱きながら社会人としての一歩を踏み出

されることでしょう。

私たち臨床研修病院の使命は、そうした皆さんの情熱を絶やすことなくきちんとした教育を行い、専門研修への礎を築くことにあります。そのために私たちは研修医と向き合うことを大切に、また卒後臨床研修評価機構の審査を受けるなど、自身が教育するための“質の向上”を絶えず模索しております。皆さんも先輩研修医や指導医とともに切磋琢磨できる環境と一緒に構築できる臨床研修病院をつくって行きましょう。

4月に入職し半年経って10月になると学生の風体だった研修医も医師らしい顔つきになってきます。医師としての最も学習曲線が高い時期を見守れるのは毎年嬉しい限りです。“少年易老学難成”良い研修となることを願っています。



病院見学お待ちしております！

研修医2年目
梅澤 侑平
出身大学：金沢大学(2024年卒)

地域密着型病院であるためCommon Diseaseを多く見ることができると考え、当院を選びました。症例数も多く、診療科も揃っていることから多彩な疾患を経験することができます。更にプライマリ・ケアはもちろん、診療においては治療方針を主体的に考えられるため、やりがいもあると思います。熱心に指導して下さる先生がとて多く、重要な場面では必ず指導医のサポートやアドバイスが入る恵まれた環境です。

当院は新宿まで約20分という好立地で、且つ手技が多くできることも魅力です。更に内科系、外科系だけでなく救急やマイナー科まで強い市中病院というのも強みだと思います。志望科に合わせてローテーションも自由に組むことができ、専門研修に向けて恥ずかしくない力も付きます。看護師をはじめ他の院内職員の方々にも気軽にアドバイスをいただける雰囲気のため、チーム医療が行いやすいのも良い所だと思います。

研修データ

初期研修医数
(1年目)

8人

初期研修医数
(2年目)

8人

昨年度
マッチング
受験者数

73人

募集人数

9人

当直日数
(月平均)

3.1日

当直
開始時期

1年目 7月

当直時の
勤務体制*

8人

主な
出身大学

東京医科大学／順天堂大学／日本医科大学／帝京大学／東邦大学／日本大学／千葉大学／杏林大学／秋田大学／金沢大学／国際医療福祉大学

研修プログラムの特色

病院理念と特徴に沿った指導体制を基本に、厚生労働省が指定する必修科目(内科系6ヶ月・救急3ヶ月・外科、小児、産科、精神、地域各1ヶ月)に加え、外科系2ヶ月・麻酔1ヶ月を必修とすることにより研修の到達目標の達成を図り、専門研修への移行が円滑に進むようなプログラムとなっています。また、募集する研修医数を8名とすることで、指導医と研修医が直接的な臨床現場での教育を行っています。更に、2020年3月にE館が稼働し、より充実した研修が可能となりました。(※研修医の募集人数を2026年度より8名から9名へ増員しました。)

研修スケジュール(年間研修予定(例))

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科系						外科系			救急科		
2年次	産婦人科	精神科	小児科	麻酔科	地域医療	自由選択						

専門研修
プログラム
(基幹施設)

内科

外科

小児科

産婦人科

精神科

皮膚科

眼科

耳鼻咽喉科

泌尿器科

整形外科

脳神経外科

形成外科

救急科

麻酔科

放射線科

リハビリテーション科

病理

臨床検査

総合診療科

研修医の処遇

- 給与 / 1年目:360,000円/月、2年目:400,000円/月
- 諸手当 / 時間外手当、当直手当等 ※当院規程による
- 勤務時間 / 9:00～17:30

- 保険 / 組合健康保険(TMG健康保険組合)、その他各種保険有り
- 休暇 / 4週8休+祝日相当、年次有給休暇、特別有給休暇等
- その他 / 福利厚生代行サービス



応募連絡先

医療秘書課：臨床研修事務局 TEL 048-442-1111(代表)

FAX 048-433-4076

Mail toda-rinsyou-kensyu@tmg.or.jp



病院データ

※2024年4月～2025年3月の計数



診療科目 内科／呼吸器内科／循環器内科／消化器内科／腎臓内科／心療内科／外科／呼吸器外科／消化器外科／小児外科／肛門外科／整形外科／脳神経外科／形成外科／小児科／皮膚科／泌尿器科／婦人科／眼科／耳鼻科／リハビリテーション科／麻酔科／放射線科／精神科／神経内科／救急科／緩和ケア内科／歯科口腔外科／血液内科／糖尿病内科／乳腺外科／小児泌尿器科／病理診断科

病院の特徴

TMGあさか医療センターの特徴

地域医療に力を注いでおり、埼玉県南西部地域でアクティブに活動している病院です。

特に整形外科、外科、脳神経外科、婦人科の4科は県内トップレベルの診療実績があり、特に脳神経外科に関しては、県内でも1位、2位を争うレベルです。多職種の結び付きが強く、カンファレンスも活発です。当院では救急・専門医療の拡充として、ICU・SCUの稼働、てんかんセンターでは患者様を24時間モニタリング検査ができ、外科的治療も可能です。手術室は8室に拡大し、多職種で協力して生命の危機にある患者を24時間体制で対応します。また脊椎内視鏡手術センター最新鋭のアンギオ装置を2台設置、20床個室の緩和ケア病棟、小児病棟といった各部門の強化を図り、幅広い医療が学べる環境です。また「免震構造」を採用し、被害の影響を受けにくい構造となっています。ホスピタルコリドール内には医療ガス設備を設置し、災害時でも医療が継続可能です。

支援制度

見学補助／なし

住宅補助／あり

宿舎／あり

産休・育休
(研修医の取得実績)／あり

メッセージ

病院長よりメッセージ

院長
飯田 惣授
出身大学:三重大学

私は、今後の病院運営方針について考えてみると、心に浮かんでくるのは30年以上前、私が医師になってすぐに心に誓ったことです。

医師になり外来を任せられてすぐのこと、自分の不甲斐なさに言いようのない悔しさがこみ上げてきたのを思い出します。「いつか先輩みたいな外来をしたい」「たくさん患者さんを診てあげたい」「待ってもいいからあの先生に診てほしい」そんな風に言われるような外来、そんな仕事をしたかった。30年以上前に思い、今も道半ば、実現できていない夢であります。

そしてもう一つ、職員からも選ばれる病院であることです。職員が「この病院で働きたい」と思ってくれる病院、ここで働く職員が皆自信をもち、誇りをもって仕事に臨み、医療という仕事に使命感を感じながら楽しく働ける、そんな病院、そんな職場を創っていきたくて思っています。

研修医よりメッセージ

研修医2年目
瀬戸 翔一
出身大学:東京医科大学(2024年卒)

当院を研修先として決めた最大の理由は雰囲気の良いことです。手術件数や救急車搬送件数など数字で出る指標も研修病院を決める上では大切だと思いますが、私は2年間を過ごす病院の雰囲気が自分に合うかどうかを最重要視しました。私自身まだまだ実際の臨床の現場で戸惑う事も多々あり、気軽に質問や助けを借りることができる当院の雰囲気のおかげで少しずつ成長を実感する日々を過ごしています。指導医の先生方も優しく、医師として基本的な手技や考え方を身につける場として当院を選んで改めて良かったと実感しています。医療従事者や事務等が作り出す病院の雰囲気は見学して初めて分かることです。これから研修先を探す学生の方にはできるだけ多くの病院に見学に行きたく思います。その中で自分に合う病院を見つけることが充実した研修生活を始める第一歩になります。

研修データ

初期研修医数
(1年目)

5人

初期研修医数
(2年目)

5人

昨年度
マッチング
受験者数

24人

募集人数

5人

当直日数
(月平均)

2~4日

当直
開始時期

1年目6月

当直時の
勤務体制*

6人

主な出身大学 新潟大学／山梨大学／北里大学／信州大学／東邦大学／筑波大学／東京大学／国際医療福祉大学／東京医科大学／東京女子医科大学／獨協医科大学／浜松医科大学／海外の大学

研修プログラムの特色

当院の初期研修プログラムでは、研修医の募集定員を5名と少人数制にすることで、指導医とマンツーマンでの研修を実現しています。初期救急医療からプライマリ・ケアを主とした研修をベースに問診、初期治療の実際から適切な判断能力を身につけられます。第二次救急医療機関として地域医療の一旦を担っているため、全科で二次救急を研修できるのが特徴です。

研修スケジュール(年間研修予定(例))

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						外科	整形	救急科			
2年次	産婦人科	精神科	小児科	麻酔科	地域医療	選択科						

専門研修
プログラム
(基幹施設)

内科

外科

小児科

産婦人科

精神科

皮膚科

眼科

耳鼻咽喉科

泌尿器科

整形外科

脳神経外科

形成外科

救急科

麻酔科

放射線科

リハビリテーション科

病理

臨床検査

総合診療科

研修医の処遇

- 給与 / 1年目:360,000円/月、2年目:400,000円/月
- 諸手当 / 時間外手当、通勤手当(※法人物件入居者は対象外)
- 勤務時間 / 9:00~17:30

- 保険 / TMG健康組合保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
- 休暇 / 日曜日、祝日、年末年始 ※週休2日制
- その他 / 診療見舞金制度(グループ病院受診時、月3,000円以上超えた分の診療費支給)
・スポーツクラブ、ヘアサロン等の福利厚生制度
・学会参加費 年1回のみ病院負担(交通・宿泊)



応募連絡先

初期臨床研修医事務局 TEL 0570-07-2055

FAX 048-466-2059 Mail asaka_kyujin@tmg.or.jp

TEL 048-462-1101 FAX 048-464-1138

URL <https://saitama.hosp.go.jp/>

病院データ

※2024年4月～2025年3月の計数



診療科目 内科／糖尿病内科／血液・膠原病内科／腎臓内科／総合診療科／脳神経内科／呼吸器内科／消化器内科／循環器内科／腫瘍内科／緩和ケア内科／精神科／小児科／外科(消化器外科)／乳腺外科／整形外科／小児外科／形成外科／脳神経外科／呼吸器外科／心臓血管外科／皮膚科／泌尿器科／産科／婦人科／眼科／耳鼻咽喉科／救急科／リハビリテーション科／放射線科／麻酔科／病理診断科／歯科口腔外科

病院の特徴

地域に根ざした中核病院で一緒に忙しく働きましょう！

埼玉病院は、地域医療支援病院、地域癌診療連携拠点病院、循環器病機関医療施設、肝疾患診療地区拠点病院、地域周産期母子医療センターで、地域の中核病院として機能しています。2018年には200床の新館が完成し550床の病院となりました。また、2021年に救命救急センターを開設しました。埼玉病院は、常に新しいことに挑戦し続ける病院です。研修医の先生方には埼玉病院の一員として現場第一主義で研修していただきます。地域を支えるやりがいを感じられる病院です。是非、一度見学にいらしてください。

支援制度

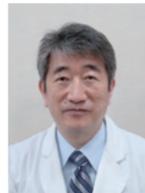
見学補助／なし

住宅補助／なし

宿舎／あり

産休・育休
(研修医の取得実績)／なし

メッセージ



職員家族主義のもと研修医教育にあっています

副院長 小児・周産期母子センター部長
上牧 勇

common diseaseから重症疾患まで、上級医の指導のもと実践的に初期対応を学ぶことができ、この経験が研修の核となります。2年間でやりきった卒業生たちは、確かな自信をもって専門研修へと進んでいます。また、年間約40回の共通プログラムを通して、救急診療の基礎を体系的に学ぶことができます。実践と座学の両面から救急医療を身につけられるのは、当院研修の大きな特徴です。

さらに、国立病院機構の一員として、全国の機構病院で実施される多彩な研修に参加できるのも大きな魅力です。

学術面では、症例検討会・抄読会・学会発表などの機会も豊富で、プレゼンテーション指導も充実しています。研修期間中には2回の学会発表と1回の論文投稿を推奨しており、初めての経験でも丁寧にサポートします。

熱意ある指導医とともに、充実した2年間を過ごしてみませんか。やる気のある皆さんを心よりお待ちしております。



当院の魅力は”人の温かさ”

研修医1年目
原田 沙也加
出身大学：慶應義塾大学(2025年卒)

当院の魅力は、何よりも”人の温かさ”にあります。実習や見学の際、直接関わる方だけでなく、すれ違う職員の方々までもが自然に挨拶をしてくださり、その雰囲気から心は惹かれました。実際に動いても、その印象は変わらず、「家族主義」という言葉がぴったり当てはまる職場だと感じています。診療科の幅が広く、さまざまな症例に触れられる環境の中で、先生方が一人ひとりに丁寧に向き合ってください。答えを一時的に与えるのではなく、考える時間や視点を与えてくださるご指導のおかげで、一歩ずつ成長させていただいています！「初期研修の2年間で医師としても1人の人間としても大きく成長したい」と考えている方にとって当院は理想的な環境だと思います。もし少しでも気になるようでしたら、ぜひ一度、足を運んでみてください！現場の雰囲気を肌で感じていただければ幸いです！

研修データ



主な出身大学 慶應義塾大学／日本大学／秋田大学／岩手医科大学／大阪大学／岡山大学／杏林大学／群馬大学／国際医療福祉大学／埼玉医科大学／順天堂大学／聖マリアンナ医科大学／千葉大学／筑波大学／東京医科大学／東京科学大学／東京慈恵会医科大学／東北大学／弘前大学／福島県立医科大学 他

研修プログラムの特色

当院の研修は「基本コース」と「診療科コース(内科・外科・小児科・産婦人科・救急)」に分かれています。基本コースは選択期間を長めにとっており、まだ進む診療科を迷っている方に向いています。診療科コースは志望科からスタートでき、将来を見据えた実践的な2年間を過ごせます。どのコースでも夜間の救急外来研修があり、週1回の当直で初期対応から専門医への引き継ぎまでを実践的に学びます。修了時には、どんな救急搬送にも落ち着いて対応できる力が身につくでしょう。臨床研修センター主催の勉強会や共通プログラム、抄読会、症例検討会など教育体制も充実。臨床も学びも全力で取り組みたい方、新しいことに挑戦したい方に最適なプログラムです。面倒見の良い埼玉病院で、医師としての第一歩を踏み出してみませんか。

研修スケジュール(年間研修予定(例))		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内系科										麻酔科	外科	救急科
2年次	小児科	精神科	地域医療 研修	産婦人科	選択科目								

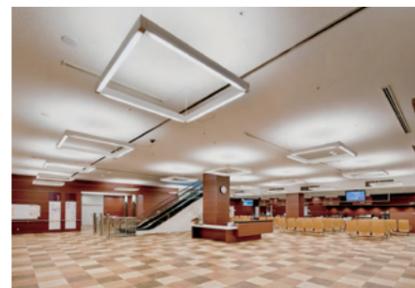
※基本コース

専門研修 プログラム (基幹施設)	内科	外科	小児科	産婦人科	精神科	皮膚科	眼科
	耳鼻咽喉科	泌尿器科	整形外科	脳神経外科	形成外科	救急科	麻酔科
	放射線科	リハビリテーション科	病理	臨床検査	総合診療科		

研修医の処遇

- 給与 / 1年目:301,700円/月、2年目:349,000円/月
1年目:490~579(宿日直+諸手当)万円
2年目:530~654(宿日直+諸手当)万円
- 諸手当 / 通勤手当
- 勤務時間 / 8:30~17:15

- 休暇 / 有給休暇/年23回(リフレッシュ休暇3日含む)
- その他 / 第二共済組合・厚生年金保険・雇用保険・労災保険



応募連絡先

臨床研修センター：医療支援室研修医事務担当 TEL 048-462-1101

FAX 048-464-1138 Mail 209-isikensyukengaku@mail.hosp.go.jp





病院データ

※2024年4月～2025年3月の計数

病床数 402床	医師数 60人	指導医数 26人	外来患者数 (1日平均) 790人
入院患者数 (1日平均) 350人	救急外来患者数 (1日平均) 13人	救急車搬送患者数 (1日平均) 13人	心肺停止状態搬送患者数 (1日平均) 0.07人

診療科目 内科／消化器内科／循環器内科／神経内科／小児科／外科／肛門科／消化器外科／呼吸器外科／整形外科／リウマチ科／脳神経外科／皮膚科／形成外科／泌尿器科／婦人科／眼科／耳鼻咽喉科／麻酔科／リハビリテーション科／救急科／放射線科／腎臓内科

病院の特徴

少人数制だから出来る、あなたにぴったりの研修プログラム

当院は、埼玉県南西部70万人の医療圏において、高度な急性期医療から地域に密着した予防(健診)、在宅医療を行う地域の基幹病院です。医療設備の高度化、患者様のアメニティに配慮した環境、職員の知識・技術・人間性の向上、思いやりのある質の高い医療、地域医療機関との密接な連携、行き届いた管理体制による効率的な医療などを行動の基盤として、皆様に心から信頼される病院を目指して、24時間救急体制で全力を尽くしております。また、当院は戸田中央メディカルケアグループ(TMG)に属しており、臨床面に於いてもスケールメリットを活かした病院運営を展開し、各大学病院と連携し医療レベルの向上に努めております。

-当院での研修メリット- 少人数制なので、必修項目以外は研修医の自由裁量で好きな診療科を好きな期間研修できます・全職種との垣根が低く、良好なコミュニケーションを形成することができます・医療秘書課、病棟・外来クラークが十分に整備されており、雑用が少なく知識、技術の習得に専念できます・大学医局派遣の医師も多く、大学での教育に準じた研修ができます・戸田中央メディカルケアグループ学会、院内の検討会で学術発表の経験を積めます

支援制度

見学補助／あり

住宅補助／なし

宿舎／あり

産休・育休 (研修医の取得実績) /なし

メッセージ



少人数制だから出来る、あなたにぴったりの研修プログラム

副院長
松浦 直孝
出身大学: 千葉大学

当院は、軽症から重症まで、また救急から介護度の高い人や訪問診療まで、全ての患者様に対応しており、病気のほとんど

を占めるCommon Diseaseを十分に経験できます。少人数制であるため回る診療科をいつでも変更でき、興味のある診療科を長く回ることでもできます。また、採血・点滴当番などのDUTYがないので、他の研修医に気兼ねなく勉強したい手術や手技について、休みをとることも可能です。さらに他職種との垣根が低くチーム医療が実践できます。研修医に対して希望することは以下の5項目です。

- ①積極的に研修に取り組むこと
- ②患者・家族との対話を大事にして、全人的医療を実践すること
- ③コメディカルとのチーム医療を大事にすること
- ④医療の果たすべき社会的役割を認識すること
- ⑤病院の行事に積極的に参加すること

2年間の臨床研修が充実したものになるよう、お互いに頑張りましょう。



実際に働いてみて思うこと

研修医2年目
玉置 紀仁
出身大学: 秋田大学(2024年卒)

私が思う当院の魅力は大きく2つあると思います。

1つ目は、少人数制の研修であることです。ローテートする診療科を希望に応じて柔軟に変更することができ、また個人の積極性に応じて多くの診療や手技に携わることもできるため、自由度の高い充実した研修を行うことができます。2つ目は、コメディカルとの距離が近いことです。

看護師・薬剤師の方々を始めとして医療スタッフ同士の連携が強く、チーム医療の一員としての役割も学ぶことができます。

研修データ

初期研修医数 (1年目) 3人	初期研修医数 (2年目) 2人	昨年度マッチング受験者数 14人	募集人数 3人
当直日数 (月平均) 4日	当直開始時期 1年目5月	当直時の勤務体制※ (※研修医以外の当直人数) 5人	

主な出身大学 秋田大学／宮崎大学／信州大学／弘前大学／東邦大学／順天堂大学／香川大学／杏林大学／北里大学／獨協医科大学／山梨大学／帝京大学／筑波大学／新潟大学／鹿児島大学／東京大学／日本医科大学／東京医科大学／旭川医科大学

研修プログラムの特色

当院では、プライマリ・ケアをしっかりと研修するために、内科7ヶ月、救急科2ヶ月、麻酔科2ヶ月を1年目に集中して行います。内科系は一般(呼吸器、膠原病、腎臓、神経、血液)・消化器・循環器・糖尿病など、幅広い領域で指導を受けられます。外科系は一般(消化器、呼吸器)と脳神経外科は全身を診られる力を養うために必修として、整形外科・泌尿器科・皮膚科・形成外科、眼科、耳鼻咽喉科、婦人科、緩和科、放射線科(診断)で指導が受けられます。小児科・産婦人科・精神科・地域医療は、協力医療機関で研修が受けられます。原則、各診療科一人研修ができるように少人数制をとっており、濃厚な指導が保証されます。また、自由選択の診療科はいつでも変更でき、長期間の研修も可能です。

研修スケジュール(年間研修予定(例))												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内系科							救急科／麻酔科		外科		
2年次	脳神経外科	産婦人科	精神科	地域医療	小児科	選択科						

専門研修プログラム (基幹施設)	内科	外科	小児科	産婦人科	精神科	皮膚科	眼科
	耳鼻咽喉科	泌尿器科	整形外科	脳神経外科	形成外科	救急科	麻酔科
	放射線科	リハビリテーション科	病理	臨床検査	総合診療科		

研修医の処遇

- 給与 / 1年目:360,000円/月、2年目:400,000円/月
- 諸手当 / 通勤手当
- 勤務時間 / 9:00～17:30

- 保険 / 組合健保(TMG健康保険組合)、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
- 休暇 / 年末年始、慶弔
- その他 / 年2回健康診断実施
各種予防接種(インフルエンザ・B型肝炎等)



応募連絡先

総務課: 渡邊 悠暉 TEL 048-474-7211

FAX 048-472-7581 Mail y_watanabe2@tmg.or.jp

08 春日部市立医療センター

344-8588 春日部市中央6-7-1

TEL 048-735-1261 FAX 048-734-2471

URL <http://www.kasukabe-cityhp.jp/>



病院データ

※2024年4月～2025年3月の計数

病床数 363床	医師数 77人	指導医数 46人	外来患者数 (1日平均) 692人
入院患者数 (1日平均) 281人	救急外来患者数 (1日平均) 19.7人	救急車搬送患者数 (1日平均) 10.9人	心肺停止状態搬送患者数 (1日平均) -人

診療科目 外科/内科/呼吸器内科/循環器内科/消化器内科/糖尿病・総合内科/神経内科/血液内科/ペインクリニック内科/小児科/産婦人科/救急/麻酔科/脳神経外科/整形外科/呼吸器外科/形成外科/皮膚科/泌尿器科/眼科/耳鼻咽喉科/精神神経科/放射線科/病理診断科/歯科口腔外科

病院の特徴

埼玉県東部医療圏の中核的な医療機関で、救急医療やプライマリ・ケアの能力習得を重視

当院は、2016年7月に新築移転し、延べ床面積を旧病院のおよそ1.5倍に広げ、手術・画像診断・内視鏡・救急の各部門を拡充いたしました。ICU・CCU・NICUの集中治療室や重症観察室に加え、緩和ケア病棟を設置して各部門の強化を図っています。

更に、埼玉県東部医療圏の中核的な医療機関として、地域がん診療連携拠点病院としての充実、強化のため、内視鏡下手術支援装置(ダビンチ)、高精度放射線治療装置(リニアック)やがん細胞を見つけるPET-CT、SPECTなど最新の高度医療機器を導入、更新しています。院内には医局とは別に研修医室があるので集中して学ぶことができます。医局内にはラウンジがあるので上級医とのコミュニケーションが図りやすいです。その他、綺麗な宿直室、院内コンビニエンスストアもあり、充実した研修医生活を送れる環境が整っています。上級医と研修医との風通しが良く、また医師以外の医療職員ともコミュニケーションが図られています。

支援制度

見学補助/なし	住宅補助/あり	宿舎/なし	産休・育休 (研修医の取得実績) /なし
---------	---------	-------	----------------------

メッセージ

少人数制のため多くの手技や手術症例を経験できます

臨床研修管理委員長(診療統括部長) 河野 通 出身大学:日本大学

当院に興味を持っていただきありがとうございます。研修医の定員が7人であるため多くの手技や手術症例を経験することができます。基本的に時間外勤務はありません。当直は月に4回までです。十分な年休や夏季休暇が確保されています。給与は近隣の研修施設の中では良い方です。2023年7月に地域周産期母子医療センターに認定されました。各診療科の間のコミュニケーションは良く、相談しやすい環境と思います。文献検索サイトの契約や予算も十分準備されています。交通の便もよく、都内には1時間で出ることができます。一方、内科の診療科に腎臓内科と膠原病内科がないためその領域の症例経験は少なくなっています。救命救急センターがありませんので三次救急疾患を経験することはほとんどありません。春日部市立医療センターはこんなところですが気軽に見学に来ていただき、気に入ったら一緒に働きましょう。

働きやすい環境で、医師としての基本を学べる病院

研修医2年目 富沢 隆成 出身大学:群馬大学(2024年卒)

春日部市立医療センターの一番の魅力は雰囲気の良いさにあります。上級医の先生や他職種の方々が優しく、積極的な研修を行うことができます。救急外来のファーストタッチや病棟管理等で、自分で考えて動ける場が多く、分からないことがあっても上級医の先生に手厚くサポートして頂きながら勉強出来ます。研修医の数が1学年7人と比較的小人数のため、早くからCVや腰椎穿刺など多くの手技を経験することが可能です。診療科は市中病院としてはかなり充実しているため、2年間の限られた期間でも幅広い症例を診る事ができ、研修医として必要な知識を身につけられると思います。また必須の院外研修が2ヶ月と短く、ほとんどの研修を慣れた環境で完結できることも大きな魅力です。病院は新しく綺麗で、福利厚生も整っているので、医師としての第一歩を踏み出すのにとても良い環境だと思います。是非一度見学に来て、病院の雰囲気や研修の様子を見てみてください。

研修データ

初期研修医数 (1年目) 7人	初期研修医数 (2年目) 7人	昨年度マッチング受験者数 66人	募集人数 7人
当直日数 (月平均) 3日	当直開始時期 1年目5月	当直時の勤務体制※ (※研修医以外の当直人数) 5人	

主な出身大学 群馬大学/筑波大学/新潟大学/弘前大学/琉球大学/日本大学/順天堂大学/杏林大学

研修プログラムの特色

バランスよく学び、働きたい方におすすめです。春日部市の中核を担う総合病院であり、まんべんなく幅広い症例に触れることができます。手技に関しても研修医が修得すべきものを早くから経験することができます。また、病院全体の雰囲気が良く、多職種、各診療科間のコミュニケーションが盛んで相談しやすい環境です。上級医や先輩の研修医に質問しやすい風土があるので安心して研修に取り組むことができます。研修医の個人デスクは、1年次は研修医室にありますが、2年次は医局内にあります。また、公立病院であるため、年休20日/年、夏季休暇7日/年が研修1年目から取得できるなど福利厚生が整っています。

研修スケジュール(年間研修予定(例))

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科	産婦人科	内科	内科	内科	内科	内科	麻酔科	救急科	外科	小児科	
2年次	小児科	選択科目	精神科	地域医療	選択科目							

専門研修プログラム (基幹施設)	内科	外科	小児科	産婦人科	精神科	皮膚科	眼科
	耳鼻咽喉科	泌尿器科	整形外科	脳神経外科	形成外科	救急科	麻酔科
	放射線科	リハビリテーション科	病理	臨床検査	総合診療科		

研修医の処遇

- 給与 / 1年目:6,420,000円/年、2年目:7,332,000円/年
- 諸手当 / 当直手当あり(1回21,000円) 住宅助成金あり(市内のみ、上限45,000円/月) 交通費実費支給
- 勤務時間 / 8:30~17:15

- 保険 / 埼玉県市町村職員共済組合
- 休暇 / 年次有給休暇、夏季休暇、年末年始休暇
- その他 / 研修医室/有(1年次のみ) 事業主が賠償責任保険に加入



応募連絡先

事務部 総務課:野田・石岡

TEL 048-735-1261

FAX 048-734-2471

Mail somu-hos@city.kasukabe.lg.jp



TEL 048-965-7842 FAX 048-965-9356

URL <https://dept.dokkyomed.ac.jp/dep-k/kenshu/>

病院データ

※2025年4月～2025年9月の計数

病床数	928床	医師数	451人	指導医数	197人	外来患者数 (1日平均)	1,921人
入院患者数 (1日平均)	780人	救急外来 患者数 (1日平均)	17人	救急車搬送 患者数 (1日平均)	10人	心肺停止状態 搬送患者数 (1日平均)	1.25人

診療科目 糖尿病内分泌・血液内科／呼吸器・アレルギー内科／消化器内科／循環器内科／腎臓内科／脳神経内科／小児科／こころの診療科／皮膚科／放射線科／外科／乳腺・内分泌外科／整形外科／心血管外科／呼吸器外科／産科婦人科／眼科／耳鼻咽喉・頭頸部外科／脳神経外科／泌尿器科／形成外科／救命救急センター・救急医療科／集中治療科／麻酔科／総合診療科／リハビリテーション科／リプロダクションセンター／子どものこころ診療センター／臨床検査部／病理診断科／小児疾患外科治療センター

病院の特徴

県内最大規模の病院です！他大学出身者多数！

当院は交差する二つの路線、JR南越谷駅と東武スカイツリーライン新越谷駅から徒歩3分程に位置し、交通の便が極めて良いところです。病床数は928床と県内最大規模で、手術室も22室あり、最先端の機器を導入しています。県内外から多くの患者さんが訪れ、大学病院でありながら地域医療を支える役割も担う、埼玉県東部の中核病院です。

研修プログラムは、一般プログラムの他に小児科・産科婦人科・外科系のプログラムを備えています。希望履修選択期間では、獨協医科大学病院・日光医療センターの診療科もローテーション可能です。将来進みたい領域が決まっていなくても、既に決まっている方も、研修期間でしか経験できない、様々な科目の知識に触れることができるプログラムです。

研修医の出身大学は様々ですが、和気あいあいと語り合い、切磋琢磨しています。オン・オフをうまく切り替えながら研修している研修医が多いのも、当院の特徴です。

支援制度

見学補助／なし

住宅補助／なし

宿舎／あり

産休・育休
(研修医の取得実績)／あり

メッセージ



多くの仲間と切磋琢磨してスキルアップできる環境を提供します

救命救急センター教授／臨床研修センター長
松島 久雄
出身大学：獨協医科大学

当院は埼玉県越谷市に位置し、埼玉県東部地域の基幹病院として地域医療の重要な役割を担っております。病床数は928床、手術室は22室と県内最大規模です。大学病院でありながら市中病院のような研修が魅力的であり、2023年からはプライマリ・ケアを身につけるための研修もスタートしました。臨床能力のみならず、医師としての基本的価値観を身につけることを目的とした、一般、小児科、産科婦人科、外科系プログラムの4つのプログラムを運用しています。丁寧な指導、精神面でのサポート、充実したカンファレンス、off the jobトレーニングなど要望に応じてUp to Dateな研修を心がけています。都心へのアクセスが良く、学会参加や休日のリフレッシュにも適した環境です。獨協医科大学埼玉医療センターで充実した卒後研修をお勧めします。



大学病院×市中病院 ハイブリッド研修病院

研修医1年目
富塚 啓貴
出身大学：島根大学(2024年卒)

獨協医科大学埼玉医療センター研修医1年目の富塚です。当院での初期研修の最大の魅力は、大学病院でありながら市中病院のような側面もあり、幅広く様々な経験を積める点にあると思います。病院全体として研修医に対する指導体制が手厚く、積極的に手技などに挑戦することも、じっくり考えて治療にあたることもでき、バランスよく非常に充実した研修生活を送れています。また、機会があれば積極的に学会参加なども可能で、2年間で非常に多くのことを経験できると思います。同期は約50人で、出身地も大学も様々で全国各地から集まっています。寮に住んでいる同期も多く、すぐに仲良くなりました。困った時にはお互い助け合いながらみんなで協力して研修生活を乗り切っています。ぜひ1度見学にお越しいただき、当院の良い所を直接感じ取っていただけたら嬉しいです。お待ちしております。

研修データ

初期研修医数 (1年目)	46人	初期研修医数 (2年目)	45人	昨年度 マッチング 受験者数	188人	募集人数	50人
当直日数 (月平均)	4日	当直 開始時期	1年目4月中旬	当直時の 勤務体制※ ※研修医以外の当直人数	各診療科に 上級医あり		

主な出身大学 獨協医科大学／岩手医科大学／金沢医科大学／北里大学／杏林大学／近畿大学／群馬大学／国際医療福祉大学／佐賀大学／島根大学／昭和医科大学／信州大学／聖マリアンナ医科大学／筑波大学／帝京大学／東京医科大学／東京女子医科大学／新潟大学／日本大学／日本医科大学／弘前大学／福島県立医科大学／北海道大学／山形大学／山口大学 ほか

研修プログラムの特色

- 厚生労働省が掲げる研修理念を実現し、医師としての診療能力を幅広く身につけるため、プライマリ・ケア修得を各科カリキュラムの基本としている
- プライマリ・ケア修得を目的とした研修を2023年度から新たに開始した
- 必修科目研修では、同省が定める到達目標の確実な達成を図っている。希望履修選択期間には標榜する診療科のすべてを選択できるとともに、同時期に獨協医科大学病院・日光医療センターで標榜する診療科も研修可能。また、小児科や産科婦人科、外科系に特化したプログラムも設けている
- 専門・高度医療を実践するためのミニワーク・カリキュラムを重層的に備えている
- 医師としてのキャリア構築につながる

研修スケジュール(年間研修予定(例))												※研修2年目に精神科4週、地域医療4週の研修を行います。		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1年次	内科						救急科			外科	麻酔科			
2年次	小児科	産婦人科	精神科	地域医療	選択科									

※当院は「月単位」でローテーションを実施しており、上記図式と一部異なる場合があります。ローテーション順は各自によって異なります。詳細はお問い合わせください。上記は一般プログラム(38名)のローテーションです。その他 小児科プログラム(定員:2名) 産科婦人科プログラム(定員:2名) 外科系プログラム(定員:8名)

専門研修 プログラム (基幹施設)	内科	外科	小児科	産婦人科	精神科	皮膚科	眼科
	耳鼻咽喉科	泌尿器科	整形外科	脳神経外科	形成外科	救急科	麻酔科
	放射線科	リハビリテーション科	病理	臨床検査	総合診療科		

研修医の処遇

- 給与 / 1年目:340,000円/月、2年目:340,000円/月
- 諸手当 / 月額には固定残業手当8万円(38時間/月)含む
一律手当:月~±18,000円、休診日(日直)18,000円
(宿直)18,000円(注)研修開始後6ヶ月は半額支給
- 勤務時間 / 8:25~17:00

- 保険 / 日本私立学校振興・共済事業団(公的医療保険/公的年金)、労災保険、雇用保険、医師賠償責任保険(施設限定)加入
- 休暇 / 有給休暇(1年目:15日間、2年目:17日間)※年5日間のフレックスタイムを含む
- その他 / 初期研修期間中に入寮可能な職員寮あり/学会、研究会への参加費用支給/定期健康診断/採用時健康診断、各種予防接種 他



応募連絡先

臨床研修センター：吉田 謙亮 TEL 048-965-7842

FAX 048-965-9356 Mail k-kenshu@dokkyomed.ac.jp



病院データ

※2024年4月～2025年3月の計数

病床数 282床	医師数 50人	指導医数 21人	外来患者数 (1日平均) 720人
入院患者数 (1日平均) 250人	救急外来患者数 (1日平均) 74人	救急車搬送患者数 (1日平均) 6人	心肺停止状態搬送患者数 (1日平均) 0.1人

診療科目 内科／消化器内科／呼吸器内科／循環器内科／内分泌代謝科／リウマチ科／小児科／外科／整形外科／脳神経外科／皮膚科／泌尿器科／肛門外科／婦人科／眼科／耳鼻咽喉科／放射線科／精神科／リハビリテーション科／麻酔科／消化器外科／救急科／病理診断科

病院の特徴

総合内科研修でみっちり基礎を身に着ける。患者の退院後まで見据えた医療の実践を学べる。各科の垣根が低く、他科へのコンサルトがしやすい。

みさと健和病院は大都市近郊の埼玉県三郷市にあり、第二次救急医療を担う中核的医療機関です。研修理念を「良識のある社会人、思いやりのある医療人としての成長を促す。将来の専門にかかわらず、医師としての基本的な診療能力と学習能力を習得できるように援助する」と掲げ、地域第一線医療機関でのプライマリ・ケア、在宅医療の先駆的実践、総合診療を中心とした内科研修、必修としている整形外科研修、外来研修、往診研修などに力を入れています。

三郷市は近くに大規模な医療機関が少ないこともあって、当院は老人はもちろん若年・婦人・小児をめぐる多様な疾患の医療を担っています。特に、第二次救急における当直研修などを通じて、救急疾患・外傷の初期対応の習得もできる事が特徴です。

支援制度

見学補助／あり

住宅補助／あり

宿舎／あり

産休・育休 (研修医の取得実績)／あり

メッセージ



医師研修への思い

みさと健和病院院長/初期研修プログラム責任者
岡村 博
出身大学: 秋田大学

当院は1994年に臨床研修病院の指定をうけました。当時、大学病院が主流の中、最小の病床数で指定を受けることができたのは、外来研修や往診研修など、地域に密着した医療そのものの研修が認められたのだと思います。研修制度に移行後も、地域病院ならではの研修を大切にしつつ、必修科目を網羅するプログラムを作ってきました。

どんな医師になりたいのか、自分の進むべき方向を決める時期が初期研修期間であり、臨床研修病院はその手助けをするところです。初期研修の目標は医療技術の獲得だけではなく、チーム医療の実践、患者さん目線の思考、取り巻く環境への配慮など、bio-psycho-socialといわれる複合的な問題解決能力の獲得も含まれます。地域の人たちの健康を守り、病める人たちの支えになりながら、実は自分たちも成長させてもらっているのです。常にon the job trainingの気持ちを持ち続けたいものです。

初期研修を行う上での魅力

研修医2年目
芹澤 ひなの
出身大学: 浜松医科大学(2024年卒)

総合診療の力をつけることができる病院で初期研修を行いたいと考えていました。病院見学の際に、研修医が上級医と相談しながら主体的に治療方針を決めている姿を見て、当院での初期研修が魅力的だと感じました。入社してからその印象は変わらず、総合診療科ローテーション時は上級医と一緒に多くの患者さんを担当し、退院後の生活まで見据えた支援が必要だということ学びました。地域の医療に貢献するためには、医学知識のみではなく患者背景や思いにもフォーカスするべきであり、そういった患者中心の医療を行おうという意識がスタッフ皆さんにある病院だと思います。また、300床未満の小規模な病院のため科の垣根が低く、他科の先生への相談のハードルが低い点も、初期研修を行う上での魅力の1つではないかと思っています。

研修データ

初期研修医数 (1年目) **7人**初期研修医数 (2年目) **7人**昨年度マッチング受験者数 **12人**募集人数 **8人**当直日数 (月平均) **4日**当直開始時期 **1年目6月**当直時の勤務体制※ (※研修医以外の当直人数) **2~3人**

主な出身大学 千葉大学／愛媛大学／東京医科大学／東京女子医科大学／関西医科大学／金沢医科大学／群馬大学／東京大学／日本大学／浜松医科大学

研修プログラムの特色

1年目は4月から総合内科で研修を開始。病院に慣れると同時に、入院から退院まで多くの症例を一連で経験することができます。整形外科は地域病院として腰痛や関節痛を訴える患者さんが多く、プライマリ・ケアの部分で今後の専門分野によらず、初期研修のうち2ヶ月は経験してほしい、との思いから必修としています。2年目の地域医療研修は3ヶ月を必修とし、外来研修や訪問診療を通じてプライマリ・ケアを学ぶ機会としています。外来研修は、1年目後半の8ヶ月と地域医療の3ヶ月で週1単位の外来枠を持つようにしているため、初診の患者さんや慢性疾患の管理を継続的に学ぶことができます。また、総合内科は週2回・救急は週1回、指導専任医を配置。指導医が忙しいタイミングなどで相談しにくい場面も出てきますが、指導専任医を配置することで、ショートプレゼンなどを通じてコンサルトを行ったり、じっくりと時間をかけて問題解決を行います。

研修スケジュール(年間研修予定(例))

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	総合内科				外科	整形外科		救急科	総合内科			
2年次	精神科	産婦人科	小児科	救急科	地域医療			選択科目				

※必修科目(内科計6ヶ月、外科2ヶ月、整形外科2ヶ月、救急2~3ヶ月+救急外来・当直研修4週、地域医療3ヶ月、小児科1ヶ月、産婦人科1ヶ月、精神科1ヶ月)
※選択科目(上記科に加えて、総合内科、循環器内科、消化器内科、泌尿器科、麻酔科、臨床病理科、呼吸器内科、腎臓内科、神経内科、皮膚科)

専門研修プログラム (基幹施設)

内科	外科	小児科	産婦人科	精神科	皮膚科	眼科
耳鼻咽喉科	泌尿器科	整形外科	脳神経外科	形成外科	救急科	麻酔科
放射線科	リハビリテーション科	病理	臨床検査	総合診療科		

研修医の処遇

- 給与 / 1年目:355,050円/月、2年目:406,600円/月
- 諸手当 / 当直手当(時間外手当として支給)
家族手当(最初の1名12,000円、以降1名につき8,000円)
- 勤務時間 / 8:30~17:30

- 保険 / 組合健保(東京医業健保組合)、厚生年金保険、雇用保険、労災保険、医師賠償責任保険
- 休暇 / 4週8休、夏期休暇(5日間)、年末年始休暇(5日間)、年次有給(1年次10日・2年次14日)、時間有給休暇もあり
- その他 / 給与は住宅・固定時間外手当込み
・法人独自の共済制度あり
・学会保障あり(費用:年間10万円まで、日数:年間7日まで)
・採用された研修医には引越料金の支給規程あり



応募連絡先

みさと健和病院 医局事務室 医学生担当:医学生担当

TEL 048-955-7171(代表) FAX 048-948-0007 Mail gakusei@kenwa.or.jp

TEL 048-946-2200 FAX 048-946-2211

URL <https://www.soka-city-hospital.jp/>

病院データ

※2024年4月～2025年3月の計数

病床数	380床	医師数	110人	指導医数	21人	外来患者数 (1日平均)	745人
入院患者数 (1日平均)	271.5人	救急外来 患者数 (1日平均)	28人	救急車搬送 患者数 (1日平均)	12人	心肺停止状態 搬送患者数 (1日平均)	0.08人

診療科目 内科/血液内科/内分泌・代謝内科/膠原病内科/腎臓内科/呼吸器内科/循環器内科/消化器内科/小児科/外科/心臓血管外科/呼吸器外科/整形外科/眼科/脳神経外科/皮膚科/泌尿器科/産婦人科/耳鼻咽喉科/リハビリテーション科/放射線科/歯科口腔外科/麻酔科/精神科/救急科/病理診断科/緩和ケア科

病院の特徴

年間4,500件以上の救急搬送受入

当院が位置する草加市は東京都足立区に隣接し、若い世代の多く住む人口約25万の街です。当院は地域で唯一の総合病院機能を持つ中核病院であり、様々な疾患が多く集まります。診療科も27科と充実し、多くが学会研修認定を受けています。関連大学である東京科学大学と連携した医療チームを形成し、これまで大きな成果をあげてきました。特に救急医療に力を入れており、内科系・小児科系・外科系・循環器内科系・脳神経外科が連日当直しており、毎年約4,500件以上の救急搬送を受け入れています。

支援制度

見学補助/なし

住宅補助/なし

宿舎/なし

産休・育休
(研修医の取得実績) /あり

メッセージ



やる気を活かせる充実の研修環境

プログラム責任者
小澤 直子
出身大学:東京医科歯科大学(現・東京科学大学)

当院では、研修医を当院で単独採用するほか、東京科学大学の協力型病院として1年目は4人、2年目は3人引き受け、適切な人数での研修ができます。また、常勤医師数は病床数(380床)に比べて多く、卒後7年目以上の医師も50人以上在籍しており、研修医に対し綿密な指導を行えるのも当院の強みです。臨床研修を通じてコモンな病態・疾患を幅広く経験できることも地域中核病院としての当院の魅力です。手術や各種検査も数多く行われており、年間で内視鏡検査及び治療は約5,000件、一般外来の手術は約700件実施されています。研修医のやる気と達成度により、消化器内視鏡、中心静脈穿刺、虫垂炎手術なども指導医のもとで行うことができますので、満足がいく研修ができると確信しています。



親切な先生方のもとで、幅広い疾患や手技を実践的に学ぼう!

研修医1年目
太田 和敏
出身大学:東京科学大学(2025年卒)

当院の一番の魅力は、外科と院内のすべての内科を1年目に研修できる点です。幅広い疾患を研修早期に学び、当直での救急対応で実践できます。コモンな疾患を中心に多くの症例を経験するので、実臨床に即した研修を行うことができます。また、各診療科を少人数で研修するため、指導医の手厚い指導を受けながら、手技や症例を豊富に経験することができます。2年目では、8か月の自由選択期間があり、興味のある診療科を重点的に研修することができ、専攻科を決めるにあたり役立つと考えています。内科の先生方が集まる内科カンファレンスでは、研修医に症例発表の機会が与えられ、知識をつけるだけでなく学会発表に活かせる能力を身につけることができ、実のある研修を行えます。上級医は、若い医師から経験豊富な医師まで幅広く在籍しており、研修途中で浮かび上がる疑問について気軽に相談することができます。是非、一度、当院に見学に来てみてください。

研修データ

初期研修医数 (1年目)	6人	初期研修医数 (2年目)	6人	昨年度 マッチング 受験者数	24人	募集人数	6人
当直日数 (月平均)	4日	当直 開始時期	1年目4月	当直時の 勤務体制※ ※研修医以外の当直人数	5人		

主な出身大学 愛知医科大学/大阪医科薬科大学/杏林大学/群馬大学/筑波大学/帝京大学/東海大学/東京医科大学/東京科学大学(東京医科歯科大学)/東北大学/獨協医科大学

研修プログラムの特色

1年目には8週間ずつ「消化器内科+腎臓内科」「循環器内科+膠原病内科+内分泌・代謝内科」「呼吸器内科+血液内科」「救急科」「外科」「麻酔科」をまわり、2年目には4週間ずつ「小児科」「産婦人科」「精神科」「地域医療」をまわります。残る1年目の4週と2年目の36週は選択制となりますが、内科系・外科系の専門科をはじめマイナー科での研修も可能です。この間に救急当直(20回以上/36週)の研修も行います。外来研修は内科・外科・小児科研修中に一般外来での診療を0.5日/週で行うのに加え、「地域医療」研修期間中に全日4日間の診療を行います。研修スケジュールは研修医の志望に合わせて組み替え可能で、研修途中で希望が変われば研修予定科の変更も可能です。研修後の進路については自由ですが、当院で正規職員(地方公務員)としての身分で採用が可能です。また、東京科学大学各科目局への入局の相談にも応じています。

研修スケジュール(年間研修予定(例))		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年次		内科					救急科	外科	選択科 (麻酔科)	選択科 (自由選択)				
2年次		小児科	産婦人科 ※1	精神科 ※2	地域医療 ※3	選択科目 (自由選択) 救急当直20回								

※1産婦人科は春日部市立医療センターで研修を行っています。 ※2精神科は東京足立病院で研修を行っています。 ※3地域医療はメディクス草加クリニック、あや総合内科クリニックで研修を行っています。

専門研修 プログラム (基幹施設)	内科	外科	小児科	産婦人科	精神科	皮膚科	眼科
	耳鼻咽喉科	泌尿器科	整形外科	脳神経外科	形成外科	救急科	麻酔科
	放射線科	リハビリテーション科	病理	臨床検査	総合診療科		

研修医の処遇

- 給与 / 1年目:309,626円/月、2年目:319,166円/月
- 諸手当 / 地域手当、期末手当、勤勉手当、当直手当、通勤手当、特殊勤務手当 他
- 勤務時間 / 8:30~17:00

- 保険 / 埼玉県市町村職員共済組合、厚生年金保険、雇用保険、労災保険・公務災害適用、医師賠償責任保険(病院加入)
- 休暇 / 年次有給休暇、夏季休暇 他
- その他 / 身分は非常勤職員(フルタイム会計年度任用職員)となります



応募連絡先

事務部 経営管理課:佐藤・馬場 TEL 048-946-2200

FAX 048-946-2211 Mail soka-hosp2200@max.odn.ne.jp



病院データ

※2024年4月～2025年3月の計数

病床数	404床	医師数	57人	指導医数	20人	外来患者数 (1日平均)	643人
入院患者数 (1日平均)	355人	救急外来 患者数 (1日平均)	19人	救急車搬送 患者数 (1日平均)	13人	心肺停止状態 搬送患者数 (1日平均)	0.1人

診療科目 内科／糖尿病・代謝内科／腎臓内科／血液内科／呼吸器科／腫瘍内科／消化器科／循環器科／不整脈科／緩和ケア内科／外科／心臓血管外科／整形外科／脳神経外科／泌尿器科／皮膚科／形成外科／婦人科／耳鼻咽喉科／眼科／麻酔科／人工透析科／放射線科／リハビリテーション科／救急科

病院の特徴

救急医療から在宅医療まで幅広く経験できる

当院は春日部市の中核病院として急性期医療からリハビリテーション、さらには在宅医療までをサポートし、患者が幅広い医療を受けられるよう設備を整えている。当院の機能を十分に、かつ効率良く活用するために埼玉県東部の診療所や病院との連携に当たり、質の高い医療を提供している。また、介護や福祉施設、訪問看護などとの連携を促進し、患者に適切な医療を提供できるよう体制を整えている。当院は、地域との連携を進める一方で、さらに充実した医療を提供するためにさまざまな取り組みを行っている。最新の医療機器を積極的に導入し、院内スタッフの教育・研修も充実している。年2回の学会発表をはじめ、各科で研修会や講習会を定期的に開催し、日々進歩する医療技術を現場に取り入れるべく、スタッフが研鑽を重ねている。

支援制度

見学補助／なし

住宅補助／あり

宿舎／あり

産休・育休
(研修医の取得実績)／なし

メッセージ



少人数で実践的に学び実力がつく研修

副院長 消化器内科部長
福屋 裕嗣
出身大学：筑波大学

当院での初期研修の特徴は実地医療に基づいた修練がめぐる点にあります。

1学年6名の定員で、各診療科1～2名程度でローテーションするため、豊富な症例を経験でき、様々な手技の習得が可能です。各診療科指導医が複数名いるため、直接学ぶことができ、また選択期間も比較的長いので、グループ病院を含めた自由度の高いプログラムが組めることも利点だと思います。

初期研修終了後は大学病院やグループ病院と連携した当院独自の内科専攻医プログラムがあり、そのまま残っていただくことが可能です。当院の初期研修を通じて皆さんの成長をお手伝いできれば幸いです。是非一緒に学んでいきましょう。



自分のペースで育つ風通しの良い研修

研修医2年目
原 季史
出身大学：東京大学(2024年卒)

当院の初期研修は、自分のペースで研修を進められることが特徴です。少人数で診療を行っており、手技を積極的に行えたり、治療方針を提案して反映させたりすることもできます。グループ内の病院と提携を結んでおり、他院からの刺激を得ることもできます。研修医同士や上級医の先生方との風通しもよく、快適な環境で研修を進めることができます。ぜひ一度病院見学へお越しください。

研修データ

初期研修医数 (1年目)	6人	初期研修医数 (2年目)	7人	昨年度 マッチング 受験者数	17人	募集人数	6人
当直日数 (月平均)	4日	当直 開始時期	1年目5月	当直時の 勤務体制※ ※研修医以外の当直人数	3人		

主な出身大学 群馬大学／福井大学／東京大学／東邦大学／国際医療福祉大学／東京医科大学／高知大学／帝京大学／新潟大学／日本大学／昭和大学(現・昭和医科大学)

研修プログラムの特色

当院では、大学病院では取り組みづらい実践的な卒後教育を通じて、医師としてだけでなく社会の中で指導的役割を果たせる人材の育成を目指しています。地域医療に根ざした実体験を通して即戦力となる臨床医を育成し、プライマリ・ケアにも積極的に参画してもらいます。選択科目は幅広く選択できるように、グループ内病院と連携し多様な研修が可能です。内科研修の内容を更に充実させるために血液浄化センターの経験も可能です。外科研修の内容を更に充実させる目的で人工心肺装置等高度な設備を使用した手術を体験させるために心臓血管外科の研修も可能。更に二次救命処置(ACLSを完全に修得するために麻酔科研修)も可能です。また、春日部市消防署を協力施設とし、研修医自らを救急車に分乗させ救急隊員と行動を共にする事により、一次救命処置の重要性を理解する事もできます。

研修スケジュール(年間研修予定(例))

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科		救急科	外科	麻酔科	精神科	小児科	内科系選択		産婦人科	選択科	救急科
2年次	選択科	内科系 選択	選択科	救急科	地域医療	一般外来	内科系 選択	選択科			内科系 選択	

専門研修
プログラム
(基幹施設)

内科	外科	小児科	産婦人科	精神科	皮膚科	眼科
耳鼻咽喉科	泌尿器科	整形外科	脳神経外科	形成外科	救急科	麻酔科
放射線科	リハビリテーション科	病理	臨床検査	総合診療科		

研修医の処遇

- 給与 / 1年目:4,902,000円/年、2年目:5,262,000円/年
- 諸手当 / 時間外保障、地域手当、施設手当
※当直手当、通勤手当は別途支給
- 勤務時間 / 9:00～17:00

- 保険 / 組合健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労働者災害補償保険
- 休暇 / 土曜午後、日曜、祝日、12/30午後～1/3まで
- その他 / 24時間院内保育、健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険への加入、クラブ活動、治療費減免



応募連絡先

総務課：研修医担当 TEL 048-736-1222

FAX 048-738-1559 Mail [jinji@kasukabechuo.com](mailto:jinja@kasukabechuo.com)



病院データ

※2024年4月～2025年3月の計数

病床数	350床	医師数	49人	指導医数	18人	外来患者数 (1日平均)	313人
入院患者数 (1日平均)	256人	救急外来 患者数 (1日平均)	16人	救急車搬送 患者数 (1日平均)	10人	心肺停止状態 搬送患者数 (1日平均)	0.16人

診療科目 内科/循環器内科/呼吸器内科/消化器内科/腎臓内科/内分泌・糖尿病内科/神経内科/膠原病・リウマチ内科/外科/消化器外科/脳神経外科/整形外科/末梢血管外科/泌尿器科/眼科/皮膚科/形成外科/乳腺外科/アレルギー科/婦人科/呼吸器外科/リハビリテーション科/放射線科/麻酔科/内視鏡外科

病院の特徴

埼玉県東部地区における中核病院です

埼玉県春日部市にある急性期医療の中核病院です。各診療科に高度な専門性と豊富な経験を持つ専門医が在籍しており、患者さんの健康をサポートするとともに臨床研修指定病院として若手医師の教育に尽力しております。多くの医師の出身母体である東京科学大学病院や獨協医科大学埼玉医療センターなどの高度急性期病院と密接な医療連携を行うと共に、地域の医療機関との連携を重視し、地域に根ざした医療を提供。

内科系は、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、腎臓内科、内分泌・糖尿病内科を常設し、東京科学大学病院からの支援で脳神経内科、膠原病・リウマチ内科の診療を行っています。腎臓内科は開設40年以上の透析医療の歴史があり、透析クリニックは関東最大級(400例以上)の透析医療を担っております。

外科系は、消化器外科、脳神経外科、整形外科、末梢血管外科、泌尿器科、眼科から皮膚科、形成外科、乳腺外科まで幅広く対応しています。

支援制度

見学補助/なし

住宅補助/あり

宿舎/あり

産休・育休
(研修医の取得実績) /なし

メッセージ



是非、一緒に働きましょう!

副院長
桑原 博
出身大学:東京医科歯科大学(現:東京科学大学)

埼玉県東部医療圏の救急基幹病院で、地域の急性期医療を担っています。がん医療・緩和医療・健診センター・透析クリニックなど幅広く展開し、より専門性が高く質の高い医療を提供できる病院として機能しています。また、病院には最新の医療機器や電子カルテ、文献検索などが行える図書室を備えており、快適に研修に取り組むことができる環境にあります。春日部市は人口約23万人の街で、落ち着いた暮らしやすい環境である一方、東武鉄道のスカイツリーラインとアーバンパークラインが乗り入れており、都心や大宮・千葉からのアクセスが良い場所にあります。普段は研修に集中、休日はリフレッシュ目的で都会へ繰り出すことも可能です。

東京科学大学の協力病院としても研修医を受け入れていますので、適度な人数の仲間たちと和気あいあいとした研修生活を送れます。充実した研修となるよう、指導医は全力でサポートしますので是非一緒に働きましょう。



やってみせ、言って聞かせて、させてくれ、助言をもらえる

研修医1年目
宮城 康太
出身大学:東北医科薬科大学(2024年卒)

当院では、優しい指導医の下で、市中病院ならではの多彩な症例や、初期研修で学びたい様々な手技を経験できます。私も7ヶ月目ですが、CVカテーテル挿入や腹腔穿刺、骨髄穿刺等を経験しました。学び、実行し、振り返りをいただけるので、自信につながります。毎週月曜日には、内科ローテートの研修医から1~2人、受け持った症例を1例発表します。将来、学会発表で使えるプレゼンテーションスキルを磨くことができます。また、救急外来では、上級医と相談の上で初期対応を任せただけです。研修医に向けての各診療科領域の救急勉強会も充実しており、上級医が救急の現場で何を考えて対応しているのか学べます。他職種の方も非常に優しく、様々な相談を気軽に受けいただけます。優しい雰囲気の中で、実り多い初期研修を送りませんか。

研修データ

初期研修医数 (1年目)	5人	初期研修医数 (2年目)	2人	昨年度 マッチング 受験者数	9人	募集人数	4人
当直日数 (月平均)	4日	当直 開始時期	1年目5月	当直時の 勤務体制※ ※研修医以外の当直人数	2人		

主な
出身大学 東京医科歯科大学(東京科学大学)/東北医科薬科大学/山梨大学/千葉大学

研修プログラムの特色

内科系は循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、腎臓内科、内分泌・糖尿病内科を常設し、さらに東京科学大学病院からの支援で脳神経内科、膠原病・リウマチ内科の外来診療を行っています。外科系は消化器外科、脳神経外科、整形外科、末梢血管外科、泌尿器科、眼科から皮膚科、形成外科、乳腺外科まで幅広く対応しています。脳神経外科は埼玉県脳梗塞急性期ネットワークに参画し、基幹病院として多くの患者を受け入れています。救急医療から生活習慣病、癌治療まで地域医療に接しながら幅広い充実した研修を受けられることが当院における研修の特色です。

研修スケジュール(年間研修予定(例))

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科(循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、内分泌・代謝内科、腎臓内科)							外科	麻酔科	救急		
2年次	小児科	精神科	産婦人科	地域医療	選択科目(内科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、麻酔科より選択)							

専門研修 プログラム (基幹施設)	内科	外科	小児科	産婦人科	精神科	皮膚科	眼科
	耳鼻咽喉科	泌尿器科	整形外科	脳神経外科	形成外科	救急科	麻酔科
	放射線科	リハビリテーション科	病理	臨床検査	総合診療科		

研修医の処遇

- 給与 / 1年目:410,000円/月、2年目:410,000円/月
1年目:4,920,000円/年、2年目:4,920,000円/年
- 諸手当 / 当直手当:10,000円/回
- 勤務時間 / 8:00~17:00

- 保険 / 健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
- 休暇 / 土曜午後(隔週)、日曜祝日、夏季休暇、年末年始
有給は初年度10日、次年度11日
- その他 / 宿舎あり:25,000円/月



応募連絡先

人事課 医局秘書:堀内 聡乃 TEL 048-737-2121

FAX 048-737-2903 Mail sg.h.ikyoku@shuuwa-gh.or.jp

TEL 048-965-2221(代表) FAX 048-965-3019

URL <https://www.mhp.koshigaya.saitama.jp/www/index.html>

病院データ

※2024年4月～2025年3月の計数

病床数	481床	医師数	78人	指導医数	16人	外来患者数 (1日平均)	737人
入院患者数 (1日平均)	305人	救急外来 患者数 (1日平均)	28人	救急車搬送 患者数 (1日平均)	15人	心肺停止状態 搬送患者数 (1日平均)	-人

診療科目 内科/脳神経内科/呼吸器科/消化器科/循環器科/小児科/外科/整形外科/脳神経外科/皮膚科/泌尿器科/産科/婦人科/眼科/耳鼻咽喉科/リハビリテーション科/放射線科/麻酔科/病理診断科

病院の特徴

プライマリ・ケアの研修に適した病院です。

救急・高度・特殊医療を中心に地域の医療機関との連携を重視しつつ、基幹病院として地域医療の充実に努めています。各種学会専門医等の認定のための研修病院であり、救急患者も多く、プライマリ・ケアの研修に適した病院です。また、令和5年7月には(公財)日本医療機能評価機構より病院機能評価3rdG:Ver.2.0として更新の認定を受けました。

支援制度

見学補助/あり

住宅補助/あり

宿舎/なし

産休・育休
(研修医の取得実績) /あり

メッセージ

意欲に燃えた研修希望者のご応募をお待ちしています

臨床研修管理委員長
山中 貴博
出身大学:近畿大学

当院の研修の特色は次の3点に集約できます。

- ①Common diseaseが多数経験できること
 - ②基本的手技が身につくこと
 - ③2年目の選択期間に臨床研修協力病院である順天堂大学医学部附属病院での研修が可能であること
- ①については、一般市中病院であり、医療連携などで紹介されてくる患者さんも多く、総合診療科での研修も含め、common diseaseが多数経験できます。
- ②については、研修医の数が比較的少ないため、基本的手技を多く経験できます。
- ③については、大学病院において最新医療や、より専門的な臨床経験を積むことができます。
- 当院の指導医は協力を惜しみません。意欲に燃えた研修希望者のご応募をお待ちしています。

同期の研修医間の意見交換や交流も活発に行いやすい環境です

卒業生

当院の研修プログラムの最大の利点は市中病院と大学病院を高い自由度で研修できることです。選択診療科の期間が他院と比較して長め(40週)なので、現時点で志望科が決まっている方にはもちろん、そうでない方にも適したプログラムだと思います。また、募集人員が8名と比較的少数であることから、手技を経験する機会も多く、同期の研修医間の意見交換や交流も活発に行いやすい環境です。指導医の先生方も熱心で優しく、実りある研修ができると思います。ぜひ一度見学にいらしてください。

研修データ

初期研修医数 (1年目)	6人	初期研修医数 (2年目)	8人	昨年度 マッチング 受験者数	34人	募集人数	8人
当直日数 (月平均)	5日	当直 開始時期	1年目4月中旬	当直時の 勤務体制*	6人	※研修医以外の当直人数	

主な出身大学 東京医科大学/日本医科大学/宮崎大学/長崎大学/信州大学/東京慈恵会医科大学/高知大学/順天堂大学/国際医療福祉大学/福島県立医科大学/徳島大学

研修プログラムの特色

越谷市立病院初期臨床研修プログラムは、市中病院と大学病院で臨床研修を積むことができる内容です。当院内での研修では、募集人数が8名の少人数制のため、マンツーマンで一般的な症例や各種手技に積極的に取り組んでいただけます。また、選択診療科が40週あり、希望者は2年目に順天堂大学医学部附属病院(順天堂医院・練馬病院・浦安病院・越谷病院)などで研修を積むことができるなど、研修医の将来における希望に応じた、より充実した研修を可能とする構成です。

研修スケジュール(年間研修予定(例))

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科 (一般内科)	内科 (脳神経内科)	内科 (呼吸器科)	内科 (消化器科)	精神科	救急部門			外科	小児科		
2年次	内科 (循環器科)	産婦人科	麻酔科	地域医療	選択診療科							

※ローテーションは順不同※選択診療科(選択科目)は、(一般)内科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、(一般)外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床検査科(病理診断科)及び精神科の診療科の中から選択し、1科4週以上のまとまった期間を基本に実施。選択診療科の期間では院外の順天堂大学医学部附属病院(順天堂医院、練馬病院、浦安病院、越谷病院)も選択できるが、院外での研修は16週を限度とする。

専門研修
プログラム
(基幹施設)

内科	外科	小児科	産婦人科	精神科	皮膚科	眼科
耳鼻咽喉科	泌尿器科	整形外科	脳神経外科	形成外科	救急科	麻酔科
放射線科	リハビリテーション科	病理	臨床検査	総合診療科		

研修医の処遇

- 給与 / 1年目:330,000円/月、2年目:340,000円/月
- 諸手当 / 住宅手当、通勤手当、扶養手当、当直手当、退職手当等を該当者に支給
- 勤務時間 / 8:30~17:00

- 保険 / 埼玉県市町村職員共済組合保険、地方公務員災害補償法適用
- 休暇 / 年次有給休暇(20日/年)、夏季特別休暇 等
- その他 / 埼玉県市町村職員共済組合が実施する各種共済事業(レクリエーション施設・保養施設割引制度、各種給付・保険・年金制度)が利用可能
身分は任期付職員(公務員)



応募連絡先

越谷市立病院 事務部 庶務課:庶務担当 TEL 048-965-2221(代表)

FAX 048-965-3019 Mail shomu@city.koshigaya.lg.jp

TEL 048-953-1321 FAX 048-952-7279

URL https://mchp.jp/



病院データ

※2024年4月～2025年3月の計数

病床数	289床	医師数	33人	指導医数	15人	外来患者数 (1日平均)	512人
入院患者数 (1日平均)	257人	救急外来 患者数 (1日平均)	7.4人	救急車搬送 患者数 (1日平均)	8.9人	心肺停止状態 搬送患者数 (1日平均)	0.18人

診療科目 内科／循環器内科／糖尿病・内分泌内科／消化器内科／呼吸器内科／腎臓内科／脳神経内科／外科／心臓血管外科／消化器外科／整形外科／脳神経外科／皮膚科／泌尿器科／眼科／耳鼻咽喉科／リハビリテーション科／麻酔科／放射線科

病院の特徴

優しさと思いやりのある質の高い安全な医療の提供を目指して

当院は、埼玉県の南東部に位置し、東京都、千葉県と隣接しており、東京都心から20km程の距離にあります。つくばエクスプレスの開通により、ベッドタウンとして近年急速に発展している三郷市の急性期医療の中核病院として、地域住民に貢献できる医療の提供を目標として歴史を重ねてまいりました。

三郷市の基幹病院として18診療科を標榜し、病床数は289床（一般病床223床、回復期リハビリテーション病棟58床、ICU8床）、血液浄化センター 27床となっております。急性期医療については、二次救急医療機関として夜間帯においては常に複数診療科（内科、整形外科、脳神経外科、循環器内科）の体制を整備しています。

一人ひとりが質の高い医療の提供をするために、高度な知識と技術を兼ね備えたメディカルスタッフの育成にも力を注ぎ、病院機能の充実や質の向上に積極的に取り組んでおります。

支援制度

見学補助／なし

住宅補助／あり

宿舎／なし

産休・育休
(研修医の取得実績)／あり

メッセージ



自由度の高いプログラムです。

医長
戸来 依子
出身大学：金沢大学

当院の初期研修は、初期研修病院としては比較的小さい規模であることを活かした自由度の高いプログラムを特色としています。また、研修医が少ないため、指導医と研修医の垣根が低く、信頼関係を築きながら研修医が主体となってプライマリ・ケアから救急医療、入院診療まできめ細かい指導を受けることができます。更に当院での研修に加え、大学病院や地域の中核病院、地元クリニック等が研修協力病院施設になっており2年間を通じて総合的な研修を行っています。医師としての第一歩を踏み出す若き研修医と共に育っていく病院でありたいと思っています。臨床での研修のみならず、学会や研究会への参加等、積極的にチャレンジする姿勢を全力でサポートいたします。まずはお気軽に病院見学いらしてください。



まずは病院見学から

研修医1年目
西田 颯馬
出身大学：宮崎大学（2025年卒）

当院での初期研修の特徴は、少人数制であることです。研修医の数が限られているため、病院中のスタッフにすぐ顔を覚えてもらえるのが大きな利点の一つだと感じています。入社してまもない段階から相談・質問がしやすい雰囲気が自然と生まれているため、物怖じせず積極的に業務に関わりやすかったです。また、処置や手技の機会も多く、実践的に力をつけることが可能です。プログラムの自由度も高いため、興味のある診療科で深く学びたい人にも、数多くの診療科を経験し裾野を広げたい人にもおすすめです。少人数ならではの密な人間関係と充実した学びの機会が当院の魅力です。ぜひ一度、病院見学に来ていただき、実際の雰囲気を感じ取ってください。

研修データ

初期研修医数
(1年目)

2人

初期研修医数
(2年目)

1人

昨年度
マッチング
受験者数

2人

募集人数

2人

当直日数
(月平均)

2日

当直
開始時期

1年目6月

当直時の
勤務体制*

3人

主な
出身大学

東邦大学／長崎大学／宮崎大学／岩手医科大学／帝京大学／日本医科大学／産業医科大学／千葉大学／鹿児島大学／東京医科歯科大学（現・東京科学大学）／東京慈恵会医科大学／愛知医科大学／埼玉医科大学／名古屋市立大学

研修プログラムの特色

当院の臨床研修プログラムは、病院理念である『愛し愛される病院』に基づき、地域に開かれた患者中心の医療を推進する病院として、全ての臨床医に求められる医師としての基本的価値観及び医師としての使命の遂行に必要な資質、能力を習得することを目的としています。研修医は少人数制を採用し、指導医との距離が近く、様々な処置や手技を経験できるチャンスも豊富であり、実践的な研修を実施できることが当院のプログラムの特徴です。

主に1年次は必修科目（内科、外科、麻酔科、救急科）を中心に研修を実施し基本的な知識、技術、多職種とのチーム医療の必要性の修得を目指します。2年次には、協力医療機関での研修（地域医療、小児科、精神科、産婦人科）や、選択科目により研修医個々の目指す専門性に沿うよう可能な限り柔軟に対応をしています。

2年間の初期研修を通じて、人間的にも優秀な医師を育成することを第一に考えています。

研修スケジュール《年間研修予定(例)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科		外科		内科		麻酔科		救急	小児科	産婦人科	地域医療
2年次	選択科											

専門研修
プログラム
(基幹施設)

内科

外科

小児科

産婦人科

精神科

皮膚科

眼科

耳鼻咽喉科

泌尿器科

整形外科

脳神経外科

形成外科

救急科

麻酔科

放射線科

リハビリテーション科

病理

臨床検査

総合診療科

研修医の処遇

- 給与 / 1年目：350,000円／月、2年目：400,000円／月
- 諸手当 / 当直手当
- 勤務時間 / 9:00～17:30

- 保険 / 健康保険、雇用保険、厚生年金保険、労災保険、医師賠償責任保険
- 休暇 / 土曜日、日曜日、年末年始
- その他 / 家賃補助（三郷市内の物件に限り、家賃本体を1/2にした額。ただし、上限50,000円）
引越費用（上限30万円）
医療費還付金制度・保養所（軽井沢・熱海）
病院内保育施設あり

応募連絡先

事務部：山口 博之 TEL 048-953-1321

FAX 048-952-7279 Mail ishi-jinji@mchp.jp

南部保健医療圏

中部保健医療圏

東部保健医療圏

さいたま保健医療圏

県央保健医療圏

川越比企保健医療圏

西部保健医療圏

利根保健医療圏

北部保健医療圏

42

TEL 048-647-2111(代表) FAX 048-648-5166

URL <https://www.jichi.ac.jp/center/index.html>

病院データ

※2024年4月～2025年3月の計数

病床数	628床	医師数	303人	指導医数	197人	外来患者数 (1日平均)	1,521人
入院患者数 (1日平均)	527人	救急外来 患者数 (1日平均)	31人	救急車搬送 患者数 (1日平均)	25人	心肺停止状態 搬送患者数 (1日平均)	-人

診療科目 総合診療科/循環器内科/消化器内科/呼吸器内科/内分泌代謝科/血液科/リウマチ膠原病科/腎臓内科/脳神経内科/小児科/放射線科/病理診断科/救急科/一般・消化器外科/呼吸器外科/心血管外科/脳神経外科/整形外科/泌尿器科/耳鼻咽喉・頭頸部外科/眼科/産婦人科/皮膚科/形成外科/リハビリテーション科/麻酔科/歯科口腔外科/緩和ケア科/周産期科

病院の特徴

総合医療と専門医療の一体化とその実践を目指します

自治医科大学附属さいたま医療センターは、さいたま市及びその周辺を含む埼玉県中央部における中核医療施設として市民病院的な役割を担っているとともに、大学病院として高度専門医療の提供も重要な責務としています。

開設当初は自治医科大学卒業生による総合診療の基幹病院としての役割と急性期循環器疾患に対する高度先進医療の提供を中心としておりましたが、現在では全ての専門分野において最先端の高度医療を提供する施設となりました。しかし、設立目的の一つである総合医療の実践と総合医の育成についての努力も脈々と続いており、大学病院では経験することの少ない所謂 Common Diseases の診療も決しておろそかにすることはなく、また一方で大学病院として一般の市中病院では診られない稀有な疾患や最先端の技術を駆使した高度医療を必要とする症例に至るまでの多彩な疾患の診療にあたっております。

支援制度

見学補助/なし

住宅補助/なし

宿舎/あり

産休・育休
(研修医の取得実績) /あり

メッセージ



豊かな経験と業績をもつ指導医、教職員が皆さんの研修を支援します

教授
大河原 晋
出身大学:自治医科大学

入職時には、シミュレーション、シャドーイング、電子カルテ、ICLSなどの実習からなるきめ細かなオリエンテーションがありますので、臨床研修を円滑に開始できます。ここに示した特色あるプログラムによって、「患者にとって最善をめざす総合医療」と「高度先進医療をめざす専門医療」の一体化とそれを実践する幅広い医学知識と技能を有し、深い人間性に基いた優れた臨床能力を発揮できる医師を養成していきます。

これらの研修プログラムは、卒後3年日以降の専門研修プログラムとも連動しており、各専門医の取得だけでなく、大学院へ進学し、学位(医学博士)を取得することも可能です。

当センターの研修医は、全国から集まります。様々な情報を研修医間でも共有し、卒後臨床研修室との意見交換を通じて研修プログラムの見直しを行っています。



研修を通して医師としても、人間としても成長できる環境

研修医2年目
林 雅子
出身大学:滋賀医科大学(2023年卒)

当院は、大学病院でありながらも、実践的な環境で研修できることが特徴です。

指導医の先生方をはじめ、病院全体で研修医を育てようとする雰囲気があります。特に救急外来では、初期研修医がファーストタッチを行います。上級医と相談しながら、検査や治療方針決定を研修医主体で進めるため、経験を通して臨床力を養えると思います。全国各地の大学から集まる志望科も様々な仲間がいて、研修を通して医師としても、人間としても成長できる環境です。職員一同、皆様にお会いできる日を楽しみにしております。是非一度、見学にきてみてください。

研修データ

初期研修医数
(1年目)

30人

初期研修医数
(2年目)

31人

昨年度
マッチング
受験者数

166人

募集人数

30人

当直日数
(月平均)

4日

当直
開始時期

1年目4月

当直時の
勤務体制*

救急科医師2名
シニアレジデント2名

主な
出身大学

旭川医科大学/弘前大学/山形大学/秋田大学/東北大学/福島県立医科大学/筑波大学/群馬大学/自治医科大学/埼玉医科大学/昭和大学(現・昭和医科大学)/東京医科大学/東京女子医科大学/東京大学/獨協医科大学/東邦大学/日本医科大学/国際医療福祉大学/信州大学/浜松医科大学/富山大学/福井大学/滋賀医科大学/兵庫医科大学/山口大学/島根大学/高知大学/川崎医科大学/宮崎大学/九州大学/熊本大学/琉球大学

研修プログラムの特色

創立以来、総合医養成を主眼としたプログラムを全国でもいち早く取り入れ、一貫してスーパーローテート方式の研修実績を積み上げてきました。

【臨床研修プログラムの5つの特徴】①“総合的な視野に立った臨床医”の育成を目指します。②卒後臨床研修室教員が中心となり、様々な教育機会を提供しています。③後期専門研修と連動して多様なキャリア形成が可能です。④医学英語教育や総合回診、救急当直研修を実施しています。⑤学閥は一切なく、全国から同じ志を持った仲間が集まります。

研修スケジュール(年間研修予定(例))

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	オリエンテーション	救急科	内科								内科選択	
2年次	精神科	地域・一般外来	産婦人科	麻酔科	小児科	外科	選択科					

専門研修
プログラム
(基幹施設)

内科

外科

小児科

産婦人科

精神科

皮膚科

眼科

耳鼻咽喉科

泌尿器科

整形外科

脳神経外科

形成外科

救急科

麻酔科

放射線科

リハビリテーション科

病理

臨床検査

総合診療科

研修医の処遇

- 給与 / 1年目:300,000円/月、2年目:310,000円/月
- 諸手当 / 時間外手当
- 勤務時間 / 8:30~17:15

- 保険 / 日本私立学校振興・共済事業団(健康保険・年金)
- 休暇 / 有給休暇(年20日)、夏期休暇(3日)、その他特別休暇(誕生日、結婚、忌引き、傷病、他)。また、原則として当直明けの勤務を免除しています。
- その他 / 職員食堂、レストラン「みぬま」、カフェ「プリムローズ」、院内コンビニエンスストア、コーヒーストア、院内保育所「あおぞら」、日光研修所、北軽井沢山荘、フィットネスクラブ(法人会員)、食事料補助3,500円/月

応募連絡先

卒後臨床研修室

TEL 048-648-5382(直通)

FAX 048-648-5166

Mail rinshoukenshu2@omiya.jichi.ac.jp

南部保健医療圏

南西保健医療圏

東部保健医療圏

さいたま保健医療圏

県央保健医療圏

川越比企保健医療圏

西部保健医療圏

利根保健医療圏

北部保健医療圏

44

TEL 048-873-4111(代表) FAX 048-873-5451

URL https://www.city.saitama.lg.jp/hospital/index.html



病院データ

※2024年4月～2025年3月の計数

病床数	637床	医師数	136人	指導医数	43人	外来患者数 (1日平均)	1,074人
入院患者数 (1日平均)	499人	救急外来 患者数 (1日平均)	52人	救急車搬送 患者数 (1日平均)	25人	心肺停止状態 搬送患者数 (1日平均)	0.67人

診療科目 内科/消化器内科/呼吸器内科/精神科/脳神経内科/循環器内科/小児科/新生児内科/外科/消化器外科/血管外科/呼吸器外科/整形外科/リハビリテーション科/脳神経外科/心臓血管外科/小児外科/皮膚科/形成外科/泌尿器科/産婦人科/眼科/耳鼻咽喉科/歯科口腔外科/放射線診断科/放射線治療科/麻酔科/救急科/病理診断科/緩和ケア内科

病院の特徴

プライマリ・ケアを学ぶ!豊富で多彩な症例!～地域完結型医療の要として～

さいたま市立病院は、市民の皆様が安心して暮らせる市のシンボルとして、地域完結型医療の要となる病院です。市の基幹病院である当院は、プライマリ・ケアから各専門領域での高いレベルの医療まで幅広い医療サービスを提供しており、common disease から学会発表につながる稀な疾患まで豊富な症例を経験することができます。内科は消化器、循環器、脳神経、呼吸器、腎内分泌代謝、血液、感染の各分野をカバーしており、外科は一般・血管外科、消化器外科、小児外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科が高いレベルの手術を行っています。地域周産期母子医療センターを設置し周産期医療、小児医療にも力を入れています。救急医療では一次・二次救急に加え、令和2年に救命救急センターが開設され、幅広い疾患に対応しています。そのほか、緩和ケア病棟、精神科身体合併症病棟の設置など充実した設備を持ち、安心して安全な医療を提供しています。

支援制度

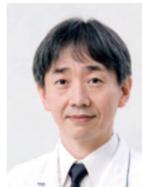
見学補助/なし

住宅補助/なし

宿舎/なし

産休・育休
(研修医の取得実績) /あり

メッセージ



さいたま市立病院での初期臨床研修

臨床研修管理委員長
明石 真幸
出身大学:慶應義塾大学

当院では2004年の初期臨床研修制度開始時から研修医を受け入れ、研修医教育に情熱を傾けて取り組んできています。このため、初期研修医は充実した環境と上級医の指導の下、多数のcommon diseaseを経験し、医師としての基本的診療能力、そして基本的姿勢や態度を習得する事ができます。初期研修医は日々、めざましい成長を遂げていきます。昨日できなかった事が今日できるようになり、2年目後半になる頃には1年目を指導出来るほどの臨床能力を習得して、自信を持って診療に当たるようになります。私達は自己研鑽を重ねながら、皆で学び助け合いながら成長できる研修医を求めています。医学生の方皆さん、さいたま市立病院で初期研修医を行い、一緒に成長していきませんか。



職種の垣根なく研修医を病院全体で育ててくれる体制が整っています

研修医2年目
山崎 万祐子
出身大学:山形大学(2024年卒)

病院スタッフは職種の垣根なく、皆優しく、研修医を病院全体で育ててくれる体制が整っています。点滴の組み立て方やルートの取り方は看護師さんから学び、X線やCTの撮影条件は放射線技師さんから教えていただきました。指導医の先生方は熱心な先生が多く、方針を示すだけでなく、「一緒に考えてみよう!」と考え方から教えていただけます。手技の機会も多いですが、準備や手順から丁寧に説明して下さるため、初めての手技でも安心してチャレンジすることができます。事務の方はお母さんのように親身になって相談に乗ってくださり、安心して研修生活を送ることができます。周りの方々の優しさに支えられ、実りある研修ができていると実感しています。皆さんもぜひ一度当院に足を運んでいただき、雰囲気の良いと思われた環境を体験していただけたら嬉しいです。研修医、病院スタッフ一同お待ちしております。

研修データ

初期研修医数 (1年目)	14人	初期研修医数 (2年目)	14人	昨年度 マッチング 受験者数	138人	募集人数	14人
当直日数 (月平均)	5日	当直 開始時期	1年目4月	当直時の 勤務体制*	11人		

主な出身大学 慶應義塾大学/昭和大学(現・昭和医科大学)/千葉大学/新潟大学/旭川医科大学/金沢大学/九州大学/群馬大学/順天堂大学/帝京大学/東京慈恵会医科大学/東邦大学/鳥取大学/日本医科大学/山形大学/山梨大学

研修プログラムの特色

当院はさいたま市の基幹病院の1つであり、年間約9,000台の救急車の受入れを中心に、急性期医療、がん医療、周産期医療、地域連携(病診連携)に力を入れています。研修プログラムはプライマリ・ケアの基本的診療能力(態度、技能、知識)を身につけることを第一目標とし、さらに各自の到達度と希望に合わせて専門的知識、技術を習得できるよう柔軟なプログラムとなっています。一般コースの1年次は内科(26週)、救急(9週)、小児科(5週)、外科(4週)、麻酔科(4週)、産婦人科(4週)をローテートし、2年次は各自の希望に合わせた選択科を中心に内科、精神科、地域医療、救急をローテートします。2年間を通して内科系、外科系及び救命救急センターの日当直を行うことで、より実践的なトレーニングを積むことができます。また、研修医セミナーを毎週開催し、知識の整理や症例検討を行っています。その他、小児科希望者を対象とした小児科・成育医療コースを設けています。

研修スケジュール(年間研修予定(例))	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急科	小児科	外科	産婦人科	麻酔科	
2年次	内科	精神科	へき地・離島	救急科	選択科							

※さいたま市立病院初期臨床研修プログラム(一般コース/募集定員12名)の研修スケジュール例

専門研修プログラム(基幹施設)	内科	外科	小児科	産婦人科	精神科	皮膚科	眼科
	耳鼻咽喉科	泌尿器科	整形外科	脳神経外科	形成外科	救急科	麻酔科
	放射線科	リハビリテーション科	病理	臨床検査	総合診療科		

研修医の処遇

- 給与 / 1年目:380,248円/月、2年目:396,140円/月
- 諸手当 / 賞与支給あり、通勤手当、時間外勤務手当
- 勤務時間 / 8:30~17:15

- 保険 / 健康保険(埼玉県市町村共済組合)、年金(1年目:厚生年金、2年目:埼玉県市町村共済組合)、雇用保険、労災保険
- 休暇 / 年次有給休暇(年10日)、夏季休暇等
- その他 / 定期健康診断あり、白衣・スクラブ支給あり



応募連絡先

病院総務課:高橋 宗一郎 TEL 048-873-4217

FAX 048-873-5451 Mail hsp-jimukyoku-somu@city.saitama.lg.jp



TEL 048-665-6111

FAX 048-665-6112

URL <https://shmc.jp/>

病院データ

※2024年4月～2025年3月の計数

病床数	337床	医師数	75人	指導医数	57人	外来患者数 (1日平均)	476人
入院患者数 (1日平均)	306人	救急外来 患者数 (1日平均)	22人	救急車搬送 患者数 (1日平均)	17人	心肺停止状態 搬送患者数 (1日平均)	0.09人

診療科目 内科/循環器内科/消化器内科/呼吸器内科/脳神経内科/腎臓内科/糖尿病・代謝・内分泌内科/血液内科/リウマチ科/緩和ケア内科/外科/消化器外科/乳腺外科/肛門外科/腫瘍内科/整形外科/形成外科/脳神経外科/心臓血管外科/耳鼻咽喉科/眼科/泌尿器科/婦人科/皮膚科/麻酔科/放射線診断科/放射線治療科/リハビリテーション科/救急科/病理診断科/歯科口腔外科

病院の特徴

3年目4月1日には独り立ち!!

当院では、将来どの専攻分野に進んでも困らないよう、厚生労働省が定める到達目標をこの2年間で達成し、「3年目に独り立ちできること」をスローガンとしています。専門医になったときの実力差は専門知識の量と技術はもちろん、他科との境界領域の知識量にも表れると言われてます。ぜひこの2年間は、しっかりと「generalist mind」を育てていただきたいと考えております。

常勤医師のほとんどが指導医であり、科全体・病院全体で研修医を育てる充実した指導体制です。救急ローテート時や日当直では、ファーストタッチから一連の検査オーダー、診断までを研修医が主体的に行います。もちろん指導医や上級医がしっかりサポート・指導してくれますので安心して研修に臨むことができ、臨床能力を養うことができます。また、産婦人科・小児科・精神科・地域医療については、専門的な知識を経験できる施設と連携しています。

支援制度

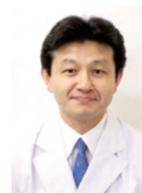
見学補助/なし

住宅補助/あり

宿舎/あり

産休・育休
(研修医の取得実績) /なし

メッセージ



医師として、社会人としての人間性を磨く

副院長
長田 秀夫
出身大学:防衛医科大学当院の取り組みの一端をご紹介します。
・挨拶をする、時間を守る、約束を守る、協力する

医師である前に、社会人としての常識は当然備えていなければなりません。当たり前のように自然にできるように指導しております。

・チーフレジデントの選出

各種部会への参加、研修医の意見・要望のとりまとめ、採用試験の面接官の一人等々、自ら考え行動し、自分達のみならず未来の後輩達も更に良い研修をできるように活動していく中心的役割を担います。

・各診療科の研修内容のフィードバック

研修内容や指導医の考え方も柔軟な対応が要求されます。各診療科部長には臨床研修委員会を通じ、研修内容のフィードバックや改善などお願いしております。そして当院の柱の1つである救急科(2次救急、年間6,000件程度)の現場で幅広い分野の疾患・外傷などの初期対応能力を習得して頂きます。未来に向けてまだまだ新たな取り組み・改善をしていく所存です。



充実した救急研修

研修医2年目
村岡 薫
出身大学:愛媛大学(2023年卒)

当院の魅力を紹介いたします。

1点目は救急科研修です。救急は医療の第一線で活躍するためのスキルを養う絶好の機会です。救急科研修では、ファーストタッチ、検査オーダーや患者説明も研修医が主体となって行います。経験豊富な指導医のもとで様々な症例を経験でき、これから医師として働いていく上で重要な救急対応のスキルが身につきます。

2点目は社会人として成長できる研修環境です。当院は、指導医やコメディカルの方々が非常に温かく働きやすい職場です。誰とすれ違って挨拶があり、コミュニケーション能力の高いスタッフが多いのも特徴です。医師は医学的な知識や技術だけでなく、社会性も求められます。

当院は社会人としても成長できる環境であると確信しております。

初期研修の2年間はこれからの医師人生の基盤となる非常に重要な期間です。そんな2年間で当院で私たちと一緒に過ごしませんか。ぜひ一度、見学にいらして下さい!

研修データ

初期研修医数 (1年目)	8人	初期研修医数 (2年目)	8人	昨年度 マッチング 受験者数	65人	募集人数	8人
当直日数 (月平均)	4日	当直 開始時期	1年目5月	当直時の 勤務体制*	3人	※研修医以外の当直人数	

主な出身大学 東京医科大学/北里大学/東北大学/昭和医科大学/秋田大学/愛媛大学/東京慈恵会医科大学/琉球大学/山梨大学/札幌医科大学/山形大学/新潟大学/東邦大学/奈良県立医科大学

研修プログラムの特色

研修コンセプト【3年目の4月1日に独り立ち!】

3年目はどんな環境での研修になるかわからない。そこで、3年目にどの診療科に進んだとしても、自信を持って対応できるよう当院独自のプログラムを作成している。

能動的、自主的な姿勢を支援する教育体制研修内容をより充実させるために、研修医がプログラムの見直しや改善を提案できる風土

✓麻酔科を2か月必須:挿管できずして急変対応ができるのか ✓救急科を、1年次と2年次に分けて研修:2年次はプレ3年生を意識 ✓2年次では集中治療室研修もあり:人工呼吸器管理できずして当直帯を乗り切れるのか ✓放射線科(読影)が自由選択で学べる:読影出来ずして当直できるのか

研修スケジュール(年間研修予定(例))

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						外科	救急科	麻酔科			
2年次	小児科	産婦人科	精神科	へき地・離島	救急科	調整 (一般外来)	選択科					

専門研修
プログラム
(基幹施設)

内科	外科	小児科	産婦人科	精神科	皮膚科	眼科
耳鼻咽喉科	泌尿器科	整形外科	脳神経外科	形成外科	救急科	麻酔科
放射線科	リハビリテーション科	病理	臨床検査	総合診療科		

研修医の処遇

- 給与 / 1年目:400,000円、2年目:430,000円(月額)
1年目:4,800,000円、2年目:5,160,000円(年額)
- 諸手当 / 当直手当:1年次15,000円、2年次25,000円
日勤手当:1年次10,000円、2年次15,000円
- 勤務時間 / 9:00~17:30

- 保険 / 協会けんぽ、雇用保険、厚生年金、労働者災害補償保険、医師賠償責任保険
- 休暇 / 土曜隔週、日曜、祝祭日、年末年始(12/30~1/3)、有給休暇(1年次:10日、2年次:11日)
- その他 / 学会・研修会等参加の費用負担あり(8万円/年)、学会休(3回/年)医療費見舞金制度(3万円まで/月)、保養所、院内旅行、その他



応募連絡先

臨床研修センター:野口・横濱 TEL 048-665-6111

FAX 048-665-6112 Mail kenshui@shmc.jp

TEL 048-852-1111

FAX 048-852-3120

URL <https://www.saitama-med.jrc.or.jp/>

病院データ

※2024年4月～2025年3月の計数



診療科目 肝胆膵内科/消化管内科/呼吸器内科/血液内科/膠原病・リウマチ内科/腎臓内科/糖尿病内分泌内科/総合臨床内科/腫瘍内科/脳神経内科/循環器内科/心療科/小児科/消化器外科/乳腺科/整形外科/脳神経外科/呼吸器外科/心臓血管外科/皮膚科/泌尿器科/産婦人科/眼科/耳鼻咽喉科/形成外科/リハビリテーション科/放射線診断科/放射線治療科/麻酔科/緩和ケア診療科/口腔外科/病理診断科/救急科

病院の特徴

県南地域における中核病院として、地域に密着した医療を推進しています

- ・第3次救急医療を担う高度救命救急センターとしてICU・CCU等の施設を併設し高度診療機能を有するほか、災害拠点病院として地域に密着した医療を推進しています。
- ・健診センターなどの施設も整備し、地域住民の健康管理に努めるとともに、ほかの医療機関との連携を図った急性期医療を展開し、地域に根差した医療を提供しています。
- ・JR京浜東北線さいたま新都心駅より徒歩4分、JR埼京線北与野駅より徒歩6分と、交通アクセスが良く、非常に働きやすい環境です。
- ・駅周辺には大型商業施設やさいたまスーパーアリーナがあり、多くの人で賑わっています。また、飲食店やコンビニも充実しています。

支援制度

見学補助/なし

住宅補助/あり

宿舎/なし

産休・育休
(研修医の取得実績) /なし

メッセージ



心技体ともに充実した研修をお約束いたします

副院長/消化器内科部長/研修管理委員長
甲嶋 洋平
出身大学: 千葉大学

当院は、人口134万人のさいたま市の基幹病院として急性期から慢性期の医療を幅広く担っています。急性期では、3次救急患者さんに対応するため高度救命救急センター、リスクの高い妊婦さんに対応するため総合周産期母子医療センターを設置しております。またER体制をとり、24時間積極的に患者さんの受け入れを行っております。慢性期では、地域がん診療連携拠点病院、がんゲノム連携病院、地域医療支援病院に認定され、全科にわたり専門的に患者さんの診療にあたっています。

当院は、基幹病院として内科、外科、麻酔科、眼科、救急科、産婦人科、皮膚科で独自の専門研修プログラムを擁しています。積極参加型の研修を信条としており、研修医の先生方自らが、指導医とともに患者さんの治療に取り組んでいます。また先輩研修医の後輩研修医への面倒見の良さが長年にわたり受け継がれています。ぜひ当院プログラムに参加ください。



最高の環境で、最高の仲間と、最高のスタートを

研修医2年目
石山 裕也
出身大学: 日本医科大学(2024年卒)

当院は大学病院に匹敵する豊富な診療科を有し、地域の中核病院としてCommonからRareまで幅広い症例を扱います。救急/周産期医療/手術・カテーテルアブレーション実績など全国的に高い水準を誇り、病院の強みは多岐にわたります。この環境は、「全人的医療を提供するための基礎の養成」と「志望科での専門的修練」という2本柱の両立を可能にします。加えて、教育体制も魅力的です。多数の上級医が当院で研修・勤務を重ね、熱心な教育のみならず学会発表・手技/手術習得の機会を惜しまず提供してくれます。診療科間の垣根も低く、幅広い経験を積みながら自らの志向性を磨けるまさに市中病院と大学病院双方の利点を兼ね備えた環境です。

「ここでの2年間で今の自分をつくった」と感謝する日が来ることを確信しています。百聞は一見に如かず、学生の皆さんぜひ一度見学にお越しください。思い描いた理想の研修がここにあることをお約束します。

研修データ



主な出身大学 東京科学大学/日本医科大学/金沢医科大学/杏林大学/東京大学/埼玉医科大学/東京女子医科大学/聖マリアンナ医科大学/東北大学/福島県立医科大学/昭和大学(現・昭和医科大学)/産業医科大学/日本大学/秋田大学/東京慈恵会医科大学/金沢大学/浜松医科大学/自治医科大学/東京医科大学/東北医科薬科大学/群馬大学

研修プログラムの特色

- ・数多くの症例が揃っており、充実した研修生活を過ごすことができます。
- ・高度救命救急センターを併設しており、救急医療に関してより実践的な研修を行うことができます。
- ・選択研修期間が40週あり、可能な範囲で研修医の希望に沿って研修スケジュールを組むことができます。
- ・適宜「研修医ミーティング」を開催し、プログラム責任者と研修医がそれぞれの研修状況について情報共有をします。不安な点や、改善して欲しい点など意見を出し合い、研修医たちの意見を反映したより良い研修環境を作ることができます。

研修スケジュール(年間研修予定(例))

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						外科	選択必修 (外科)	救急部門			
2年次	産婦人科	小児科	精神科	地域医療	選択科							

※当院では月単位での研修のため、研修期間に若干ずれが生じます。

専門研修プログラム (基幹施設)	内科	外科	小児科	産婦人科	精神科	皮膚科	眼科
	耳鼻咽喉科	泌尿器科	整形外科	脳神経外科	形成外科	救急科	麻酔科
	放射線科	リハビリテーション科	病理	臨床検査	総合診療科		

研修医の処遇

- 給与 / 1年目:300,000円、2年目:350,000円(月額)
- 諸手当 / 通勤手当、住宅手当、時間外手当、日・当直手当、賞与(1年次10万円、2年次20万円)
- 勤務時間 / 8:30~17:00

- 保険 / 組合健保(埼玉県医師会健康保険組合)、厚生年金保険、雇用保険、労災保険、医師賠償責任保険(病院において加入)※個人は任意
- 休暇 / 有給休暇(1年目:10日※入職から半年後に付与、2年目:11日)
- その他 / 宿舎なし
研修医室あり



応募連絡先

人事課教育研修係 TEL 048-852-1572(直通)

FAX 048-852-3120 Mail kensyu@saitama-med.jrc.or.jp

TEL 048-626-0011(代表) FAX 048-799-5146

URL <https://www.scmc.or.jp>

病院データ

※2024年4月～2025年3月の計数



診療科目 内科／循環器内科／消化器内科／呼吸器内科／糖尿病・内分泌内科／血液内科／腎臓内科／脳神経内科／外科／消化器外科／乳腺・内分泌外科／脳神経外科／整形外科／小児科／皮膚科／泌尿器科／耳鼻咽喉科／放射線科／病理診断科／リハビリテーション科／アレルギー科／内科(化学療法)／外科(化学療法)／麻酔科／救急科／リウマチ科

病院の特徴

専門診療と総合診療が融合した指導体制で“軸”となれる医師を育成します

当センターは医療需要が増加している「さいたま医療圏」の地域医療支援病院であり、地域医療の司令塔としての役割を担っています。年間6,400台の救急搬送、かかりつけ医からの紹介、そして大学病院との連携で超急性期から回復期までを担当し、患者さんを住み慣れた自宅や施設などに復帰させています。「心と命をつなぐホスピタリティ」をモットーに「患者中心の医療を目指す総合医」と「専門的技術と視野を兼ねた専門診療支援」の融合による病院総合医(ホスピタリスト)による医療支援の実践を行っています。内科では当日勤務の全医師が集結し、新入院患者の毎朝カンファレンスを行い、患者の治療方針を議論し、臨床診断プロセスを共有しています。小児科においては埼玉県有数の救急搬送数を誇っており、さいたま市の小児救急輪番病院として地域医療に貢献しています。集約化される小児医療のCommon Diseaseを学ぶことができます。指導医、専攻医、研修医と屋根瓦式の指導体制を敷いており、働き方改革により患者さんから学ぶ時間が以前より短くなった若い医師にとって理想的な教育環境を提供しています。

支援制度

見学補助／あり

住宅補助／あり

宿舎／あり

産休・育休
(研修医の取得実績)／あり

メッセージ

**より自分の理想に近づけるような研修を提供しています**内科診療部長
坪井 謙
出身大学: 旭川医科大学

当センターの臨床研修プログラムは深い人間性に基づく、かつ優れたプライマリ・ケアの臨床能力を発揮する医師育成を目指しています。「病氣」「けが」「こども」に対して、まず「診る」ことができるジェネラリストとしての医師を育てる研修を提供しています。また大学病院では経験できない地域に密着した医療を体験できます。そのため、どの専門医プログラムに行っても通用する土台を築くことができ、必ず皆さんの将来的キャリア構築に役立つと思います。豊富な臨床経験を持つ指導医に加え、各科の垣根も低いため、病院内のどこでも気軽に相談できる環境になっています。ローテーションに関しては研修医の希望に柔軟に対応しつつも、次のステップに行くために必要な研修のアドバイスをし、より自分の理想に近づけるような研修を提供しています。是非、当センターと一緒に働いてみたい人、待っています。

**上級医だけでなく看護師、救急救命士、MSWなど多職種の方々から暖かく指導していただいています**研修医2年目
草野 美穂
出身大学: 長崎大学(2024年卒)

将来は離島で働きたいと思い、地域に密着し科に捉われない当センターで総合医マインドを持った医師になりたいと考え研修先を選びました。一人一人が見据える将来に上級医、病院全体がどう関わっていかれるか自分のことのように一緒に考えてくれる雰囲気を感じながら研修しています。年間を通じて救急にファーストタッチし続けられ、急性期、慢性期まで幅広くみることが出来る当センターでは様々な職種の人が同じ目線で、患者さんにとってよりよい選択ができるように最善を尽くしています。働き方改革が進む限られた時間の中でも、当センターでだからこそ充実した2年間の研修を行うことができると確信しています。

研修データ



主な出身大学 秋田大学／埼玉医科大学／長崎大学／獨協医科大学／信州大学／浜松医科大学／山梨大学／福島県立医科大学／弘前大学／北海道大学／筑波大学／北里大学

研修プログラムの特色

深い人間性に基づく、かつ優れたプライマリ・ケア能力を習得した医師養成を目指します。年間入院患者数8,000名以上、2次救急外来患者数は6,400名と幅広い豊富な患者数に支えられ多様な疾患の経験ができます。さらに総合的な視野を有する各専門領域のサブスペシャリティの指導医を備えていることも当センターの特徴です。特に当センターでは大学病院では経験できない、都会型の地域医療に密着した内科、外科、小児科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、麻酔科、リハビリテーション科疾患を経験できます。放射線科、病理診断科における診断学研修レベルは高度で、これらの特色とともに、将来あらゆる領域のキャリア形成にも対応可能な多能性医師養成プログラムを提供します。内科系のみならず外科系領域においても総合医マインドを備えた臨床研修(内科系、外科系ジェネラリスト)プログラムでプロフェッショナル医師を養成します。

研修スケジュール(年間研修予定(例))

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科							救急		外科		
2年次	小児科	産婦人科	精神科	地域医療	外科系	選択科						

専門研修
プログラム
(基幹施設)

内科	外科	小児科	産婦人科	精神科	皮膚科	眼科
耳鼻咽喉科	泌尿器科	整形外科	脳神経外科	形成外科	救急科	麻酔科
放射線科	リハビリテーション科	病理	臨床検査	総合診療科		

研修医の処遇

- 給与 / 1年目: 434,000円/月、2年目: 450,600円/月
- 諸手当 / 夜勤手当、日直手当、時間外手当、住宅手当
- 勤務時間 / 8:30～17:30

- 保 険 / 埼玉県医師会健康保険組合、厚生年金保険、雇用保険、労災保険、医師賠償責任保険(病院において加入)
- 休 暇 / 日曜・祝日・有給休暇・夏季休暇・年末年始休暇
- そ の 他 / 宿舎あり



応募連絡先

総務課: 採用担当 TEL 048-626-0011

FAX 048-799-5146 Mail soumu@scmc.or.jp



病院データ

※2024年4月～2025年3月の計数

病床数	395床	医師数	83人	指導医数	20人	外来患者数 (1日平均)	約1,100人
入院患者数 (1日平均)	約360人	救急外来 患者数 (1日平均)	約15人	救急車搬送 患者数 (1日平均)	約10人	心肺停止状態 搬送患者数 (1日平均)	1人

診療科目 内科／呼吸器内科／循環器内科／消化器内科／糖尿病内科／内分泌内科／神経内科／腎臓内科／血液内科／外科／呼吸器外科／消化器外科／乳腺外科／心臓血管外科／整形外科／脳神経外科／形成外科／神経精神科／小児科／皮膚科／泌尿器科／産婦人科／眼科／耳鼻咽喉科／放射線治療科／病理診断科／放射線診断科／麻酔科／救急科／リウマチ科

病院の特徴

各科力を合わせて地域から頼られ愛される病院を目指しています。

当院は政令指定都市さいたま市の中核病院として、初代院長が掲げた「和の精神」を大切に、医師・看護師・技師・事務職など多くの職員が団結し、患者さまに寄り添った医療を実践しています。臨床研修では、柔軟なローテーション設定に加え、当直や手技など実践的な経験を積みやすい環境を整えています。まず内科系で基礎を固めたのち、必修の麻酔科を早めに研修。小児科・婦人科・精神科は近隣の一線級病院で学ぶことが可能です。2年目は選択期間を長く確保し、将来の希望科をじっくり研修できます。医学生向け病院見学も随時受付中ですので、少しでも興味を持たれた方は募集ページからぜひお申し込みください。皆さまと共に働く日を心より楽しみにしています。

支援制度

見学補助／なし

住宅補助／あり

宿舎／なし

産休・育休
(研修医の取得実績)／なし

メッセージ

研修医の自主性を重視し、やりたいことが学べる研修を目指しています。

内科診療部長
森本 二郎

将来に向けた確かな基盤を築くために、まずは医師としての基本をしっかり学んでいただくことが大切です。そのうえで、2年間の研修を振り返ったときに「埼玉メディカルセンターで学んで本当によかった」「楽しく充実した時間だった」と思っていたら、そのような研修を目指しています。

とても恵まれた環境で研修に励むことができます

研修医2年目
小川 一徹

当院は研修医をサポートするための充実した指導環境があり、特に内科を中心に、経験豊富な指導医の元で研修を行うことができます。研修期間中は幅広い症例に触れて実践的なスキルを磨くことができ、基礎的な素養を養える環境です。上級医の先生や事務の方々も相談しやすい方がとても多く、手厚いサポートがある環境で日々の研修に励むことができるような職場だと思います。

研修データ

初期研修医数 (1年目)	8人	初期研修医数 (2年目)	8人	昨年度 マッチング 受験者数	58人	募集人数	8人
当直日数 (月平均)	3日	当直 開始時期	1年目4月	当直時の 勤務体制※ ※研修医以外の当直人数	1人		

主な出身大学 東京女子医科大学／筑波大学／藤田医科大学／福井大学／群馬大学／滋賀医科大学／東北大学／日本医科大学／産業医科大学／獨協医科大学／慶應義塾大学

研修プログラムの特色

- 1: 選択期間／選択科目の期間を比較的長く確保することで、様々な診療科に進む医師にとっても医師としての基本的な診療能力を習得できます。
- 2: 必修制度／内科系医師も経験する必要があると判断し、麻酔科(4週)が必修となっております。内科研修では、結核診療を学ぶことができる東埼玉病院(埼玉県蓮田市)での研修(2週)も選択可能です。
- 3: 選択科目／必修以外の期間は選択期間として研修医の希望に沿う形で研修を行い、救急医療は1年次の途中と、2年次に分け、研修の進捗に応じたそれぞれのレベルでの研修が行える設定がされています。
- 4: 連携協力施設／地域医療では近隣の診療所での研修に加え、健康管理センターの業務を学ぶことができ、JCHO 湯布院病院(大分県)やJCHO 高岡ふしき病院(富山県)など地方病院での研修も選択可能です。近隣の協力病院はいずれも通勤圏にあるため転居の必要はありません。

研修スケジュール(年間研修予定(例))

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年次	内科			救急	外科	内科 (院外)	救急	内科	麻酔	内科		自由選択	救急
2年次	内科	自由選択	地域医療 (院外)	自由選択	精神神経科 (院外)		救急	小児科 (院外)	産婦人科 (院外)	内科	自由選択		

※院外研修先の詳細については当院HPの臨床研修医募集ページをご確認ください。

専門研修プログラム (基幹施設)	内科	外科	小児科	産婦人科	精神科	皮膚科	眼科
	耳鼻咽喉科	泌尿器科	整形外科	脳神経外科	形成外科	救急科	麻酔科
	放射線科	リハビリテーション科	病理	臨床検査	総合診療科		

研修医の処遇

- 保 険 / 組合健保・年金保険・労災保険・医師賠償責任保険・雇用保険
- 休 暇 / 有給休暇(1年目:15日、2年目:20日)土日祝・年末年始・夏季休暇

- 給 与 / 1年目:260,000円、2年目:280,000円(月額)
- 諸 手 当 / 賞与・住宅手当・通勤手当・時間外手当・休日手当
- 勤 務 時 間 / 8:30～17:15



応募連絡先

総務企画課:武川 将喜 TEL 048-832-4951

FAX 048-833-7527 Mail main@saitama.jcho.go.jp



TEL 048-773-1111(代表) FAX 048-773-2952

URL https://www.ach.or.jp



病院データ

※2024年4月～2025年3月の計数

病床数	733床	医師数	279人	指導医数	101人	外来患者数 (1日平均)	1,475人
入院患者数 (1日平均)	624人	救急外来 患者数 (1日平均)	40人	救急車搬送 患者数 (1日平均)	23人	心肺停止状態 搬送患者数 (1日平均)	0.76人

診療科目 内科/循環器内科/消化器内科/脳神経内科/糖尿病内科/腎臓内科/血液内科/呼吸器内科/呼吸器腫瘍内科/肝臓内科/アレルギー疾患内科/感染症内科/腫瘍内科/緩和ケア内科/心療内科/小児科/産婦人科/外科/整形外科/脳神経外科/心臓血管外科/消化器外科/肝臓外科/乳腺外科/呼吸器外科/気管食道外科/肛門外科/内視鏡外科/小児外科/泌尿器科/女性泌尿器科/耳鼻咽喉科/頭頸部外科/眼科/形成外科/美容外科/皮膚科/麻酔科/救急科/放射線診断科/放射線治療科/病理診断科/臨床検査科/リハビリテーション科/歯科口腔外科/総合診療科(院内標榜)/膠原病内科(院内標榜)/臨床遺伝科(院内標榜)

病院の特徴

『自立』『責任』『信頼』

医師としての基盤となる3つの資質を身につけ、伸ばすことを約束するプログラムです。

『自立』救急外来では年間約8,400件の救急車を研修医たちがファーストタッチで扱います。指導医は裏方の役に徹し、研修医がまさしく自分自身の力で診療する能力を養います。

『責任』総合診療科研修ではほぼ主治医に匹敵する仕事を任せられます。治療方針の決定やICも研修医の仕事です。甘えは許されません。

『信頼』地域医療研修では自ら外来枠をもちます。患者さん一人ひとりと密接な関係性を構築することが求められます。

臨床研修管理委員会とは別に臨床研修指導者委員会を設置し、5～10年目の若手医師、看護師、メディカルスタッフが研修医一人ひとりに目を向けて研修の様子をいつも見守っています。

支援制度

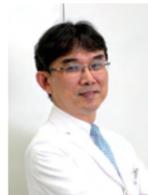
見学補助/なし

住宅補助/あり

宿舎/あり

産休・育休
(研修医の取得実績) /あり

メッセージ



当院の研修医たちのゴールは「たくましさ」です

臨床研修センター センター長
黒沢 祥浩
出身大学:慶應義塾大学

未来の自分がどのような苦境にも負けることなく、周囲からの信頼を得て医療を遂行するためのスキルです。そして、それは

生涯にわたって彼らを助けてくれることでしょう。

私たち指導医は彼らの「たくましさ」の獲得を援助します。「自ら考え行動する」という研修医の姿勢を見守り、ときに手を差し伸べるのが私たちの大切な役割です。研修医たちはもがきながら多くを学び、成長し、そして答えをみつけたときに達成感と明日へのモチベーションが生まれていきます。救急科研修でくじかれ、総合診療科研修で悩み、離島へき地研修で新たな発見をしていく。ダイナミックな研修プログラムです。



先の数年ではなく数十年後の医師人生を支える土台作りが必ずできる

研修医1年目
清水 友美
出身大学:国際医療福祉大学(2025年卒)

病院見学の日、黒沢先生のこの一言で、私は「ここで研修する」と心を決めました。そして始まった念願の研修生活。「誰よりも患者

さんに寄り添うぞ!!」と気合十分でスタートしましたが、現実はその甘くありません。準備不足の私に患者さんは待たをくれず、「まだ研修2か月目で…」なんて言い訳はもちろん通用しません。研修医でも、一人の責任ある医師として目の前の人に向き合わなければならない。そんな当たり前のことすら分かっていなかった私は気合だけ十分で、知識も技術も足りず、「寄り添いたい」なんて、どの口が言えたのかと恥ずかしくなるばかりでした。こんな自分を誰が信頼してくれるだろう。ひとり悔し涙を流したことも既に複数回です。それでも毎朝、自分を奮い立たせて病院に向かいます。するとそこには、同じように悩みながら挑戦する同期がいて、励ましてくれる先輩がいて、「失敗してもいい、患者さんを想うことだけは忘れるな」と温かく背中を押してくれる先生がいます。「自分は一人じゃない。」そう思わせてくれるこの環境だから、ここで未熟な自分と向き合い続けることで、「揺るがない土台」を築いていきたいと、この病院で研修すると決めたあの日より、強く強く決意しています。

研修データ

初期研修医数 (1年目)	18人	初期研修医数 (2年目)	19人	昨年度 マッチング 受験者数	86人	募集人数	19人
当直日数 (月平均)	4日	当直 開始時期	1年目4月	当直時の 勤務体制*	7人	※研修医以外の当直人数	

主な出身大学 北海道大学/旭川医科大学/札幌医科大学/弘前大学/秋田大学/岩手医科大学/山形大学/東北大学/福島県立医科大学/東京医科歯科大学(現・東京科学大学)/東京医科大学/東京女子医科大学/日本医科大学/東京慈恵会医科大学/東邦大学/帝京大学/順天堂大学/杏林大学/日本大学/昭和大学(現・昭和医科大学)/埼玉医科大学/獨協医科大学/聖マリアンナ医科大学/国際医療福祉大学/北里大学/東海大学/群馬大学/山梨大学/筑波大学/新潟大学/金沢大学/富山大学/福井大学/浜松医科大学/名古屋大学/名古屋市立大学/信州大学/藤田保健衛生大学(現・藤田医科大学)/近畿大学/滋賀医科大学/三重大学/鳥取大学/川崎医科大学/島根大学/広島大学/徳島大学/産業医科大学/長崎大学/熊本大学/鹿児島大学/佐賀大学/大分大学/宮崎大学/琉球大学/漢陽大学/Shahid Beheshti University

研修プログラムの特色

医師として必要不可欠な素養を包括する三つのキーワード、「責任」、「信頼」、「自立」を身に付けることを目的として作成されたプログラムである。そのために3本の柱、すなわち救急科(日当直を含む)研修、総合診療科研修、地域医療研修(離島・へき地研修)を研修の中心に立て、そのほかの研修科で知識や技術を補う形を取っている。救急科・日当直では年間約8,400台を超える救急搬送患者をファーストタッチし、総合診療科研修では医療チームのリーダーとなり、診療方針の決定からICまで医療に関わるすべてを研修医自らがこなすことを原則としている。離島・へき地研修は、医療資源の少ない場所での診療、訪問診療、外来診療を幅広く学ぶ場となっている。また、指導医の使命は教える・導くことではなく、研修医の成長と自立を最大限促せるような環境づくりをすることとしている。

研修スケジュール(年間研修予定(例))		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科系 (糖尿病内科・血液内科・消化器内科・循環器内科・脳神経内科・腎臓内科・腫瘍内科・総合診療科)か 2科以上選択※総合診療科は12週必修	救急科						麻酔科		外科			
2年次	外科	小児科	産婦人科	地域研修		精神科	選択科						

※必修:内科系24週、救急科12週、麻酔科8週、外科8週、小児科4週、産婦人科4週、精神科4週
選択:24週～28週(糖尿病内科、血液内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、腎臓内科、腫瘍内科、総合診療科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、産婦人科、耳鼻咽喉科、麻酔科、放射線診断科、臨床検査科、救急科、病理診断科、地域研修)
※当院で決めた必須科目の外科については、4週は外科を必須として、4週については外科系(外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科)の中から選択できることとする。
※1 地域研修は必修4週、選択4週まで(合計8週選択可能)
※2 精神科研修は埼玉県立精神医療センター・帝京大学医学部附属病院で実施する。

専門研修 プログラム (基幹施設)	内科	外科	小児科	産婦人科	精神科	皮膚科	眼科
	耳鼻咽喉科	泌尿器科	整形外科	脳神経外科	形成外科	救急科	麻酔科
	放射線科	リハビリテーション科	病理	臨床検査	総合診療科		

研修医の処遇

- 給与 / 1年目:400,000円、2年目:430,000円(月額)
- 諸手当 / 当直手当、日勤手当
- 勤務時間 / 9:00～17:30

- 保険 / 埼玉県医師会健康保険組合、厚生年金保険、雇用保険、労災保険適用、厚生年金基金等企業年金、医師賠償責任保険(病院において加入)
有給休暇(入職3ヵ月後:3日、6ヵ月後:7日、初年度:10日支給)
- 休暇 / その他(特別休暇・年末年始・産前産後休業・育児休業・介護休業)
宿舎当院規定(5万円を上限として、家賃半分の支給) ※上尾市内在住(限定)その他処遇:常勤・健康診断:年2回、医師賠償責任保険:病院において加入・個人加入は任意、学会・研究会等への参加:可、参加費用支給有、医療費見舞金制度、24時間保育園、保養所(軽井沢/那須/熱海)、院内旅行、その他



応募連絡先

人事課 秘書係(臨床研修担当):伊藤・井上

TEL 048-773-1111(代表) FAX 048-773-2952 Mail ishi_jinji@ach.or.jp



23 北里大学メディカルセンター

364-8501 北本市荒井6-100

TEL 048-593-1212 FAX 048-593-1239

URL <https://www.kitasato-u.ac.jp/kmc-hp/>



病院データ

※2024年4月～2025年3月の計数

病床数	344床	医師数	103人	指導医数	26人	外来患者数 (1日平均)	667人
入院患者数 (1日平均)	227人	救急外来 患者数 (1日平均)	25人	救急車搬送 患者数 (1日平均)	13人	心肺停止状態 搬送患者数 (1日平均)	0.2人

診療科目 内科/脳神経内科/呼吸器内科/消化器内科/循環器内科/腎臓内科/内分泌・代謝内科/リウマチ・膠原病内科/血液内科/精神科/小児科/外科/消化器外科/呼吸器外科/乳腺外科/整形外科/形成外科/脳神経外科/皮膚科/泌尿器科/産婦人科/眼科/耳鼻咽喉科/リハビリテーション科/放射線科/麻酔科/救急科/病理診断科

病院の特徴

プライマリ・ケアから高度医療まで、患者に寄り添った医療を提供します

当院は北里柴三郎先生の精神のもと、地域住民に安心安全な医療を提供できるよう、医師・看護師・メディカルスタッフ・事務が連携してチーム医療を実践しています。地域医療支援病院の特性を生かし、プライマリ・ケアから高度医療まで多岐にわたる医療の最前線を学べる場として、技術習得だけでなく患者の目線に立った医療を提供できる医師の養成に努めています。

研修医の先生方にも、初診患者・一次二次救急患者のファーストタッチ等、チームの大切な医師として診療に携わっていただきます。北里大学病院を含めた複数の病院へローテーションできますので、市中病院の研修をしながら大学とも繋がって専攻医研修への移行もスムーズです。

支援制度

見学補助/なし

住宅補助/あり

宿舎/あり

産休・育休
(研修医の取得実績) /あり

メッセージ



自分のペースに合わせた研修

臨床研修・教育センター長
長場 泰
出身大学: 北里大学

大学病院VS市中病院、多くの医学生がまず最初に悩むことです。北里大学メディカルセンター(地域支援病院)は、埼玉県東部地区の中核的医療施設として機能しており、北里大学の分院として、大学病院(特定機能病院、相模原市)と北里研究所病院(都市型救急病院、東京白金)との連携を行い大学病院的な医療と地域医療をバランスよく研修することが可能なプログラムを提供しています。3病院の自由選択期間(2年目の6か月間)を設けることにより、プライマリ・ケアから高度先進医療まで、希望する研修を行うことが可能です。また北里大学は薬学部、看護学部、医療衛生学部などを有する医療系総合大学であり診療科や職種を超えたチーム医療を重視しています。「市中病院も大学病院もどちらも経験できる研修プログラム」そんなうまい話かと思っただけあなた、ぜひ当院へ見学に来てください。



地域社会に密着した初期研修

研修医1年目
中村 恵也
出身大学: 藤田医科大学(2025年卒)

当院は埼玉県東部医療圏の中心部に位置する、地域医療の中核病院です。Common Diseaseから専門的な症例まで幅広く経験することができます。また当院が保有する救急車に同乗し診療所や介護施設へ直接向かい、ファーストタッチをしながら搬送するという貴重な経験を積むことができます。自由選択枠もおよそ40週と長く、将来どの診療科に進んでも怖くない知識と経験を身につけることができると考えます。指導医の先生方と気軽にコミュニケーションを取ることができ、手取り足取りご指導くださいますので、医師としての基本的な手技や考え方を学ぶことができます。スタッフのみならずも優しく、病院全体で研修医を育ててくださっていると思える環境下で、安心して充実した研修生活を送ることができます。ぜひ一度見学に来ていただき、実際の雰囲気を感じていただければと思います。

研修データ

初期研修医数 (1年目)	9人	初期研修医数 (2年目)	8人	昨年度 マッチング 受験者数	30人	募集人数	8人
当直日数 (月平均)	4日	当直 開始時期	1年目5月	当直時の 勤務体制*	4人		

主な出身大学 北里大学/名古屋大学/信州大学/獨協医科大学/秋田大学/新潟大学/日本大学/慶應義塾大学/福島県立医科大学/川崎医科大学/愛知医科大学/東京女子医科大学/聖マリアンナ医科大学/杏林大学/岐阜大学/藤田医科大学/東海大学/金沢医科大学/中国大連医科大学

研修プログラムの特色

北里大学メディカルセンターは、北里大学の分院であり、地域医療支援病院でもあります。ロボット手術など先端医療を実践するとともに、救急では一次から二次の救急患者にファーストタッチで対応できる病院です。二次には北里大学本院、北里研究所病院、東京・ベイ浦安市川医療センター、さいたま市民医療センターとも連携しており6か月の院外研修もできます。また3年目以降の専攻医も大学病院である強みを生かし全ての診療科への進路が開けています。また当院は、受験倍率も例年それほど高くありません。北里大学メディカルセンターはどんな病院ですか、と聞かれたとき「ちょうどいい病院」と答えています。研修内容はもちろん、ワークライフバランス、都内からの立地(普通列車で40分)、収入と生活費、全てが100点ではありませんが、どれもちょうどいいと思っています。色々な病院を見学して、ぜひ自分に合う病院を見つけてください。

研修スケジュール(年間研修予定(例))	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急科	麻酔科	外科	小児科	産婦人科	
2年次	精神科	へき地・離島	選択科									

※選択科は当院のほか北里大学病院、北里研究所病院、東京ベイ・浦安市川医療センター、さいたま市民医療センターから本人の希望で選択できます。

専門研修プログラム(基幹施設)	内科	外科	小児科	産婦人科	精神科	皮膚科	眼科
	耳鼻咽喉科	泌尿器科	整形外科	脳神経外科	形成外科	救急科	麻酔科
	放射線科	リハビリテーション科	病理	臨床検査	総合診療科		

研修医の処遇

- 給与 / 1年目:216,400円/月、2年目:269,400円/月
- 諸手当 / 地域手当:36,600円、固定手当:33,000円、当直手当:8,600円/回、夜勤手当:5,900円+深夜割増、時間外手当、住宅手当、通勤手当、扶養手当 等
- 勤務時間 / 8:00~17:00

- 保険 / 日本私立学校振興・共済事業団(健康保険・年金)に加入
労災保険、雇用保険加入
- 休暇 / 日曜日、土曜日、夏期休暇(5日)、年末年始休暇、国民の祝日(シフト調整)、誕生日休暇、特別休暇(婚姻・忌引)、有給休暇:初年度入職日より12日付与 繰越制度あり
- その他 / 職員寮:あり(病院敷地内:ワンルームタイプ、エアコン・Wi-Fi、電気コンロ、ユニットバス、宅配Box)、学会・研究会への参加費用:支給あり



応募連絡先

事務部人事課:小林 TEL 048-593-1215

FAX 048-593-1239 Mail k-rinsho@kitasato-u.ac.jp



TEL 049-228-3802(直通)

URL <http://www.kawagoe.saitama-med.ac.jp/resident/>



病院データ

※2024年4月～2025年3月の計数

病床数 1,053床	医師数 525人	指導医数 146人	外来患者数 (1日平均) 2,100人
入院患者数 (1日平均) 757人	救急外来患者数 (1日平均) -人	救急車搬送患者数 (1日平均) -人	心肺停止状態搬送患者数 (1日平均) -人

診療科目 消化器・肝臓内科／内分・糖尿病内科／血液内科／リウマチ・膠原病内科／心臓内科／呼吸器内科／腎・高血圧内科／脳神経内科／メンタルクリニック(精神科)／小児科・新生児科／消化管外科・一般外科／肝胆膵外科・小児外科／血管外科／プレストケア科／呼吸器外科／心臓血管外科／整形外科・形成外科・美容外科／脳神経外科／皮膚科／泌尿器科／産婦人科・産科／眼科／耳鼻咽喉科／リハビリテーション科／放射線科／歯科口腔外科／麻酔科・産科麻酔科／高度救命救急センター・救急科(ER)／総合診療内科(感染症科・感染制御科含む)／輸血・細胞治療部／病理部

病院の特徴

大学病院から離島まで

埼玉医科大学総合医療センターは、最先端の設備の中で平成19年には埼玉県よりドクターヘリ基地病院、平成28年には小児救命救急センターの指定を受けた地域基幹病院として高度な医療を提供し地域医療に貢献するのみならず、埼玉医科大学病院群の中では"Super General Hospital"と位置づけられ、診療のみならず大学病院として教育、研究に関しても優れた成果をあげています。高度救命救急センターを始め、外来化学療法センター、血液浄化センター、内視鏡センター、無菌室病棟などを新設し、病棟も順次改修工事を進めており、最新の設備で充実した研修を行うことが出来ます。地域医療研修では、沖縄県立北部病院(同附属診療所を含む)での研修を2ヶ月間選択することができます。(往復の交通費及び宿泊費の補助があります。)小江戸川越は古い街並みを残す歴史のある落ち着いた都市です。都内から近いこともあり近年多くの観光客で賑わっています。伝統と都会的な新しい感覚が混じった川越で研修医としての2年間をスタートしてみませんか。

支援制度

見学補助／あり

住宅補助／あり

宿舎／あり

産休・育休 (研修医の取得実績)／あり

メッセージ



「大学病院でありながらcommon diseaseも経験できる」研修病院です

研修管理委員長
高橋 健夫
出身大学:群馬大学

埼玉医科大学総合医療センターは、歴史あふれる小江戸川越に位置する病床数1,053、1日外来患者数2,000名超、36診療科に総合周産期母子医療センター、高度救命救急センター及び小児救命救急センターを有し、がん・難病など多くの拠点病院となっている県内最大の医療施設です。診療とともに教育、研究にも力を入れており、初期臨床研修では大学病院としての機能を十二分に発揮した高度な先端医療から、common diseaseを中心とした地域医療まで幅広い疾患を学ぶことができます。一言で表すと「大学病院でありながらcommon diseaseも経験できる」研修病院です。私どもは、臨床研修の目標を「日常診療で頻りに遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的診療能力を身につける」ことを基本とし、その上でさらなる専門教育を行っています。全診療科に研修指導責任者、指導医をおき、日常の悩みから効果的な研修などの適切なアドバイスを行い、研修目標が到達できるように支援しています。2年間の研修中には、人気の沖縄離島研修も組み込まれていますので、大学病院から離島までの幅広い医療の現場を体験することが可能です。私どもは研修医の先生方ひとりひとりを大切に育て、次世代のわが国の医療を担う人材を育てたいと考えています。多くの方々がわれわれの門戸を叩いてくれることを心より歓迎いたします。



将来の医師像をより鮮明なものにしていくのにとっても良い環境です

研修医2年目
水谷 理沙
出身大学:順天堂大学

私は小児科志望だったので、地元が埼玉だったのもあり埼玉県で小児科が強い病院を探していました。当院の小児科はNICUやPICUなど設備が整っており、初期研修のうちから幅広い症例の最先端医療に触れることができるところに魅力を感じました。新しい診療科を回り始める際に、何を重点的に学びたいかを聞いてくれる診療科が多いと感じています。例えば産婦人科であれば私は周産期医療を特に学びたかったので、産科症例が多いチームに配属されたり、循環器内科であれば心エコーを毎日当てさせてもらったりと各々が成長したい部分を重点的に学ぶことができる環境が整っていると感じています。私は二次救急と三次救急を両方診たいと思っていたので、本院で二次救急を、当院で三次救急を診ることができ、とても満足しています。当院は診療科も豊富で教育熱心な先生も多いので、将来の診療科が決まっている人にとってもそうでない人にとっても、将来の医師像をより鮮明なものにしていくのにとっても良い環境だと思います。ぜひ一度見学に来て、雰囲気を見てみてください。

研修データ

初期研修医数 (1年目) 43人	初期研修医数 (2年目) 45人	昨年度マッチング受験者数 190人	募集人数 50人
当直日数 (月平均) 4日	当直開始時期 1年目 1月	当直時の勤務体制※ (※研修医以外の当直人数) -人	

主な出身大学 埼玉医科大学／北海道大学／弘前大学／群馬大学／山形大学／金沢医科大学／順天堂大学／獨協医科大学／国際医療福祉大学／信州大学／東邦大学／聖マリアンナ医科大学／セグド大学／東京医科大学／岩手医科大学／徳島大学／杏林大学／日本大学／東京女子医科大学／大阪医科大学／福島県立医科大学

研修プログラムの特色

当院では病院の特性を活かし、日常的に遭遇するcommon diseaseから専門性の高い疾患のマネジメントまで幅広い研修ができるように工夫しています。研修プログラムは、研修医自身が自由にプログラムを組むことができる『埼玉医科大学3病院自由選択プログラム』、臨床研修と大学院コースを同時に学べる『研究マインド育成自由選択プログラム』、小児科・産婦人科等での研修を重視した『産婦人科・小児科重点研修プログラム』があります。4月の導入研修(オリエンテーションを含む)では、内科病棟を中心に診療に必要な基本的姿勢、手技を身につけます。内科・救急研修では、時間外外来を経験し、一次から三次まで幅広く救急医療に従事することでプライマリ・ケアに必要な基本的技能を修得することが可能です。また、2年目に高度救命救急センターでの研修を選択した場合には、希望があればドクターヘリに搭乗することも可能です。

研修スケジュール(年間研修予定(例))		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	導入研修	内科							救急科	麻酔科		小児科	
2年次	外科	産婦人科	精神科	地域医療	自由選択科								

専門研修プログラム(基幹施設)	内科	外科	小児科	産婦人科	精神科	皮膚科	眼科
	耳鼻咽喉科	泌尿器科	整形外科	脳神経外科	形成外科	救急科	麻酔科
	放射線科	リハビリテーション科	病理	臨床検査	総合診療科		

研修医の処遇

- 給与 / 1年目:36万円/月(基本給25万円/諸手当/賞与含む平均月額給与) 2年目:36万円/月(基本給25万円/諸手当/賞与含む平均月額給与)
- 諸手当 / 日・当直手当、時間外手当、通勤手当、住宅手当、扶養手当
- 勤務時間 / 8:30~17:30
- 保険 / 日本私立学校振興・共済事業団、雇用保険、労災保険、医師賠償責任保険(個人加入、義務)
- 休暇 / 原則、1ヶ月9日、有給休暇(1年次:10日、2年次:11日)
- その他 / 賞与:前年度実績50万円/年 白衣貸与(クリーニングは病院負担)、研修医個人専用の机・ロッカー、仮眠室・シャワールーム(男女別)、電子カルテ、共有PC(インターネット接続可能)



応募連絡先

臨床研修センター:若松 正子

TEL 049-228-3802(直通) Mail kensi@saitama-med.ac.jp





病院データ

※2024年4月～2025年3月の計数



診療科目 内科／呼吸器内科／循環器内科／消化器内科／糖尿病内科／神経内科／人工透析内科／外科／消化器外科／乳腺外科／整形外科／肛門外科／脳神経外科／形成外科／アレルギー科／リウマチ科／皮膚科／泌尿器科／リハビリテーション科／放射線科／救急科／麻酔科

病院の特徴

地域の誰にも、何時でも質の高い継続性のある医療とケアを提供する

当院では建物の老朽化に伴い、2015年7月から全面的な建替工事を行ってまいりましたが、2020年9月に全ての工事が終了し、フルオープンを迎えました。ER部門や手術室、ICUの整備を行い、患者さんの療養環境を整えと共に医師をはじめとする職員の働く環境の改善に配慮して改築を行いました。新病院では職員用のラウンジを設置したり、地域の医療機関や福祉施設との連携を更に強化し、患者さんやそのご家族、地域関係者のご要望に幅広くお応えするために患者支援センターを新設しました。今まで以上に地域の医療介護に携わる皆様と共に連携をしっかりと行い、地域のために役立てるよう努めてまいります。

支援制度

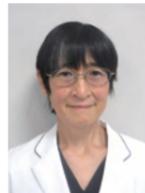
見学補助／あり

住宅補助／あり

宿舎／あり

産休・育休
(研修医の取得実績) / なし

メッセージ



なぜ医師になろうと思ったか初めの気持ちを思い出してみませんか

プログラム責任者
松田 香

なぜ医師になろうと思ったか初めの気持ちを思い出してみませんか。当院では急性期医療を担う地域の病院として、よくある疾患を経験しながら、見逃してはいけない疾患を見分ける研修ができます。また当直ではどの科の医師も一般診療に当たっています。その姿をみて研修医もともに経験してください。さらに院内の医療チームのカンファに参加したり、勉強会を通して力をつけていく機会もあります。患者さんは高齢者や様々な背景を持っていますので病気が治っても退院に向けての多職種を通してのマネジメントが必要です。そうしたなかで医療チームとしての医師の役割を実感してください。2年間の研修の日々のなかで、学生時代にはないダイナミックな経験をしながら、コミュニケーション力、パランス感覚も学んでいくことになるはずですよ。

研修医の出身大学も様々です。大病院ではない規模をいかしてそれぞれの個性や能力を伸ばしながらサポートする体制が整っています。私は医師になって8年目に当院で1年間研修しました。思う存分経験し周りにも助けてもらったことが大きな力になっています。医局にはそんな経験をもった先輩医師たちもいます。新病棟が完成間近で職員士の気も上がっています。初めの気持ちを行動に移すため、長い職業人生のはじまりを私たちと歩み出しましょう。待っています。



切磋琢磨しながら密度の濃い毎日を過ごしています

研修医1年目
相澤 大介

関越病院では、研修がファーストタッチで診療にあたり、実践を通して確かな臨床力を養うことができます。地域に根ざした医療の中で幅広い経験を積むことができ、指導医の手厚いサポートもあり、学びやすい環境です。

研修医同士の仲も良く、切磋琢磨しながら密度の濃い毎日を過ごしています。オンオフの切り替えもしやすく、福利厚生も非常に充実していて働きやすさも魅力です。

研修データ



主な出身大学 北里大学／鹿児島大学／徳島大学／東京医科大学／信州大学／佐賀大学／日本医科大学／埼玉医科大学／昭和大学(現・昭和医科大学)／大阪医科大学(現・大阪医科薬科大学)／筑波大学／琉球大学／鳥取大学／帝京大学／産業医科大学／高知大学／群馬大学／島根大学／日本大学／山形大学／大分大学／弘前大学／京都府立医科大学／山口大学／浜松医科大学／北海道大学／杏林大学／岡山大学／富山大学／滋賀医科大学／九州大学

研修プログラムの特色

昭和49年に開院以来、地域密着医療を行ってきた急性期病院です。診療する疾患は多岐に渡ります。関越病院の理念と方針の下、1次・2次救急医療を昼夜問わずに行っています。また慢性期疾患の外来診療及び訪問診療も充実していて、地域に幅広く貢献しています。このような特徴を持つ当院の臨床研修プログラムは地域医療を担う病院で遭遇するあらゆる疾患のプライマリ・ケアに必要な基本的な知識、技術の習得と、社会人であり、また医師であることの心構えと態度を身に付けることを目的としています。

研修の根幹は「多彩で豊富な症例」で研修すること。指導方針は「指導医とのマンツーマン教育」であり、実際の診療を繰り返し経験し知識・技術を習得します。診療は「チーム医療」であり、様々な職種のパターン職員との触れ合いは人間性を磨く絶好の機会です。

研修スケジュール(年間研修予定(例))												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科			救急科			外科	整形外科	泌尿器科	小児科	精神科	産婦人科
2年次	内科			選択科				地域医療	選択科			

専門研修 プログラム (基幹施設)	内科	外科	小児科	産婦人科	精神科	皮膚科	眼科
	耳鼻咽喉科	泌尿器科	整形外科	脳神経外科	形成外科	救急科	麻酔科
	放射線科	リハビリテーション科	病理	臨床検査	総合診療科		

研修医の処遇

- 給与 / 1年目:400,000円/月、2年目:450,000円/月
- 諸手当 / 日当直手当、食事手当他
- 勤務時間 / 8:30～17:30

- 保険 / 健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険
- 休暇 / 有給休暇、夏季連続休暇、年末年始休暇
- その他 / 賞与別途支給、保養所、ジム等有り



応募連絡先

法人事務局総務課:柳 TEL 049-287-3726

FAX 049-271-2370 Mail k-drecruit@kan-etsu-hospital.or.jp

TEL 049-276-1862 FAX 049-276-2149

URL <https://www.saitama-med.ac.jp/hospital/resident/>

病院データ

※2024年4月～2025年3月の計数

病床数	961床	医師数	410人	指導医数	149人	外来患者数 (1日平均)	1,650人
入院患者数 (1日平均)	690人	救急外来 患者数 (1日平均)	40人	救急車搬送 患者数 (1日平均)	14人	心肺停止状態 搬送患者数 (1日平均)	0.15人

診療科目 血液内科/リウマチ膠原病科/呼吸器内科/消化器内科・肝臓内科/内分泌内科・糖尿病内科/脳神経内科・脳卒中内科/腎臓内科/総合診療内科/感染症科・感染制御科/消化器・一般外科/乳腺腫瘍科/小児外科/麻酔科/小児科/新生児科/産科・婦人科/整形外科・脊椎外科/眼科/耳鼻咽喉科/皮膚科/脳神経外科/形成外科・美容外科/泌尿器科/リハビリテーション科/神経精神科・心療内科/放射線科/放射線腫瘍科/核医学診療科/中央病理診断部/輸血・細胞移植部/予防医学センター/東洋医学科/歯科・口腔外科/救急科/消化管内科/緩和医療科/ゲノム医療科/血管外科/病院診療部

病院の特徴

研修内容の自由度は国内最高水準！埼玉医大で描く理想のキャリアデザイン

真に成長できる環境を求めると、当然こそが最適な選択です。複数の大学病院群で展開するスケールメリットにより、Common diseaseから最先端医療まで多様な症例に出会えます。「研究マインド育成プログラム」では臨床研修と大学院を同時履修し、専門医取得と学位取得を同時に目指せる画期的なシステムを採用(医学部卒業後、すぐに大学院入学が必要ですので、早めにお問い合わせください)。周産期・外科系専門医育成プログラムなど、将来の専門性を見据えた特別コースも充実しています。研修環境も万全で、安定した待遇と快適な個室宿舎環境(2025年に最新Wi-Fiシステムに入れ替え!)を提供し、研修に集中できる条件が整備されています。毎週開催される研修医教育セミナーや実技実習により着実にスキルアップを図れます。多様な大学出身者が切磋琢磨しながら成長し、自分らしい研修プログラムを設計して最短で複数の専門医取得へとつなげられる理想的な研修病院です。

支援制度

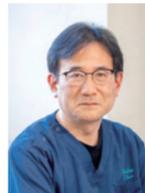
見学補助/あり

住宅補助/あり

宿舎/あり

産休・育休
(研修医の取得実績) /あり

メッセージ



埼玉医科大学病院の初期研修で、医師としての確かな一歩を踏み出しましたか

研修管理委員会委員長
井上 勉
出身大学:埼玉医科大学

1972年の開設以来、多くの臨床医を育ててきた当院には、皆さんの成長を支える3つの強みがあります。①臨床と教育の融合:教育に情熱を注ぐスタッフが、実践的な指導を通じて成長をサポートします。②理想的な症例バランス:大学病院の高度医療とプライマリ・ケアを両立するハイブリッド型環境で、幅広い疾患への対応力を養えます。③将来を見据えたプログラム:5つの特色ある研修コースから選択でき、2025年からは「基礎研究医プログラム」も加わります。研修医生活の基盤となる環境も充実しています。セキュリティの高い研修室、個人デスク、ロッカー、快適な当直室・シャワールームを整備しています。全国から集まる仲間と切磋琢磨しながら、医師としての基礎を固める2年間を共に過ごしましょう。病院見学は随時歓迎します。



大学病院の手厚いサポートで仲間たちと充実した研修生活を

研修医2年目
村山 賢大
出身大学:埼玉医科大学(2024年卒)

私は在学時から内科疾患と精神科疾患の合併症例に対する医療に興味があり、そのために必要な知識や経験を得ることができる病院で研修がしたいと考えていました。その点、埼玉医科大学病院は在学時の実習での経験から内科、精神科の両分野で手厚い教育体制が整っていることが分かっていましたし、研修医の段階で将来を見据えた学びを得ることができる場所だと確信していたため、埼玉医科大学病院を研修先として選びました。1年目は必修科目を中心としたローテーションで研修を行いました。非常に充実した毎日を送ることができました。どの科でも先生方に熱心かつ丁寧な指導をいただきながら各領域の基礎的な部分からしっかり学ぶことができ、研修医としての地力が付いてきているのを実感できました。また、同期も40人近くおり、症例についてのディスカッションをしたりして互いに切磋琢磨し合える環境であることも大きな魅力に感じています。

研修データ

初期研修医数 (1年目)	42人	初期研修医数 (2年目)	41人	昨年度 マッチング 受験者数	153人	募集人数	55人
当直日数 (月平均)	4日	当直 開始時期	1年目5月	当直時の 勤務体制*	2人	※研修医以外の当直人数	

主な出身大学 埼玉医科大学/山形大学/日本大学/愛知医科大学/杏林大学/金沢医科大学/金沢大学/山口大学/山梨大学/四川大学/順天堂大学/昭和大学(現・昭和医科大学)/信州大学/新潟大学/聖マリアンナ医科大学/川崎医科大学/中国復旦大学/長崎大学/鳥取大学/東海大学/東邦大学/東北医科薬科大学/東北大学/日本医科大学/浜松医科大学/福島県立医科大学

研修プログラムの特色

●3病院自由選択PGは、ローテーション診療科選択の際の自由度が高く、研修医の希望を最大限に取り入れることが出来るオーダーメイドプログラムです。それぞれ特色を持つ本学3病院の各診療科で自由に研修をすることが可能です。●研究マインド育成自由選択PGは、3病院自由選択PG同様に自由度が高く、同時に社会人大学院生としての講義、研究を行う充実したプログラムです。●総合医育成広域連携病院自由選択PGは、本学3病院での研修に加え、2年目に他大学の大学病院でも研修ができ、幅広い経験ができる選択肢の広いプログラムです。●周産期・成育医療専門医自由選択PGは、将来、周産期医療・成育医療を志す研修医のための特別プログラムで、2年目に他大学の大学病院等でも研修が可能です。●外科系PGは、外科専門医取得に重点をおき消化器外科を必須とし心臓外科、呼吸器外科、乳腺外科、小児外科での研修を選択できる特別プログラムです。

研修スケジュール(年間研修予定(例))		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	導入研修	内科							救急科(12週、うち4週を麻酔科選択可能)		外科	小児科	
2年次	産婦人科	精神科	地域医療	自由選択科									

※当院で最も定員の多い代表的なプログラム(3病院自由選択プログラム定員38名)です。埼玉医科大学病院、埼玉医科大学総合医療センター、埼玉医科大学国際医療センターの3病院で1年目必修科目から自由に研修を行うことが出来ます。

専門研修 プログラム (基幹施設)	内科	外科	小児科	産婦人科	精神科	皮膚科	眼科
	耳鼻咽喉科	泌尿器科	整形外科	脳神経外科	形成外科	救急科	麻酔科
	放射線科	リハビリテーション科	病理	臨床検査	総合診療科		

研修医の処遇

- 給 与 / 1年目:36万円/月(基本給25万円/諸手当/賞与含む平均月額給与)
2年目:36万円/月(基本給25万円/諸手当/賞与含む平均月額給与)
- 諸 手 当 / 日・当直手当、時間外手当、住宅手当、通勤手当、扶養手当
- 勤務時間 / 8:30~17:30

- 保 険 / 日本私立学校振興・共済事業団・雇用保険、労災保険、医師賠償保険(個人加入/義務)
- 休 暇 / 原則、1日9休制、有給休暇(1年次:10日、2年次:11日)
- そ の 他 / 賞与:前年度実績50万円/年
白衣貸与(クリーニングは病院負担)、研修医個人専用の机・ロッカー、仮眠室・シャワールーム(男女別)、電子カルテ、共有PC(インターネット接続可能)



応募連絡先

埼玉医科大学病院 臨床研修センター事務室 TEL 049-276-1862(直通)

FAX 049-276-2149

Mail kenshui@saitama-med.ac.jp

TEL 0493-72-2333(代表) FAX 0493-72-2755

URL <https://www.ogawa.jrc.or.jp/>

病院データ

※2024年4月～2025年3月の計数

病床数	302床	医師数	33人	指導医数	10人	外来患者数 (1日平均)	471人
入院患者数 (1日平均)	179人	救急外来 患者数 (1日平均)	7人	救急車搬送 患者数 (1日平均)	7人	心肺停止状態 搬送患者数 (1日平均)	0.15人

診療科目 内科／循環器科／呼吸器科／リウマチ科／神経内科／血液内科／腎臓内科／内分泌・糖尿病内科／精神科／外科／乳腺・内分泌外科／消化器科／整形外科／脳神経外科／皮膚科／泌尿器科／婦人科／眼科／耳鼻咽喉科／放射線科／麻酔科／リハビリテーション科

病院の特徴

地域に密着した医療

小川赤十字病院は埼玉県西部に位置し、病棟からは外秩父が一望できる緑豊かな環境に立地しております。昭和14年に開設されて以来、80年以上の歴史を通じて、地域に密着した医療を続けてきました。急性期医療及び二次救急を中心としておりますが、周辺医療機関との連携や訪問看護にも取り組んでおります。また、赤十字病院として、救護班(医療チーム)を被災地へ派遣するなど、災害に備えた体制を整え、定期的な災害救護訓練も実施しております。

支援制度

見学補助／なし

住宅補助／あり

宿舎／なし

産休・育休
(研修医の取得実績)／なし

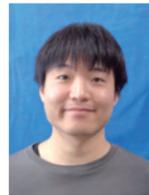
メッセージ



研修責任者からのメッセージ

臨床研修委員長
吉田 佳弘
出身大学：埼玉医科大学

地域の中核病院で積極的、意欲的に臨床研修をしたいと考えている方を歓迎します。全人的な医療、プライマリ・ケアの研修により幅広い臨床能力を身につけることができます。災害救護のトレーニングも可能です。小川赤十字病院の研修プログラムは、選択枠が広く、研修医の方の希望に沿うことができます。また、救急医療・産婦人科・小児科・精神科は埼玉医科大学病院での研修になります。各専門分野の指導医、専門医が揃っておりますので、ぜひ一度見学においでください。



先輩研修医の声

研修医2年目
中本 啓太郎
出身大学：北里大学(2024年卒)

当院の初期研修医は1学年2名で計4名と少人数のため、手技の練習や病棟業務・症例検討など互いに協力し、助け合いながら研修を行っています(2025年度は2年目研修医のみ)。病棟での研修は、指導医の先生との距離感が近く、密に連絡や相談ができる環境なので親身になって教えて頂いております。生活面では、水がきれいで山川のレジャーが盛んであり、近くに温泉もあるため仕事終わりに立ち寄ることも出来ます。地方の市中病院に興味がある方はぜひ一度見学にお越しください。

研修データ

初期研修医数 (1年目)	0人	初期研修医数 (2年目)	2人	昨年度 マッチング 受験者数	1人	募集人数	2人
当直日数 (月平均)	4日	当直 開始時期	1年目10月	当直時の 勤務体制※ ※研修医以外の当直人数	1~2人		

主な出身大学 名古屋市立大学／北里大学／日本大学／帝京大学／千葉大学／杏林大学

研修プログラムの特色

地域の中核的な役割を担う公的病院であり、初診から最終転帰に至るまで当院で一貫して診察を行うケースも多く、全人的な医療、プライマリ・ケアを研修することに適している環境にあります。赤十字病院として災害救護訓練を行っています。1年目は内科・外科の研修にて基礎力を磨き、2年目は研修医の希望により柔軟な対応が可能となっております。小川赤十字病院での臨床研修の目標は、赤十字の使命である「人道」に基づき展開される全人的医療を行う中で、医療機関・医師の社会的役割について十分な認識を深め、将来にわたり必要となってくる基本的診察能力(知識・技能・基本的態度)及び医師としての人格の涵養です。

研修スケジュール(年間研修予定(例))

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						麻酔科	外科	選択科			
2年次	選択科	小児科	産婦人科	救急科	地域医療	精神科	救急科	選択科				

専門研修 プログラム (基幹施設)	内科	外科	小児科	産婦人科	精神科	皮膚科	眼科
	耳鼻咽喉科	泌尿器科	整形外科	脳神経外科	形成外科	救急科	麻酔科
	放射線科	リハビリテーション科	病理	臨床検査	総合診療科		

研修医の処遇

- 給与 / 1年目：約400,000円/月、2年目：約450,000円/月
1年目：4,200,000円/年、2年目：6,100,000円/年
- 諸手当 / 時間外手当、当直手当、通勤手当、住居手当(賃貸の場合)、勤動手当(年2回)
- 勤務時間 / 8:30～17:15

- 保険 / 埼玉県医師会健康保険組合、厚生年金保険、雇用保険あり、労災保険、厚生年金基金等企業年金なし、医師賠償責任保険(病院において加入)
- 休暇 / 有休休暇(1年目：15日、2年目21日)、夏季休暇



応募連絡先

人事課：石川・中村

TEL 0493-72-2333(代表)

FAX 0493-72-2755

Mail jinji@ogawa.jrc.or.jp



病院データ

※2024年4月～2025年3月の計数

病床数	470床	医師数	154人	指導医数	47人	外来患者数 (1日平均)	174人
入院患者数 (1日平均)	423人	救急外来 患者数 (1日平均)	62人	救急車搬送 患者数 (1日平均)	27人	心肺停止状態 搬送患者数 (1日平均)	0.9人

診療科目 内科／呼吸器内科／循環器内科／消化器内科／糖尿病内科／内分泌・代謝内科／腎臓内科／神経内科／感染症内科／人工透析内科／緩和ケア内科／外科／呼吸器外科／心臓血管外科／消化器外科／乳腺・内分泌外科／肛門外科／整形外科／脳神経外科／形成外科／精神科／小児科／皮膚科／泌尿器科／婦人科／眼科／耳鼻咽喉科／リハビリテーション科／放射線科／病理診断科／救急科／麻酔科／歯科(33診療科)

病院の特徴

「幅広い初期救急対応能力の習得」「Common diseaseに対する診療能力を身につける」

- 2年間常に救急診療に関わる●救急科研修を1年次に4週×2回、2年次に4週×1回実施。●別途、週1回 半日の救急研修(救急当番)
- 多様な症例に関わる●救急車受入れ台数、約10,000件/年●救急搬送患者・Walk-in患者のファーストタッチは初期研修医
- 技術が身につく●救急外来でのファーストタッチ経験数、約700件/年●CV挿入、気胸に対する脱気・トロッカー挿入、Aライン挿入など基本手技を経験可能●上級医の手厚いバックアップとフィードバックあり●治療方針にも積極的に関与可能
- 多彩な学習機会●各種カンファレンス、セミナーを多数開催●BLS、ICLS、JMECC、JPTEC 資格取得支援あり
- 屋根瓦式教育●上下のつながりが強く、互いに支えあう雰囲気●「教え、教えられる」なかで共に成長できる環境

支援制度

見学補助／なし

住宅補助／あり

宿舎／なし

産休・育休
(研修医の取得実績)／あり

メッセージ



充実の救急科研修で実践力を養う

研修管理委員長／プログラム責任者
杉浦 良子
出身大学：徳島大学

当院は「断らない医療」「患者主体の医療」「地域に根ざし地域に貢献する医療」という3つの理念をもとに、地域の急性期医療を担っています。研修医の先生は救急患者さんの初期対応、必要な検査を組み、治療方針を決めて実践するというところまで上級医の指導のもと、すべてを行っています。他診療科ローテーション中にも救急の当直や日直を担います。2年間を通じて途切れることなく救急診療に携わることで、自ら考え、行動する力が身につきます。また、当院は医師同士の診療科の垣根が低く、みな教育熱心でフレンドリーです。研修中に困ったことがあれば診療科を越えて誰にでも相談できます。是非一度見学にお越しください。お待ちしております。



初期対応と手技が磨ける研修環境

研修医1年目
下川 風悠大
出身大学：埼玉医科大学(2025年卒)

救急外来でのファーストタッチは研修医が担当しており、その経験数は年間約700件にのびます。また、CV挿入、気管挿管、Aライン、胸腔・腹腔穿刺などの基本手技に加え、侵襲度の高い処置や手術も教育熱心な上級医の指導のもとで行うことができます。「3年目以降に当直しても困らない力をつける」「Common diseaseを診療できるようになる」ことを目標としていた私は、救急科研修に加え、週1回の救急当番や当直に参加できる点に大きな魅力を感じました。実際に、日々の業務を通じて初期対応の知識と技術の向上を実感しています。「Common diseaseを診たい」「手技や救急を多く経験したい」と考えている方、ぜひ当院での研修を検討してみませんか。

研修データ

初期研修医数
(1年目)

10人

初期研修医数
(2年目)

10人

昨年度
マッチング
受験者数

69人

募集人数

10人

当直日数
(月平均)

4~6日

当直
開始時期

1年目4月

当直時の
勤務体制*

2人

主な
出身大学

【2025年度入職 -10名-】埼玉医科大学／筑波大学／帝京大学／東海大学／東京女子医科大学／新潟大学／三重大学
【2024年度入職 -10名-】秋田大学／岩手医科大学／高知大学／佐賀大学／信州大学／東京医科大学／獨協医科大学／福島県立医科大学

研修プログラムの特色

患者中心の医療を行い地域社会に貢献する医師となるべく、「医師としての良識とチーム医療を実践できる能力を身に着けること」「将来専門とする分野にかかわらず、医師として必要な診療に関する基本的知識、技術、問題解決力を習得すること」を研修の理念としています。地域の中核的な超急性期病院である当院では、救急患者や緊急入院が多く、また複数の医学的問題を抱えた高齢者の入院が多いことが特徴の一つです。臓器にとられない「Generalist」の視点で救急から入院初療、退院まで一貫して関わり、退院後のケアや患者家族の心情までも配慮できる「主治医としてのマネジメント能力」の礎となる研修を行っています。

研修スケジュール(年間研修予定(例))

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科(24週:総合診療科8週、消化器内科8週、循環器内科8週)					外科 (8週:消化器外科+乳腺+内分泌外科)		外科系	救急科	自由選択		
2年次	集中 治療科	救急科	地域医療	小児科	産婦人科	精神科	自由選択					

■ローテーションは研修医ごとに異なる■1年次研修内容は2年次4月未まで必須「救急科」研修に加え、週1回 半日の「救急科」並行研修(救急当番)を2年間通して実施■外科系(4週)※右記より選択:整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、泌尿器科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、救急外科■「小児科」「産婦人科」「精神科」「地域医療」は連携施設病院で研修■自由選択(1年次8週:4週×2+2年次最大28週)※右記より選択(最低1診療科4週以上):総合診療科、腎臓内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、糖尿病/内分泌・代謝内科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、整形外科、脳神経外科、救急科、心臓血管外科、形成外科、麻酔科、泌尿器科、リハビリテーション科、集中治療科、救急外科

専門研修
プログラム
(基幹施設)

内科	外科	小児科	産婦人科	精神科	皮膚科	眼科
耳鼻咽喉科	泌尿器科	整形外科	脳神経外科	形成外科	救急科	麻酔科
放射線科	リハビリテーション科	病理	臨床検査	総合診療科		

研修医の処遇

- 給与 / 1年目:40万円/月 2年目:45万円/月
- 諸手当 / 当直・日直手当、時間外手当、通勤手当、扶養手当(規定に準ずる)
- 勤務時間 / 8:30~17:00

- 保険 / 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
- 休暇 / 1ヶ月単位の変形労働制(公休 8日/月 ※1月のみ 9日)/当直明け休暇/夏季休暇(2日)/有給休暇(1年次 10日/2年次 11日)/慶弔休暇
- その他 / 職員専用レストラン、研修医室(自机・書棚)、図書室、学会・研修等の参加費補助(10万円/年)・学会休暇(6日/年)、保養宿泊施設・娯楽施設 など、保育室(0~3才)



応募連絡先

医師人事部 研修管理課:三輪 ゆり枝 TEL 04-2953-6611(代表)

FAX 04-2953-8040 Mail initial-residents@saitama-sekishinkai.org



TEL 042-984-4111 FAX 042-984-0432

URL <https://www.international.saitama-med.ac.jp>

病院データ

※2024年4月～2025年3月の計数



診療科目 脳脊髄腫瘍科/小児腫瘍科/小児外科/造血器腫瘍科/婦人科腫瘍科/泌尿器腫瘍科/乳腺腫瘍科/皮膚腫瘍科/骨軟部組織腫瘍科/頭頸部腫瘍科/形成外科/緩和医療科/精神腫瘍科/放射線腫瘍科/病理診断科/腫瘍内科/消化器腫瘍科/消化器内視鏡科/上部消化管外科/下部消化管外科/肝胆脾外科/呼吸器内科/呼吸器外科/心臓内科/不整脈科/心臓血管外科/小児心臓外科/小児心臓科/救命救急科/地域医療科/脳卒中内科/脳卒中外科/脳血管内治療科/画像診断科/核医学科/リハビリテーション科/麻酔科/集中治療科

病院の特徴

大学病院と市中病院の「いいとこどり」ができる!さらに、少人数制で学閥はなし!手厚い指導が受けられる!

埼玉県西部を中心に県全域を守備範囲とする「がん・心臓病・脳卒中・救急」に強い病院です。1年次から埼玉医科大学病院、埼玉医科大学総合医療センターを含む18の協力型臨床研修病院で研修できるため学べない分野が一切なく「大学病院」「市中病院」それぞれの良さを実感できると研修医に好評です。当院での研修は最短9ヶ月でも可能(但し、地域医療研修を3ヶ月行う必要あり)なので、いろいろな施設でその施設の得意な分野の研修を積みたい人にはお薦めです。また、ローテーション変更にも柔軟に対応します。さらに、当院は埼玉医科大学の関連施設ですが特定の大学に偏ることなく、全国各地から各分野のスペシャリストが集まっている病院で、学閥はありません。初期研修のうちからスペシャリストのもとで学ぶことは難しいと感じる方もいるかもしれませんが、ほとんどの診療科で月毎の定員を2名とし少人数制での手厚い指導を受けることができます。

支援制度

見学補助/あり

住宅補助/あり

宿舎/あり

産休・育休
(研修医の取得実績) /あり

メッセージ



国際水準の大学病院と市中病院の「いいとこどり」ができるプログラムです!

プログラム責任者 地域医療科・消化器内科教授
眞下 由美
出身大学:埼玉医科大学

当院は、がん・心臓病・脳卒中を含む救命救急の3センターで構成され、全国屈指の症例数を誇っています。埼玉県西部を中心に埼玉県全域を守備範囲とする、優れた人材と豊富な医療資源に裏打ちされた国際水準での高度専門医療機関であり、将来ジェネラリストとしても、エキスパートとしても活躍できる医師を育てます。

埼玉医科大学3病院(日高・毛呂山・川越)に限らず、連携する施設の診療科を、将来像に合わせて自由に選択出来、各病院のストロングポイントを取得出来る3つのプログラムを有しています。

変化する環境で挑戦する君たち研修医のニーズに合わせることを意識したプログラムです。大学病院だけでは物足りない、市中病院だけでは不安、そんな君たち。

当院の「いいとこどり」プログラムで、専門医取得、その先の学位取得、海外留学等を見据え、埼玉医科大学国際医療センター(日高)で医師の第一歩をはじめませんか。



幅広い知識と確かな技術、手厚い指導で成長を実感できる

研修医2年目
鈴木 比奈子
出身大学:東海大学(2024年卒)

急性期病院であり、がん・心臓・脳卒中・救急領域において高度な医療を提供している当院は、基本的な診療スキルから専門性の高い医療まで幅広く学ぶことができます。病棟管理や急変・救急対応、専門性の高い治療についての疑問や相談も、指導医の先生方が丁寧に手厚く指導していただくため、日々の研修で学びが多く大変充実しています。さらに、症例数の多い当院では研修医でも多くの手技や手術を経験できる点も魅力です。また、離島等での地域研修ではCommon diseaseが多く、限られた医療資源を有効に活用した地域密着型の診療も経験できます。

当院は、協力型臨床研修病院を含め、比較的自由にローテーションを組むことができます。同じ診療科でも施設ごとに得意とする分野が異なるため、興味に合わせて選択することが可能です。

当院の研修医の出身大学は様々で、他施設の研修医との交流もあるため情報共有しながら刺激ももらっています。

研修データ



主な出身大学 埼玉医科大学/愛知医科大学/大分大学/大阪公立大学/鹿児島大学/岐阜大学/群馬大学/国際医療福祉大学/産業医科大学/昭和医科大学/島根大学/東海大学/獨協医科大学/日本大学/弘前大学/福井大学/山形大学

研修プログラムの特色

埼玉医科大学国際医療センターの臨床研修は、豊富な症例と医療資源を活かし、ジェネラリスト・エキスパート両方を目指す病院です。困難な疾患への対応力やcommon diseaseの経験も積めます。また、埼玉医科大学国際医療センターの臨床研修プログラムは下記3つの研修プログラムがあり、埼玉医科大学の3病院に限らず、連携する施設の診療科を自由に選べる「3病院自由選択」、外科専門医を最短で目指す「特設外科系」、大学院と並行して学位取得を目指す「研究マインド育成自由選択」があります。・3病院自由選択プログラム:将来像にあわせて研修医が自由に診療科を選べる。・特設外科系プログラム:最短で外科専門医を取得できるよう、適切な判断ができる外科系医師を育成する。・研究マインド育成自由選択プログラム:臨床研修と大学院を同時に学び、卒業4年目または5年目終了時に学位を取得する。

研修スケジュール(年間研修予定(例))		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	導入研修	内科							救急科		産婦人科	小児科	
2年次	外科	精神科	地域医療	選択科									

※ローテーションは順不同(希望制)※詳細は埼玉医科大学国際医療センター臨床研修センターホームページ参照

専門研修 プログラム (基幹施設)	内科	外科	小児科	産婦人科	精神科	皮膚科	眼科
	耳鼻咽喉科	泌尿器科	整形外科	脳神経外科	形成外科	救急科	麻酔科
	放射線科	リハビリテーション科	病理	臨床検査	総合診療科		

研修医の処遇

- 給与 / 1年目:36万円/月(基本給25万円/諸手当/賞与含む平均月額給与)円
2年目:36万円/月(基本給25万円/諸手当/賞与含む平均月額給与)円
- 諸手当 / 日・当直手当、時間外手当、通勤手当、住宅手当、扶養手当
- 勤務時間 / 8:30~17:30

- 保険 / 日本私立学校振興・共済事業団・雇用保険、労災保険、医師賠償保険(個人加入/義務)
- 休暇 / 原則、1月9日休制/有給休暇(1年次:10日/2年次:11日)
- その他 / 賞与:前年度実績50万円/年
白衣貸与(クリーニングは病院負担)、研修医個人専用の机・ロッカー、仮眠室・シャワールーム(男女別)、電子カルテ、共有PC(インターネット接続可能)



応募連絡先

臨床研修センター:岡田 一観 TEL 042-984-0079

FAX 042-984-0594

Mail imckensh@saitama-med.ac.jp

30

独立行政法人
国立病院機構 **西埼玉中央病院**

359-1151 所沢市若狭2-1671

TEL 04-2948-1111(代表) FAX 04-2948-1121

URL https://nishisaitamachuo.hosp.go.jp/byouin_shoukai.html

病院データ

※2024年4月～2025年3月の計数

病床数	325床	医師数	58人	指導医数	12人	外来患者数 (1日平均)	310人
入院患者数 (1日平均)	168人	救急外来 患者数 (1日平均)	17人	救急車搬送 患者数 (1日平均)	9人	心肺停止状態 搬送患者数 (1日平均)	0人

診療科目 内科／代謝・内分泌内科／神経内科／呼吸器内科／消化器内科／循環器内科／精神科／小児科／外科／整形外科／脳神経外科／皮膚科／泌尿器科／産婦人科
／眼科／耳鼻咽喉科／放射線科／歯科／麻酔科／リハビリテーション科／病理診断科

病院の特徴

緑豊かで心癒される環境で、病む人に心の通う質の高い医療をめざします

埼玉県の南西部で東京都に隣接する所沢市に当院は立地します。施設周辺には、武蔵野の面影を色濃く残す林や畑が広がっており、緑豊かで心癒される環境です。「病む人に心の通う質の高い医療をめざします」の基本理念のもとに、安全で質の高いより良い医療を提供し、信頼され安心して受診できる病院を目標としています。そのために「職員は常に研鑽に励み、安全な医療を提供すること」「医療を受ける権利を尊重し、心のこもった支援をめざすこと」「周辺の医療機関と連携し、安定した医療をめざすこと」を方針として掲げ、職員皆で実現に向けて力を合わせています。また、当院は二次救急を担う一般急性期中核病院です。2018年からNICUを再開し、近隣から積極的な受け入れを行っております。

支援制度

見学補助／－

住宅補助／なし

宿舎／あり

産休・育休
(研修医の取得実績) /－

メッセージ



少人数ならではの良さがあります

教育研修部長
二上 敏樹
出身大学：東京慈恵会医科大学

多くの同期生で競い合うような研修環境とはいえませんが、少人数ならではの良さがあると考えています。どちらかというと他人のペースにあまり影響されずじっくりと歩みを進めていきたい、というようなタイプの人にも、当院での研修はマッチするのではないのでしょうか。初めは分からないことばかりだと思います。遠慮なく周りのスタッフに相談してみてください。快く対応してくれるはずです。医師という仕事をしていくうえで基本となる考え方を少しずつ身につけ、今後の方向性を模索していく、有意義な2年間で過ごせるように願っています。四季の移ろいを感じ取れる豊かな緑に囲まれた当院で、私たちと一緒に仕事をしましょう。お待ちしております。



個人の希望に応じて研修環境を柔軟に対応できることが特徴です

研修医2年目
高津 壮生
出身大学：東北医科薬科大学(2024年卒)

当院の研修プログラムは個人の希望に応じて研修環境を柔軟に対応できることが特徴です。指導医の先生方は皆指導熱心で、やる気があれば様々な経験を積むことができます。また研修医の数が少ないので手技を学ぶ機会にも溢れています。院内で経験することが難しい診療科は連携病院で研修できるようプログラムされています。当直では、必ず上級医の先生と一緒に診療を行います。ファーストタッチは研修医にやらせてもらえますが、上級医からのフィードバックもあるので、安心して診療にあたることができます。当院で理想の研修生活を送ってみたい方は是非見学に来てみてください。

研修データ

初期研修医数 (1年目)	3人	初期研修医数 (2年目)	3人	昨年度 マッチング 受験者数	9人	募集人数	3人
当直日数 (月平均)	2日	当直 開始時期	1年目5月	当直時の 勤務体制※ ※研修医以外の当直人数	4人		

主な出身大学 香川大学／群馬大学／日本大学／産業医科大学／旭川医科大学／富山大学／帝京大学／浜松医科大学／徳島大学／昭和大学(現・昭和医科大学)／東海大学／藤田保健衛生大学(現・藤田医科大学)／中国医科大学／信州大学／千葉大学／北海道大学／福井大学／山口大学／順天堂大学／宮崎大学／新潟大学／東北薬科大学(現・東北医科薬科大学)／徳島大学 等

研修プログラムの特色

当院は「病む人に心の通う質の高い医療をめざします」の基本理念のもとに、安全で質の高いより良い医療を提供し、信頼され安心して受診できる病院を目指しています。基本理念実現のために「職員は常に研鑽に励み、安全な医療を提供すること」「医療を受ける権利を尊重し、心のこもった支援をめざすこと」「周辺の医療機関と連携し、安定した医療をめざすこと」を方針として掲げています。これらを達成するには職員各々の努力が必要となってきます。当院の諸先輩が培ってきたものを学ぶ機会が多くあります。研修医だからではなく、医師として何をすべきか、考え抜く力を身につける研修プログラムとなっています。

研修スケジュール(年間研修予定(例))												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科(循環器8週・消化器8週・代謝/内分泌8週・呼吸器(院外)4週・神経内科(院外)4週)								産婦人科	外科	麻酔科 (院外)	小児科
2年次	救命救急科 (院外)		放射線科 (院外)		地域医療 (院外)		選択※					

※上記プログラムの内科、産婦人科、外科、小児科、救命救急科、精神科に加えて院内：泌尿器科、放射線科、耳鼻咽喉科 院外：神経内科(東埼玉病院・災害医療センター)から選択

専門研修 プログラム (基幹施設)	内科	外科	小児科	産婦人科	精神科	皮膚科	眼科
	耳鼻咽喉科	泌尿器科	整形外科	脳神経外科	形成外科	救急科	麻酔科
	放射線科	リハビリテーション科	病理	臨床検査	総合診療科		

研修医の処遇

- 給与 / 1,2年目ともに590,000円/月
- 諸手当 / 超過勤務手当、宿日直手当(1回2万円)、通勤手当(支給条件有、上限有)
- 勤務時間 / 8:30～17:15

- 保険 / 健康保険、厚生年金、雇用保険
- 休暇 / 有給：年次休暇、リフレッシュ休暇、病気休暇等
無給：結婚休暇、産前産後休暇等
- その他 / 身分：非常勤職員
研修医室、研修医当直室、院内保育所、健康診断(年2回)、インフルエンザワクチン接種無料



応募連絡先

事務部 管理課：職員係長 坂田 TEL 04-2948-1111(代表)

FAX 04-2948-1121

Mail 208-jinji@mail.hosp.go.jp



**病院データ**

※2024年4月～2025年3月の計数

病床数	391床	医師数	50人	指導医数	11人	外来患者数 (1日平均)	622人
入院患者数 (1日平均)	391人	救急外来 患者数 (1日平均)	164人	救急車搬送 患者数 (1日平均)	13人	心肺停止状態 搬送患者数 (1日平均)	-人

診療科目 内科／呼吸器内科／循環器内科／消化器内科／血液内科／神経内科／漢方内科／外科／呼吸器外科／心臓血管外科／消化器外科／乳腺外科／整形外科／脳神経外科／形成外科／精神科／小児科／皮膚科／泌尿器科／産婦人科／眼科／耳鼻咽喉科／リハビリテーション科／放射線診断科／放射線治療科／病理診断科／臨床検査科／救急科

病院の特徴**地域の中核病院として医療から福祉も担う。臨床医としての哲学を形成していく**

羽生総合病院は埼玉県北部の羽生市に位置し、市の人口5万3千人程を支える地域の中核病院である。また利根川を境に群馬県と隣接している為、県外からの救急搬送患者も日夜受け入れを行っている。病床数は391床であり急性期から慢性期までの幅広い患者層を対象としており、初期臨床研修では救急搬送患者を始めウォークインや他院からの紹介患者等、非常に多くの症例を経験することができる。

支援制度

見学補助／あり

住宅補助／あり

宿舎／あり

産休・育休
(研修医の取得実績)／あり**メッセージ****各診療科の垣根が低いのが特徴**

院長
高橋 暁行
出身大学：慶應義塾大学

羽生総合病院は小回りのきく病院で、各診療科の垣根がないのが特徴です。そのため、ある診療科にローテーションしているときに、別の診療科の医師に相談したり、質問したりすることもできます。少人数なのでフレキシブルにローテーションを変更することもでき、研修医一人ひとりの『学びたい!』をバックアップする事も可能です。マイペースで医師としての基礎を身に付けていきたいという人には、向いている病院だと思います。一緒に成長していきましょう。

**自由な診療研修**

研修医2年目
小澤 樹
出身大学：秋田大学(2024年卒)

研修医は少人数なので、手技や治療方針など上級医から丁寧な指導を受けられます。先生にあらかじめやりたい手技を伝えておけば、声をかけてくれるので、様々な手技の獲得に繋がります。各科の先生や上級医との垣根も低く、分からないことや不安なことがあったときは気軽に相談できる環境です。救急対応の際も検査オーダー、鑑別疾患、治療方針を自分で考えた上で上級医の先生と相談してフィードバックを受けるので非常に勉強になります。是非一度見学に来てみてください!

研修データ初期研修医数
(1年目)**7人**初期研修医数
(2年目)**8人**昨年度
マッチング
受験者数**23人**

募集人数

8人当直日数
(月平均)**1~2日
(2年次)**当直
開始時期**1年次は
準夜勤のみ**当直時の
勤務体制***3人**
*研修医以外の当直人数

主な出身大学 群馬大学／福島県立医科大学／九州大学／日本大学／昭和大学(現・昭和医科大学)／秋田大学／日本医科大学／東京医科大学／福島大学／帝京大学／埼玉医科大学

研修プログラムの特色

羽生総合病院の研修プログラムは臨床医としての哲学形成をしてゆく事を目的としています。狭い専門領域の知識を得るのではなく、臨床医として必要とされる基本的知識・考え・手技を身に付けることを重点に置き、さらに患者および他の医療従事者との円滑なコミュニケーションを図ります。研修は、救急医療とプライマリ・ケアを基盤としたスーパーローテーション方式にて行います。このプログラムでは内科(24週間)、救急(12週間)、外科(12週間)産婦人科(4週間)、小児科(4週間)を含めた研修を56週間、地域医療研修(徳洲会系列の病院にて8週間)精神科(4週間)の外部研修に合計12週間研修し、その他期間24週間で希望選択科にて研修します。派閥に縛られず自由に研修を組む事が可能です。

研修スケジュール(年間研修予定(例))

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科	産婦人科	麻酔科	内科	外科	救急科	小児科					
2年次	内科or循環器内科	精神科	救急科	地域医療研修	選択科							

専門研修
プログラム
(基幹施設)

内科

外科

小児科

産婦人科

精神科

皮膚科

眼科

耳鼻咽喉科

泌尿器科

整形外科

脳神経外科

形成外科

救急科

麻酔科

放射線科

リハビリテーション科

病理

臨床検査

総合診療科

研修医の処遇

- 給与 / 1年目:308,000円/月、賞与 410,000円/年
2年目:329,000円/月、賞与 658,000円/年
- 諸手当 / 通勤費、住宅手当、家族手当、超過勤務手当、当直手当
- 勤務時間 / 8:00~17:00

- 休暇 / 有給休暇(初年度10日)、リフレッシュ休暇、特別休暇...etc
- その他 / 研修医寮(希望者のみ)、医療費還付制度、クラブ活動助成制度

**応募連絡先**

臨床研修事務局：川口・高橋 TEL 048-562-3000

FAX 048-563-2170 Mail resident_doctor@fureaihos.or.jp



病院データ

※2024年4月～2025年3月の計数



診療科目 内科／消化器内科／循環器内科／呼吸器内科／代謝糖尿病内科／腎臓内科／脳神経内科／外科／呼吸器外科／心臓血管外科／消化器外科／乳腺外科／肛門外科／整形外科／脳神経外科／形成外科／リウマチ科／皮膚科／泌尿器科／婦人科／眼科／耳鼻咽喉科／リハビリテーション科／放射線科／麻酔科／救急科／病理診断科

病院の特徴

医療資源が少ない地域で幅広く多くの症例に対応し地域医療に取り組んでいる病院です。

当院では研修医自ら前面で基本的な手技や診察を行い、それを上級医・指導医が後方から指導します。研修医が自ら経験できる環境です。多くの症例に接し2年間で自分自身の力で診療する能力と幅広いcommon diseaseに対応できる力を身に付けます。選択科目では各専門診療科での研修が可能で3年目以降の進路に沿った専門的な指導も行っていきます。研修に力を入れており、教育熱心な指導医のもと実践の医療を経験できます。一般的な症例から専門領域まで研修医の希望や特性に沿った研修を行います。初期研修医の裁量も大きく、経験を積みたい研修医が様々な大学から集まります。上級医、指導医と日々のコミュニケーションがとれているため相談しやすい環境です。症例数も豊富で積極的に手技が学べます。

支援制度

見学補助／あり

住宅補助／あり

宿舎／あり

産休・育休
(研修医の取得実績)／あり

メッセージ



医学生の皆様へ

統括診療部長兼形成外科部長
信太 薫
出身大学：佐賀大学

研修医の皆さんには、まず、generalistとして、救急の現場でご活躍いただきます。第一線の救急の現場で、様々な患者さんと出会い、指導医とともに、多くの経験を積んでいただきます。当院の指導医は研修医の皆さんとともに治療にあたり、様々な臨床現場での判断を指導、サポートします。研修医の皆さんは、研修期間が終わる頃には多くの様々な救急症例を経験し、救急現場で、ある程度判断、治療できる力がつくようになります。埼玉県利根医療圏は、人口当たりの医師数が大変少ない医療圏です。地域の皆さんのために、利根医療圏の救急医療をともに支えていきましょう。研修医の皆さんの限りなき情熱が新久喜総合病院の活力となり、地域医療を支える原動力となっていくのです。研修医の皆さんは、救急チーム医療の、そして、新久喜総合病院のかけがえないメンバーです。



幅広く多くの症例を経験できる研修

研修医1年目
木村 綾佑
出身大学：山口大学(2025年卒)

大学で実習など取り組む中で診療に携わり自分自身で実際に経験することが向いていると感じ研修医の裁量が大きいと言われている病院を中心に見学に行きました。新久喜総合病院は理想通りの環境で研修医の先生がファーストタッチから患者さんの診療を行い上級医に相談しながらテキパキと対応されている姿を見てこの病院で研修したいと思い面接を受けました。この病院は医療資源が少ない地域にあり、研修医も疾患の幅も広く軽傷から重症まで多くの症例に対応する必要があります。そのため、悩みながら、考えながら、手を動かしながら、と忙しい日々ですが、ふと振り返ると成長している実感を得ることができます。内科、外科、救急科は基幹型のプログラムがあるので基本的な診療はもちろんですが将来の専攻に沿った専門的な診療も経験することが出来る環境です。

研修データ



主な出身大学 産業医科大学／福島県立医科大学／秋田大学／埼玉医科大学／筑波大学／新潟大学／旭川医科大学／群馬大学／帝京大学／山梨大学／金沢大学／長崎大学／東京女子医科大学／千葉大学／島根大学／福岡大学／岐阜大学／金沢医科大学／東北大学／獨協医科大学／日本大学／順天堂大学／昭和大学(現・昭和医科大学)／聖マリアンナ医科大学／広島大学／弘前大学／岩手医科大学／信州大学／大分大学／国際医療福祉大学／鹿児島大学／琉球大学／東京医科大学／東海大学／徳島大学／東邦大学／山口大学

研修プログラムの特色

新久喜総合病院は医師が少ない埼玉県の中でも更に医師少数区域と言われている医療圏に位置しています。地域医療に取り組む環境で当院の研修医は雑用ではなく医師としての仕事を行います。プライマリ・ケアの基本的診療能力を習得し、2年間の経験で1人で診療を行い対応できる能力を身に付け、ジェネラルの対応を求められる場面でも初期診療を行える医師を目指して頂きます。また、選択科目の期間に研修医の希望によって専門の診療科での研修も行える環境です。当院は内科・外科・救急科において新専門医制度の基幹施設です。また、形成外科・脳神経外科・整形外科・放射線科においては連携施設として3年目以降を見据えた研修も可能です。救急やベッドサイドなど現場を中心として研修医自身が経験でき、よりよい研修となるように取り組んでいます。

研修スケジュール(年間研修予定(例))

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	オリエンテーション	内科				救急科	外科	麻酔科	精神科	外科系		
2年次	内科		産婦人科	小児科	地域医療	外部研修	選択科					

専門研修プログラム(基幹施設)

内科	外科	小児科	産婦人科	精神科	皮膚科	眼科
耳鼻咽喉科	泌尿器科	整形外科	脳神経外科	形成外科	救急科	麻酔科
放射線科	リハビリテーション科	病理	臨床検査	総合診療科		

研修医の処遇

- 給与 / 1年目:6,000,000~7,000,000円/年
2年目:6,500,000~7,500,000円/年
- 諸手当 / 家賃補助等
- 勤務時間 / 8:00~17:00

- 保険 / 組合健保、厚生年金保険、雇用保険、労災保険等
- 休暇 / 有給休暇(1年次10日・2年次11日)、夏季冬季休暇(3日)
- その他 / 学会参加費用補助、入職時引越費用補助等

応募連絡先

臨床研修担当：松永

TEL 0480-26-0033

FAX 0480-44-8026

Mail kukijinji@shinkuki-hp.jp



病院データ

※2024年4月～2025年3月の計数



診療科目 内科／呼吸器内科／消化器内科／脳神経内科／糖尿病・内分泌内科／腎臓内科／血液内科／循環器内科／小児科／外科／呼吸器外科／乳腺外科／心臓血管外科／脳神経外科／泌尿器科／耳鼻咽喉科／眼科／皮膚科／整形外科／形成外科／救急科／リハビリテーション科／放射線科／麻酔科

病院の特徴

早期に多様な症例に触れ、視野を広げる機会を提供

当院は埼玉県の北東部に位置し、利根医療圏に属しています。当地域は医師偏在化指数において最も低い地域ですが、当院はその中で中核病院として地域医療の最も重要な担い手です。従って、あらゆる疾病をその最初から治療による変遷、効果まで見届けることのできる環境にあります。勿論臨床研修では一人ひとりの患者さんの病態生理にどれだけ肉薄できるかが問われていますから、上級医と議論しながらこのプロセスをどれだけ深化させられるかが重要です。当院ではそれが可能です。手技的な習得は本人の積極性にもよりますが、救命救急センターも設置しており、CVカテーテルの挿入や挿管等は基本的なこととして習熟できるでしょう。

また、研修医の意見を取り入れて、オリエンテーションの内容を充実させたり、研修医からのアイデアで始まった各科上級医との茶話会など、当院では研修医の要望にフレキシブルに対応しています。そのため、自分達で研修をより充実したものにすることが可能です。

支援制度

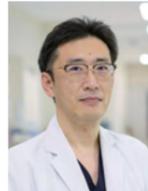
見学補助／なし

住宅補助／あり

宿舎／あり

産休・育休
(研修医の取得実績)／あり

メッセージ



一步踏み出す勇気を応援します

救命救急センター長・救急医学科担当部長
速水 宏樹
出身大学：東北大学

臨床研修は、医師として大きく羽ばたくための第一歩です。知識や技術を学ぶだけではなく、患者さんや仲間との出会いを通じて、人としての成長を実感できる貴重な時間でもあります。研修中には戸惑いや不安があるかもしれませんが、大事なのは、失敗を恐れずどんどん前へ出て、積極的に行動する姿勢です。私たち指導医・スタッフは、みなさんが安心して研修できるよう全力で支えます。

研修医の要望に応じて昨年は『症例検討会』『救急当直の振り返り』などの勉強会を行いました。研修医の意見を毎年反映させたオリエンテーションも用意しています。研修の主役として研修医自身の意見が反映されやすいことは当院の特徴です。うれしいことに見学者も志願者も年々増えてきております。ぜひ当院に見学に来てみてください。お待ちしております。

柔軟な研修体制と風通しの良い雰囲気が魅力

研修医1年目
本間 愛理
出身大学：獨協医科大学(2025年卒)

当院入職後のオリエンテーションや、勉強会の内容は、研修医の意見を反映してフレキシブルに毎年更新されています。4月から5月にかけて、各科の先生方との交流会、『茶話会』が開催されますが、こちらも数年前の先輩のアイデアが取り入れられたものであり、早い段階で各科の雰囲気を知ることができたり、診療科の垣根を越えて質問や相談がしやすい環境が得られ、大変ありがたいものになっています。当院独自の取り組みです。

基本的に、診療科を一人ずつローテーションしますが、上級医の先生方、メディカルスタッフのみなさんの手厚い指導のもと、病棟管理や手技、外来診療など多くの経験を積むことができます。医局では、研修医同士で日々経験した症例について意見交換が行われており、互いに励まし合いながら研修生活を送っています。興味のある方はぜひ一度見学にお越しください。

研修データ



主な出身大学 徳島大学／金沢大学／東北医科薬科大学／順天堂大学／新潟大学／群馬大学／埼玉医科大学／千葉大学／筑波大学／東京女子医科大学／東北大学／獨協医科大学／弘前大学／山形大学／名古屋大学／信州大学／帝京大学など

研修プログラムの特色

研修医のスムーズな業務や当直の開始、院内での意思疎通を図るためオリエンテーションは濃密な内容となっています。研修医の満足度は高く2年目の研修医も時間を見つけて参加しています。Common diseaseをはじめ高齢者救急や重症外傷など重症～軽症の患者を指導医の監督下で幅広く勉強することが可能です。重症者へは初期対応の道筋を立てられること、中等症以下では初期対応から入院指示まで一人で行えることが目標です。特に夜間救急では早くから救急診療や様々な手技に携わるようになります。1年次は医療面接や診察・カルテ記載を学ぶため内科系、救急科、一般外来を中心に研修を開始します。外科手技も理解できるよう外科系診療科も途中でローテーションし、内科系と外科系をバランスよく修得してもらいます。そして当院の状況を十分理解した2年次に、産婦人科、精神科、地域医療と他施設での研修を行うことで病院ごとの違いも体験していただけます。

研修スケジュール(年間研修予定(例))

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	オリエンテーション	内科		麻酔科	救急科	内科		外科		内科		
2年次	小児科	精神科	地域医療	産婦人科	救急科		選択科					

専門研修プログラム
(基幹施設)

内科 外科 小児科 産婦人科 精神科 皮膚科 眼科
耳鼻咽喉科 泌尿器科 整形外科 脳神経外科 形成外科 救急科 麻酔科
放射線科 リハビリテーション科 病理 臨床検査 総合診療科

研修医の処遇

- 給与 / 1年目：およそ350,000円/月(その他賞与など規定により支給)
2年目：およそ417,000円/月(その他賞与など規定により支給)
- 諸手当 / 時間外手当、住宅手当、通勤手当など
- 勤務時間 / 8:30～17:00

- 保険 / 組合健保、厚生年金保険、雇用保険・労災保険、医師賠償責任保険(病院において加入)
- 休暇 / 1年目：10日間(夏季休暇含む)
2年目：17日間(夏季休暇含む)
- その他 / 研修医寮あり、職員用駐車場あり、ワクチン接種、学会等参加費補助あり、院内保育所(病児保育)あり



応募連絡先

臨床研修センター：事務局

TEL 0480-70-0888(代表)

FAX 0480-70-0889

Mail rinken@saikazo.org

TEL 048-552-1111 FAX 048-552-1116

URL <http://gyoda-hp.or.jp>

病院データ

※2024年4月～2025年3月の計数

病床数	504床	医師数	51人	指導医数	17人	外来患者数 (1日平均)	607人
入院患者数 (1日平均)	392人	救急外来 患者数 (1日平均)	24人	救急車搬送 患者数 (1日平均)	15人	心肺停止状態 搬送患者数 (1日平均)	0.35人

診療科目 内科／循環器内科／消化器内科／消化器外科／呼吸器内科／呼吸器外科／腎臓内科／神経内科／リウマチ科／外科／肛門外科／整形外科／脳神経外科／血管外科／皮膚科／泌尿器科／眼科／耳鼻咽喉科／小児科／救急科／麻酔科／放射線科／病理診断科／リハビリテーション科

病院の特徴

働きやすく積極的に手技を学べる環境

当院は地域医療支援病院・災害拠点病院・がん診療指定病院・二次救急指定病院など多くの指定を受けています。医局は、大学からの派遣はなく総合医局制度を敷いているため、診療科の横断的なコミュニケーションが可能でやりたい治療を実践できる環境です。救急は、北部メディカルコントロールの埼玉県救急搬送困難事案受入病院にも指定され、埼玉県北西部・北部の救急搬送の広域を担っているため、受け入れ件数は地域NO.1(年間5,700台以上)であり多様な症例を経験することができます。また、地域のかかりつけ医として感冒や各種諸症状の初期診療の体制も充実しており、ケアミックス型の病院であるため、入院後も急性期から慢性期まで完結型の医療を学べます。

支援制度

見学補助／あり

住宅補助／あり

宿舎／あり

産休・育休
(研修医の取得実績)／あり

メッセージ



共に学び、共に成長していける仲間を求めています

副院長
小島 達自
出身大学:新潟大学

当院は対人口医師数の最も少ない埼玉県北部の医療圏で、急性期から回復期まで幅広い病気に応じて対応するケアミックス型の総合病院です。埼玉県救急搬送困難事案受入病院として救急搬送は年5,700件を超え、二次救急レベルの患者さんを多く経験することが可能です。数年前より1学年5名の研修医を定員として受け入れており、いわゆる屋根瓦方式で1年生は2年生からよく学べる環境です。地域医療支援病院や災害拠点病院として医師が経験し学ぶべき症例が多いこと、研修中の診療科以外にも時間に余裕があれば積極的に患者治療に参加できることが特徴です。学年初頭の1ヶ月は前日の救急症例のカンファレンスが恒例となっており、普段の院内勉強会・研究会も頻繁に行われております。研修医として日々学び、成長しつつ、責任感、積極性、協調性を持って、チームスタッフの一員として働く気概のある先生方の応募をお待ちしております。



雰囲気も良く、オンオフのメリハリがあって、働きやすい環境です

研修医1年目
田中 辰弥
出身大学:帝京大学(2025年卒)

行田と言えば行田総合病院。地域でそう言われている当院では、救急搬送件数も多く、様々な症例を経験することができます。研修医の人数は少ないですが、熱心な指導医の先生方の下、やる気のある精鋭同士で日々切磋琢磨し充実した研修生活を送ることができます。経験できる手技や症例の数も多く、2年間で身につく力は計り知れないでしょう。研修ローテーションについては比較的自由がきく部分が多く、自分の将来に合わせたスケジュールを組むことが可能なことも当院研修の魅力の一つです。我々と一緒に、行田市の、いや、埼玉県の医療を支えてみませんか。是非一度病院見学にお越しください!

研修データ

初期研修医数 (1年目)	5人	初期研修医数 (2年目)	5人	昨年度 マッチング 受験者数	23人	募集人数	5人
当直日数 (月平均)	4日	当直 開始時期	1年目4月	当直時の 勤務体制※ ※研修医以外の当直人数	3~4人		

主な出身大学 弘前大学／富山大学／愛媛大学／産業医科大学／秋田大学／獨協医科大学／帝京大学／昭和大学(現・昭和医科大学)／大阪大学

研修プログラムの特色

埼玉県北部の中核病院の為、症例が集まり、採用する研修医は少人数の為、一人ひとりが多くの手技を経験できる環境にあります。また、外科系の指導医や専門医が多数在籍しているため多角的な視点で指導を受けられます。その他、内科系も各専門医が揃っております。「身近にあって、何でも相談にのってくれる総合的な医療」"プライマリ・ケア"を経験することができます。地域医療の基幹病院として、一般診療、救急外来をととして、プライマリ・ケアを中心に幅広い診療能力を身に付け、チーム医療の一員としての役割を自覚し、医師として必須の人格を涵養することを目指します。

研修スケジュール(年間研修予定(例))

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	導入研修	内科(総合内科8週、循環器内科4週、消化器内科4週)				救急科	外科	産婦人科	精神科	小児科	地域医療	
2年次	内科(総合内科8週)		救急科	外科	選択科							

専門研修
プログラム
(基幹施設)

内科	外科	小児科	産婦人科	精神科	皮膚科	眼科
耳鼻咽喉科	泌尿器科	整形外科	脳神経外科	形成外科	救急科	麻酔科
放射線科	リハビリテーション科	病理	臨床検査	総合診療科		

研修医の処遇

- 給与 / 1年目:688万円/年、2年目:738万円/年
- 諸手当 / 年俸に含む、学会手当(海外の学会参加を含む)年間12万円まで補助有り
- 勤務時間 / 8:30~17:30

- 保険 / 健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険、医師賠償責任保険(病院において加入)
- 休暇 / 日曜日、祝祭日、有給休暇(年10日)、年末年始(4日間)
- その他 / 寮あり、医療費還付制度あり



応募連絡先

医療推進課:西尾 実 TEL 048-552-1111(代表)

FAX 048-552-1116 Mail nishio@gyoda-hp.or.jp



病院データ

※2024年4月～2025年3月の計数

病床数	310床	医師数	56人	指導医数	33人	外来患者数 (1日平均)	408人
入院患者数 (1日平均)	277人	救急外来 患者数 (1日平均)	7人	救急車搬送 患者数 (1日平均)	12人	心肺停止状態 搬送患者数 (1日平均)	0.14人

診療科目 内科／消化器内科／循環器内科／呼吸器内科／腎臓内科／脳神経内科／外科／整形外科／脳神経外科／小児科／皮膚科／泌尿器科／産婦人科／耳鼻咽喉科／形成外科／眼科／放射線科／麻酔科

病院の特徴

熊谷総合病院の歴史は古く、1945年、第二次世界大戦終戦直後に病床数わずか45床の農業会病院として、星川のほとりからスタートいたしました。以来、地域の皆様に必要な医療の提供をはじめ、救急患者様の受け入れ、地域予防医療の促進などを軸としてその歴史を刻んでまいりました。2016年5月、新たに医療法人熊谷総合病院として再出発し、2018年にはPET健診センターを併設して現在の「当院強みの3本柱」の礎となる先進医療を活かした①地域の健診・予防医療、②地域の急性期医療、③地域の回復期医療を皆様に提供する体制が整い、職員一同より一層地域医療に貢献すべく、それぞれの職務に邁進してまいりました。2019年にはその実績が認められ、社会医療法人化の承認をいただき、その後も埼玉県災害時連絡病院、地域医療支援病院および2024年には埼玉県がん診療指定病院の認可を受けました。

支援制度

見学補助／なし

住宅補助／あり

宿舎／なし

産休・育休
(研修医の取得実績)／あり

メッセージ



皆さんのやる気、待ってます！

ハートセンター部長
濱田 英明
出身大学：大阪公立大学(旧 大阪市立大学)

当院は埼玉県北の中核基幹病院ということで、プライマリ・ケアを中心に多くの症例を経験できる研修施設です。希望とやる気があれば、より専門的な診療への参加も可能です。大学病院などとは異なり、科ごとの垣根が低く、複合的な疾患の診療がしやすくなっております。また、メディカルスタッフとの人間関係も良好で、研修医の先生が働きやすい環境が備わっていると思います。ご連絡をお待ちしております。



気温に負けない！人も症例もアツい研修を。

研修医2年目
細川 隼登
出身大学：愛媛大学(2024年卒)

当院の一押しは、なんといっても雰囲気の良い研修です。優しく面倒見のいい指導医の先生方、陽気で面白い研修医の仲間たち、清々しく、綺麗な病院設備と最高の環境を取り揃えております！(当院比)当院は救急受け入れ件数東北堂々のNo1.ファーストタッチを通じて医師としての実力のベースとなる手技をたくさん経験できます。また当院は市中総合病院として多彩な症例を経験できるうえ、将来の志望科に合わせて、外部研修を含めてとても親身にプログラムを組んで対応していただけます。是非一度当院の雰囲気を感じてみてください。研修医一同、未来の後輩のあなたと、お話ができるのを心待ちにしております！

研修データ

初期研修医数 (1年目)	6人	初期研修医数 (2年目)	6人	昨年度 マッチング 受験者数	48人	募集人数	6人
当直日数 (月平均)	1~4日	当直 開始時期	1年目4月	当直時の 勤務体制※ ※研修医以外の当直人数	2~3人		

主な出身大学 北里大学／東京女子医科大学／琉球大学／愛媛大学／金沢大学／東北大学／福島県立医科大学／日本大学／愛知医科大学／旭川医科大学

研修プログラムの特色

あらゆる疾患の患者さんと接触する職業であるとの認識を踏まえ、幅広い社会性と温かい人間性を養えるよう研修を企画すると共に、各診療科では、医師として基本的な診療能力を習得できるプログラムを目指しています。同時に、将来の希望を見据えた選択科目の研修期間も十分取れるようにしています。また、医師としての基盤形成の時期である初期研修時期において、患者さんを全人的に診ることができる基本的な診療能力を習得することにより医師としての資質の向上を図り、医師にふさわしい人格を涵養することを目的としています。

研修スケジュール(年間研修予定(例))

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年次	内科					産婦人科	精神科	救急科			麻酔科	小児科	外科
2年次	内科	地域医療	選択科										

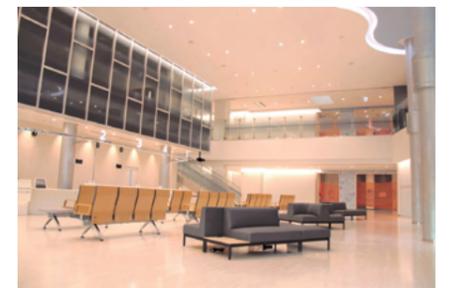
※協力病院・施設での研修もあります。

専門研修プログラム (基幹施設)	内科	外科	小児科	産婦人科	精神科	皮膚科	眼科
	耳鼻咽喉科	泌尿器科	整形外科	脳神経外科	形成外科	救急科	麻酔科
	放射線科	リハビリテーション科	病理	臨床検査	総合診療科		

研修医の処遇

- 給与 / 1年目:42.5万円/月、2年目:45万円/月
- 諸手当 / 通勤手当、家族手当、時間外手当、日当直手当、賞与 1年目:約85万円/年、2年目:約90万円/年 ※賞与は業績により支給
- 勤務時間 / 8:30~17:30

- 保険 / 健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険、医師賠償責任保険
- 休暇 / 土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29~1月3日)・有給休暇(1年目:年10日、2年目:年11日)・リフレッシュ休暇(年2日)
- その他 / 住宅補助制度あり、健康診断年2回、学会・研究会等への参加費補助制度あり、福利厚生倶楽部加入、院内保育所あり



応募連絡先

総務課 臨床研修担当:青葉 TEL 048-521-0065

FAX 048-523-5928 Mail ikyoku@kumasou.or.jp

TEL 048-571-1511 FAX 048-573-5351

URL <https://www.fukaya.jrc.or.jp/>

病院データ

※2024年4月～2025年3月の計数

病床数	466床	医師数	117人	指導医数	41人	外来患者数 (1日平均)	775人
入院患者数 (1日平均)	351人	救急外来 患者数 (1日平均)	19人	救急車搬送 患者数 (1日平均)	11人	心肺停止状態 搬送患者数 (1日平均)	0.78人

診療科目 内科／(総合診療科)／血液内科／腎臓内科／精神科／脳神経内科／循環器科／消化器科／小児科／外科／乳腺外科／支持緩和医療科／整形外科／形成外科／脳神経外科／呼吸器外科／心臓血管外科／小児外科／泌尿器科／産婦人科／皮膚科／眼科／耳鼻咽喉科／麻酔科／救急診療科／放射線診断科／放射線治療科／病理診断科／歯科口腔外科

病院の特徴

充実した指導環境、多様な症例を経験できる

- ①多様な症例を経験できる環境／第三次救命救急センターがある当院の病床数は466床、研修医募集定員数8名なので、同規模の臨床研修病院と比較しても研修医数は少ないため多くの症例を学ぶことができ、研修医1人ひとりに対する指導が行き届く環境です。
- ②研修医同士の仲が良い／国公立大学・私立大学の偏りもなく、全国の大学から集まるためすぐに仲良くなれます。先輩・後輩の仲も良く、研修医室の雰囲気も大変良いです。
- ③手厚い指導体制／研修医1人に対し原則指導医も1人。研修医のレベルに合わせた指導をしてくれます。また、当院は研修医に実践してもらうことを原則にしているため、2年間で多くの臨床経験を積むことができます。自ら考え、学び、主体的に行うことで基本的な臨床能力と態度・習慣が身につきます。

支援制度

見学補助／なし

住宅補助／あり

宿舎／なし

産休・育休
(研修医の取得実績)／あり

メッセージ



研修責任者からのメッセージ

院長
石川 文彦
出身大学：千葉大学

当院は地域の基幹病院として高い専門性と一般性を有し、比較的少ない研修医数という事もあり、豊富な臨床経験を

積むことができます。

初期臨床研修は、将来何科に進むにせよ、診療の基本的知識・技能と臨床医として必要な態度・習慣を学ぶ大切な期間であります。

当院では、研修医に実践してもらうことを原則にしていますので、技術的SKILL UPが体感できると共に、研修医一人ひとりに応じた融通性のあるプログラムなど、一言でいえば『温かみのある研修環境』を目指しています。

初期臨床研修は単なる専門医への前段階ではなく、臨床医としての心構えを形成する大事な期間です。当院での研修を通じ、患者さんを中心にコメディカルスタッフも含めたチーム医療のできる心温かい医師に成長してくれることを願っています。



豊富な症例と自由度の高いプログラム

研修医2年目
竹石 雄一
出身大学：日本大学(2024年卒)

当院は都心から少し離れた埼玉県北部にあり、暮らしやすく落ち着いた環境の中で生活することができます。病院内の

雰囲気もとても良く、研修医同士はもちろん指導医の先生方とも話やすい環境です。研修医の定員が病床規模に比べて少ないため、1人当たりの症例数や手技の経験が自然と多くなり、主体的に診療に参加できることが大きな魅力です。また、プログラムの自由度も高く、自分の興味や将来像に合わせて柔軟に研修内容を調整できます。当直では来院したすべてのwalk inから三次救急選定の救急車までfirst touchをするため、指導医の先生方に見守られながらではありますが検査方法や治療方法を自身で考え、行動する力が身につけていくのを日々実感しています。豊富な経験と自由度の高い環境の中で学べる当院での研修は、医師としての第一歩を踏み出すための良い研修環境であると思います。是非一度見学にお越しください!!

研修データ

初期研修医数 (1年目)	8人	初期研修医数 (2年目)	8人	昨年度 マッチング 受験者数	52人	募集人数	8人
当直日数 (月平均)	4~5日	当直 開始時期	1年目5月	当直時の 勤務体制※ ※研修医以外の当直人数	4人		

主な出身大学 東北大学／金沢大学／秋田大学／新潟大学／信州大学／群馬大学／千葉大学／岩手医科大学／札幌医科大学／埼玉医科大学／獨協医科大学／日本大学／順天堂大学／島根大学／東京医科大学／帝京大学／筑波大学／福島県立医科大学／弘前大学／東京女子医科大学／三重大学／関西医科大学／筑波大学／山口大学

研修プログラムの特色

深谷赤十字病院は埼玉県北部の三次救急を担う地域基幹病院です。当院のプログラムの特徴としては、

- ①「病院の規模に対して研修医数が少ないため、臨床経験を多く積めること」です。同時期に診療科や指導医(上級医)が被らないようローテーションを組むため、症例の譲り合いが起こりません。また、当院は研修医に実践してもらうことを原則にしているため、救急当直でのファーストタッチをはじめ、2年間で多くの臨床研修を積むことができます。
- ②「研修医の要望に応じた融通性のある研修スケジュールを組むこと＝自由度が高いこと」です。2年間のうち、厚労省が定める必須研修を除いた期間は、将来の希望に合わせて自由に選択できます。また、当院は研修プログラム責任者が院長であり、臨床研修にとっても熱心に取り組んでいることから、指導体制や研修環境は十分に整っております。

研修スケジュール(年間研修予定(例))

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
1年次	内科						麻酔科	救急科	小児科	非必修科 ローテーション	外科		
2年次	産婦人科	自由選択科			精神科	自由選択科	地域 医療研修	自由選択科					

※内科：一般内科8週、循環器科、消化器科、腎臓内科、血液内科(各4週) 救急科：12週(2年間の救急外来当直で4週分を含む)

専門研修
プログラム
(基幹施設)

内科	外科	小児科	産婦人科	精神科	皮膚科	眼科
耳鼻咽喉科	泌尿器科	整形外科	脳神経外科	形成外科	救急科	麻酔科
放射線科	リハビリテーション科	病理	臨床検査	総合診療科		

研修医の処遇

- 給与 / 1年目:355,300円/月、2年目:414,100円/月
- 諸手当 / 賞与年2回支給あり、日直手当15,000円/月、当直手当20,000円/月、時間外手当、住居手当
- 勤務時間 / 8:30~17:00

- 保険 / 健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険
- 休暇 / 土・日・祝日休み、年次有給休暇1年次13日、2年次14日
- その他 / 学会参加費用年1回支給あり



応募連絡先

教育研修推進室：増岡 佳美 TEL 048-571-1511

FAX 048-573-5351 Mail kenshu@fukaya.jrc.or.jp